

始

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 15 20 30 40 50



14

784

矢崎教授述

西洋哲學史

(完)

(非賣品)

昭和二年度東大講義

[文信社印行]

14-784



天崎先生送

西洋哲學史

昭和二年度東大講義

(非賣品)

[文德社印行]



西洋哲學史

天崎先生述

Leibnitz (*Disputatio Metaphysica*, 作)
品ハ彼ノ思想理解ニ重要ナリ

Leibnitzノ思想中心ヲ何處ニ置ノヤ、現代ハ認識論的時代ナリ 即チ認識論化カ行ハシ居ルナリ。從ツテ認識論的見地ヨリ解セントスル傾向アリ 下然私見ヲ以テスレハ Leibnitzニ關シテハ認識論的見地ヨリノミ解スヘキニ非ス 故ニ中心問題ハ实体ノ問題ナリ 即チ彼ヲ *Metaphysiker* トシテ考フルカ正当ナリ 即チ現代哲學ノ何處カニ於テ新シキ哲學ノ復興ヲ考フル思想アリ 之ニ重要味ヲ置クヲ正当ナリト考ヘラル(即チ *Aristoteles*ノ哲學ノ復興ナリ。) Kantハ *Metaphysik*ヲ否定セルモ 眞ノ意味テ、*Metaphysik* 即チ *Aristoteles*ノ *metaphysik*ヲ主張セリ *Aristoteles*ハ所謂世界ノ外ニカ、ル現象ノ保持者トシテ *on te on*ノ學ヲ主張セリ 即チ *Meta-*

physik ナリ 物ハカハル意味ノ *Kategorie* =
極スヘキナリト 眞ノ學向ハ此ノ *Substanz* ヲ中
心トシテ 以居ル事ハ事實ナリ。此ノ *metaphy-*
sik 中心概念ヲ詳叙スルハ即チ *physik* 一般ノ解
釈ナリト考ヘラル。既ニ *Descartes* 以來此ノ向題
ハ哲學史上中心タリ *Substanz* ハ獨立ノ存在
其自身認識スル所ノモノナリ。斯カルモノハ其自ラ
存在シ。其自ラニテ考ヘル所ノモノナリ 即チ自己
原因ナリ 此処ニハ *Sein* 〆 *Denken* トノ關
係ハ存在セス コハ *Deus* ノミカ然ルナリ。之レ
Descartes ノ哲學ノ精訣ナリ。 *Deus* ハ *Causa*
prima ナリ。然シ *Deus* ノ外何物モアリ得ス
故ニ *Causa* ト云フ見地ヨリ神ヲ考フレハ *Causa*
immanents ナリ。然ラハ此ノ世界ニ於テ之ヲ
能産的原因ト此ノ現象世界ハ所産的世界ナリト考フ
レハ。前者ハ神ナリ。然ルニ此ノ原因ハ神ノ外ニ無
シ。故ニ之ハ所産的世界ノ外ニ在リ得ス 即チ神ハ
必ス *Causa prima* ナリ *Causa imma-*
nence ナル故、神ノ外ニ世界無シ。世界ノ外ニ
神ハナシ 即チ神ハ世界ニ對シ *Transcendent* ナ

ラサル限リ神ハ *Deus sive natura* ナリ。然
ラハ凡テノ多様ヲ排斥ス。此ノ後ニ發ルモノハ極メ
テ *Allgemeinheit* ナルモノナリ。然シ *All-*
gemeinheit ナル事ハ *Ding* ヲ *Ding* ナラシ
メ得ス。此処ニ於テ *Leibniz* ハ斯ルナリ経路ニテ
彼ニ來リシ前者ノ哲學ノ欠陥ヲ見破レリ。 *Leibniz*
流ノ解ヲ離レ行ケリ。 *Spinoza* 流ニ云ヘハ。作
ラレシ世界ハ即チ神ナリ。故ニ神ハ死者ナリ。此ノ
欠陥ヲ救ヒ *Welkigkeit* ヲ満足セシムルカ如キ
Substanz ノ *Wesen* ヲ立ツ。其処ニハ自分ニテ
働キ居ル所ノモノ現實性ヲ展開スル所ノモノヲ *Sub-*
stanz ノ概念ノ本ニ要求セサルヘカラス。又 *Spinoza*
流ニ云ヘハ。神ハ世界自身ナリ 故ニ造化ノ
説明ハ得ス。之ニ満足ヲ与フルニハ *Substanz*
其物ノ中ニ變化、働キノ原因ヲ求メサルヘカラス。
Spinoza 流ノ考ノ欠点ノ原因ハ要之 *Substan-*
tia ナリト考フル故ナリ。故ニ *Deus sive Na-*
tura ノ考ヘニ至リシナリ 今 *Leibniz* カ此ノ
欠点ヲ見タルニ多原因的ナラサルヘカラス 何ト
ナラハ變化ト云フ概念ハ *fielheit* ヲ認メサルヘ

カラス 此ノ意味ヲ知ハ *Substantia* ヲ認ムル
事ハ同時ニ *Substantia, pulcritate* ヲ
許スコトナリ 故ニ *Substanz, Wesen* ヲ無
限ニ多クナル *einzelheit* ナリト。故ニ凡テノ意
味原因ヲ自己中ニ有セサルヘカラス 此ノ事ヲ可能
ナラシムル者ニハ自己~~自身~~ 自~~身~~ 動的カナラサルヘカ
ラス。カハ、考ヨリ *Leibnitz* ハ、働ヲ得ル *sein*
ト云フ言葉モテ *Substanz* ヲ定義セリ

之ヲ別ナル説明ヲナセハ、彼カコノ帰着点ヲ得シ
ハ「個性ノ分類ニツキテ」ト云フ作品アリ。個体ト云フ
モノヲ問題トセリ。由來 *Aristoteles* : *Sub-*
stanz ハ個体的ナルモノナリ。而シテ此ノ個体ト
シテノ *Substanz* ノ問題ハ *Aristoteles* 哲學
ノ解~~釈~~ニ於ケル大問題ナリシナリ。Descartesノ
Substanz ハ其自身ニ於テ考フルヲ得ルモノテ
フ方面ハ強調シ得ルモ *predicate* カ *Subject*
中ニ含マルト云フ事ハ考ヘラレ居ラス。然ルニ
aristoteles ノ方ノ考ヘ方ハ *Substanz* ハ
Substanz = シテ、決シテ *predicate* トハナ
ラス。ト同時ニ有ラユル *predicate* ヲ其自身ノ

中ニ含ムモノナリト云フ考ヘカ強調サレモレリ。然
ルニ Descartesノ *predicate* カ *Substanz*
中ニ含マルト云フ關係於テ 在リト云フ考ヘキハ在
ラス 此ハ *Leibnitz* ノ考ヘ重要ナリ。即チ *Sub-*
stanz ハ無限ナルモ、此ノ一ツノ中ニ有コルモノ
ヲ *Substance predicate* トシテ含ムト云フ
ナリ。

又一方 Descartesノ *Substanz* ノ本質ハ
延長ナリ。即チ Descartesノ *Substanz* ヲ謂
ハバ幾何學的ニ見、運動モ空間的ノ *modifica-*
tion トセリ。此ノ事ハ Descartesカ、*Sub-*
stanz = 対シテサハ幾何學的ニ考ヘ居ル証ナリ。
即チ機械的ニ考ヘサリシナリ。此ノ事ハ既ニ Des-
cartes當時ノ *mechanism* カラモ反対サレタ
リ。Leibnitzハ即チ *mechanische* ナリ考
ヘ方ヲセリナリ。即チ *predicate* ヲ自分自身
中ニ含ム *Substanz* ノ主張ト此ノ高頭ヲ引出ス
前提ナリ。

*Leibnitz*ノ *Substanz*ノ解~~釈~~

Substance ハ多様ナリ。然シ其自身ノ姿ニ於テ
多様ナルヘカラス。多様ナル物ハ分割ヲナシ得ルモ
ノナリ。故ニ Substance 其物ハ決シテ多様ナル
ヘカラス Substance / Wesen ガカナレハ
之ハ色々ノ Modus ニヨリ発現サル、ナリ。カ其
物ヲ考ヘシ時カハ多様ナルヘカラス。斯様ニ Sub-
stance 自身カ單純ナラサルヘカラス。此処ニ無限
ニ多クテ其レク simple ナル物ナリト。即チ Sub-
stance ハ働キ得ル Sein ナリ。而シテ多様ニシ
テ一々ハ simple ナルモノナリ。之レヲ Leib-
nitz ハ Monad ト名ケル。即チ部分概念ヲ排
セサルヘカラス (部分ヨリ合成サレ得ス。又部分ニ
分解シ得ス) 故ニコノ Monad ハ何等カ奇蹟ニ
ヨリテ作ラル、カ分解セラル、カセサルヘカラスト。
即チ Monad ハ不消不滅ナリト。實際 Leibnitz
モ Monad ハ神ニヨリテ作ラル、ト考ヘタリ。

斯様ニシテ Monad 一々ハ完全ニ simple
ナリ。然レ之ニ対シ働キカクル何物モ無キ独立物ナ
ルナリ。即チ何等他物カ Monad 中ニ入ル事ヲ
得ス。又出ツル事ヲ得ス。希臘時代) atomistica

↓ 物
23

、云フ所ニヨレハ Monad ハ固キモノナリト。之
ヲ Leibnitz ハ Le monad non

Monad ハ定ヲ有セス。コレヲ通シテ出スルヲ得
スト云ヘリ。從ツテ移変無シ。即チ常ニ imma-
nent / 活動ナリ。コハ Leibnitz / 有名ナル説
ナリ。

世界ニハ無数ノ Monad ナリ。然シコハ夫々ニ
取リテ關係ナキコトナリ。又、世界ハ自己自身ナリ。
即チ Zanges Sein (micro cosmos) ナリ。
然シ如何ナル意味ニ於テモ Monad = 大サヲ考フ
ルヘカラス (存在ハ往々物的ノ考ノ入り易キモノナ
ルガ) 故ニ恰モ数学上ノ point / 如キモノナリ
即チ unteilbar ナリ。然モ数学上ノ point ハ
只概念ナルニ反シコノ Monad ハ Sein ナリ。
即チ彼ハ metaphysical point ナリト云ヘ
リ。Monad ハ純ニ存在ナリ。サレハ存在ナル限
リ何等カノ性質アルヘキナリ。Monad ハ多数ナリ。
多数ナル以上ハ一 Monad ト他ノ Monad ト分
ケ得ヘシ。若シ得サレハ別物ニ非スシテ同物ナル説
ナリ。コハ Leibnitz “識別シ得サルモノハ必ス

同一物ナリ”テフ有名ナル原理ナリ

又他面ヨリ云ヘハ、一 monad カ sein ナル限
リ何等カノ qualitate ヲ有スヘシ

monad ノ性質

既述セル如ク monad ノ本質ハ 凡テ変化
grund ヲ自己中ニ有スル事ヲ可能ナラシムル物
ナリ。即チ forth primitive ナリ。即チ單ニ
act ヲ含ミ居ルモノナラスシテ Original
activity ヲ有スルモノナリ。monad ノ活動ハ
全然自發的ナルモノナリ。コノ自發的ナル事カ mo-
nad ノ本質ナリ。而シテ雑多ノ状態ヲ展開スルナ
リ。然レシテ造作ハ無シ。故ニ雑多ハ他ヨリ來ルモ
ノニ非ス。其自身ノ性質ヨリ出ツルナリ。即チ mo-
nad ハ宇宙ノ存在ノ有限的部分ナラスシテ其自身
ganzes sein ナリ。即チ sein トシテノ無限
性ヲ含ムモノナリ。故ニ自分自身ノ性質ニ應シテ此
ノ無限性ヲ展開シ行キ得ルナリ。故ニ monad ハ實
ニ或ル perfection ノ状態ニ達シ居ルモノナリ
又自身満足シ居ルナリ。故ニ現實ナル monad

カ在レハ其外ニハ凡テノ sein 表ルヘキナリ。恰モ
圓ノ中心ハ凡テノ圓心角ヲ含ムカ如シ。又、圓ノ中
心ハ凡テノ中心角ヲ表スト同様 monad ハ凡テ
^{宇宙ヲ}表出 exprimer セリ。Leibnitz ハ、此ノ ex-
primer ヲ反射ト云フ言葉ヲ用ヒタリ。然レシ鏡ニ
映ス場合ニハ、字スモノト写サルモノアルヲ注意
スヘシ。(monad ハ宇宙ト別ナル物ニハ決シテ
非ス) 即チ monad ノ自身ヲ representen
スル事ハ從テ universe ヲ表現スルコト、一切
ヲ表現スルコトトナルナリ。コノ事ヲ Leibnitz
ハ percevoir ト云ヘリ。(此處ニ彼ノ哲學カ
idealismus ノ傾向カ表ハレ居ルナリ)

然レ斯ル、percevoir ハ apperception
ト混同スヘカラス。perception ハ其自身ニ對シ
テ何カ外ノ物ヲ出ス、意識的表象ト解スヘカラス。
percevoir ハ monad 其自身ノ primitive
ナル活動ナリ。要之、exprimer representa-
tion ト區別スルヲ得サルナリ。コレヲ percevoir
ト云ヒ換ヘタル所ニ彼ノ idealismus ノ傾向見
ユ、然レ直チニ唯心論的ト云フ事ハ得サルナリ。

monadハ自身ヲ反映スルコトニヨリ世界ヲ出ス
コトヲ得ルナリ。percevoirハ凡テノ uni-
verseヲ含ミ居ルト云ヒ得ル訳ナリ。桃ノ実カ桃
ノホヲ表出シ居ルト云フ事ヲ復。然シ之カ解釈ハ注
意スヘシ。桃ノ実カ將來ホトナルト云フ事ノ意ニ解
スヘカラス。或ハ又 Leibnizハ。我々ノ心ハ深
睡。或ハ意識ヲ失ヒシ等ノ場合ニ於テモ Universe
ヲ percevoirシ居ルナリト。percevoirハ心
ノ意識的活動ノミヲ指スモノナラス。Appercep-
tionハ percevoirノ一層高キ階級ニアルモノ
ナリ。而シテ其ノ一様ナリ。故ニ意識的状態ニ於
テシ monadノミカ apperceptionノ状態ナリ。
而シテ perceptionハ最も primitiveナル
モノニシテ apperceptionカ存在セサル所ニモ
percevoirハ存在セル筈ナリ。此ノ意味ニ於テ
percevoirハ極メテ小サキモノナリ。即チ“極
微表象”ト呼ハル。之ハ決シテ心理的意味ヲ含マス
apperceptionニハ心理的要素アリ。唯心論的
傾向アルモ percevoirニハ未ダ有之サルナリ。
此ノ極微ナル表象カ段々高等ナル apperception

ニ到ルナリ。斯ク極微表象ハ未ダ何等明瞭ニ意識シ
居ラサル筈ナリ。段々 apperceptionニ近ツテ
ニ從ツテ clearニ意識シ行クナリ。故ニ per-
cevoirヨリ appercevoirヘノ段階ハ微分的階
段ナリトセハ。此ノ一々ノ係列ノ差別ハ要スルニ物
ヲ percevoirスル明瞭度ノ差ナリト云フヘシ。此
ノ段階ハ無限的ナル差別モヲ進ムヲ以テ微分的差別
ナリ。而シテ此ノ差別モヲ迷ガリ居ル所ニ monad
何々ノ差別存スル所以ナリ。即チ或ル段階ノ apper-
ceptionヲ取リテ見ルニ。同様ナルモノハ無シ。少シ
モ微分的差別存スルナリ。故ニ此ノ monadノ区
別性アルハ即チ、個性差別カ存スルナリ。要スルニ
Individualismノ原理ナリ。何々ノ mo-
nadカ表現スル内容其物ニハ差別アル筈無シ。即
universeナリ。

只各 monadノ側ノ方ニ於テ此ノ universe
表現ニ際シ明瞭ノ度異ルナリ。固ヨリ一々ノ mo-
nadハ同一 universeヲ表現ス。斯ルナル
universeヲ表現スル時。各 monadハ其ノ表
現ノ gefist punktノ視座カ異ルナリ。各 monad

ハ個性ナル故。幾ツモ、個性カ *selon son point de vue* = 従ツテ表現スルナリ。

コノ *representation*、概念コソ彼ノ若摩ノ根本概念ナリトス。

(1) Q. Fischer. *Monad* カ *universe* ヲ表現スル事ハ *monad* カ第三者ニ対シテ *universe* ヲ *elkenbaren* スル様ニスルト云ヘリ。

私ノ目前ニ大理石ノ塊アリ。而シテ自分ハギリシヤ、羅馬ノ藝術的知識ヲ有ス。コノ大理石ノ塊ハ彼ノ羅馬建設ノ柱ノ一部ナル事ヲ理解ス。然モ之ハ確カニ *Jupiter* ノミカ有スル足ノ一部ナル事ヲ知ル。即チ古典的藝術ニ対シテ理解ヲ有スル自分ハ、コノ一本ノ大理石断片ハ私ヲシテ全建設ヲ認識セシム。コレハ又希臘藝術全体ヲ私ニ *elkenbaren* セシムルナリ。恰モ植物學者ニ対スル一葉ノ如シ。断片ニ一片ノ *corolla*。一葉ハ、全建築 全大ヲ認識セシム。然シコハ決シテ全体ニハ非ス。飽ク迄一片ノ石ナリ。断片ナル一片石カ全体ヲ *stelet vor* スル事ニナルナリ。之レカ *Vorstellung* ナリ *representation* ナリ。此際勿論全体ノ部分ナル

事ハ知り居ルモ、此ノ一片ハ全体ノ一部ナルニ拘ラス然モ全体ヲ *vorstellen* セシム 故ニコノ一片ハ *Vorstellung* ナルノミナリ。此ノ關係カ例ヘハ地理學者ニ対シテモ當テ嵌ルナリ。斯ルナリ *Vorstellung* ハ其々ノ中ニノミ在ルモノニシテ其ノ中ニ *Vorstellung* ナリト云ヘスト云フカモ知レンモ、我々、*Vorstellung* カ *dingen*、*Natur* ト合致スル片ノミ可能ナリ。 *dingen* 自身ハ其ノ *vorstellen* スル所ノ物ヲ知ラス 我々ハ之ヲ知ル。然ルニ此ノ場合 *dingen* *Vorstellung* カ *unbewusst* ナルカ故ニ *Vorstellung* カ無シト云ヘス。此ノ際向題タルハ此ノ *vorstellen*、概念ノ意味ニシテ *bewusst sein*、概念ヲ論スルニ非ス。 *Leibniz* カ凡テ、*dingen* = *vorstellung* ヲキヘタリト決シテ之カ心理學的ノ意ヲ附シタルモノニハ非ス (*antropologische* ナラス) 更ニコノ *ding*、表象能カハ *representel*、*exprimer* ト云フ言葉カ用ヒラル。之ハ單ナル *vorstellung* ト意識的ノ *vorstellung* トヲ區別スルニ用ヒラル。 *Dingen*

ハ vorstellung, 働キ, object トナルノミ =
シテ其ノ行ハルノ part ノ位置ニ立ツモノニ非ス。
即チ意識的 vorstellung ハ要スルニ反応作用ナ
リ。單ニ vorstellung ハ expressive ナ
リ Dingen ハ newst loss ニシテ之カ出ス
vorstellung ハ單ニ expression ナリ。故
ニ representation = exprimer ナリ。

[批判]

Fischer カ應用シタル比較ノヤリカ。例ノ取り
カハ全然違ヘリ。即チ Torso ヲ持來リ Leibniz
ノ概念ニ比スルハ應キ事ナリ。 universe カ mo-
nad ヨリ成ル。即チ Wert system ハ多数ノ
monad ヨリ成レルモノナリ。其ノ限ニ於テ一々
ノ monad カ Wert system 一ノ部分ナリト云
フハ可ナリ。然レモ monad ハ自身独立ナル個体
ナリ。故ニ Wert system 一ノ部分ナリト云フ意
味モ一ノ monad ヲ見レハ。其ノ monad ハ各一
々独立ナル個性ナリ。故ニコノ世界ヲ反映スルヲ得
只多クノ monad ハ只明暗度ノ grade 上ノ差
別アルニ過キス。 A, B モ同様ニ一全体ナリ。故ニ

一 Torso カ Jupiter ノ足ノ部分ナリト云フ事ト
Jupiter トノ關係トハ全然異ルナリ。即チ足ハ独
立シテ居ルニ非ス。 Jupiter 一ツニテ初メヲ
Ganzes ナリ。コノ部分ハ monad カ Uni-
verse ノ一部分ナリト云フ事ト全然異ルヲ知ルハ
シ。此ノ意味ニ於テ此ノ例ハ失敗セリ。

更ニ又一ツ Torso カ一本ノ足ヲ represent
スルト云フ事ハ。一石カ地塊ヲ represent スルト
同様ナル如ク見ルハ誤レリ。足ハ organische
ナル物ノ一部ニシテ。石ハ Individual ナリ。
コノ二例ニ亘リテ同一ナル representation ノ概
念ヲ説明セントスルハカクシテ失敗セルナリ。

Fischer ハ一見巧ミニ意識的 Vorstellung
ト。單ニ vorstellung トノ解説ヲナシ居ル如
キモ。彼ハ單ニ vorstellung = 対シテハ Ma-
thematische ナル解ヲナセルカ。意識的 Vors-
tellung = 対シテハ psychologische ナル解
釈ヲトレルナリ。然レモ此ノ mathematische ヲ
リ psychologische ニ至ル間ハ極メテ簡單ナル
路行シカ取り居ラス。

要之彼ハ人性論的 (Antropologische) ナル
Funktion / 色々ナル有機ヲ monad / 中 =
入レテ見テ、各 monad / 働ヲ analogische
= 解釈シテ見タルナリ。

故 = Leibniz トハ全然反対ノ行方ヲナシ居ル
ナリ。即チ極メテ論理的ノ進路ヲ取ルナリ。

(2) E. Geller Geschichte d. Jenu-
taten phylosophy

凡テノ Willkürlich ナル物ヲ内容トシテ持
ツ。一々各 monad ハ凡テノ各 monad = ヨリ
verstehen サルハナリト。其ノ事ヲ判リ易ク云
ハハ。凡テ他ノ monad / 痕跡ヲ monad / 中
ニ有スト云フ事ヲ解。即チ凡テノ世界ノ姿ヲ自身中
ニ保持シ居ルナリ。 Leibniz ノ言ノ如ク monad
ハ世界ノ鏡ナリト。然シコノ鏡ハ他者ニ対スル夫レ
ナラズラテ。自分自身ニ対スル物ナルヲ忘ルヘカラ
ス。

凡テノ monad ハ全宇宙ノ凡テノ物ノ vor-
stellung ヲ持ツ。然シコノ vorstellung ハ各
monad 中ニ各々ノ gestalten ヲ有スルナリ。

コレ彼ノ大体ノ解釈ナリ。此ノ解釈ニツキテ直チ
= Dellmann ノ解釈ヲ見ルヲ可トス。

(3) Dellmann 曰ク Substancen ハ單
ニ世界ヲ自分自身中ニ含ミ居ルモノニ非ス。世界ハ
Zusammengesetz't / 世界トシテノ一全体ナリ。故
ニ monad ハ real ナリ。而モ real ナル物トシ
テ、phenomena ナリ。即チ内面的精神的 tätig-
keit 而モ物像的变化ノ相對的ナル方面ヲ展開シ居
ルモノナリ。Substance 其物ハ世界ヲ表現ス。勿
論一 Substance ハ不可分のニシテ然モ名稱ノ世界
ヲ表現スル一全体ナリ。即チ世界ノ perception
ハ monad = 爲ス。然シ representation / 概
念カ世界ヲ representier スル Substance / 概
念ト同一視スル必要ナシ。故ニ世界ハ Substance
ノ object, inhalt トシタルノミノ關係ニハ非ス。
Geller = ヨレハ monad / object トシテ、mo-
nad 中ニ含マレ居ルナリ。之ニテハ monad ヨ
リ見ル active ナルカガ足ヲサルナリ。是レ Del-
lmann ノ主張ナリ。然シ何々ノ monad カ如何ナル
程度ニ又如何ニシテ世界ヲ representieren スル

カハ彼ニ於テ向ハレ居ラサルナリ。故ニ *Wellmann*
カ *representieren*, *percevoir* ヲ多少區別シ居ル
如クモ見ユ。然シコレ迄ノ所ニテハコノ相互關係ハ
我々ニ取リ不明ナリ。更ニコノ *representieren*
ノ概念ニ對シテ解釈セル人ニ *Halberts* アリ

(4) *R. Halberts*. *Representieren* ト云
フ事ト *expression*, *perception* ノ三概念ヲ相
互的關係ヨリ論セリ。コノ三者ハ決シテ一義的ナル
物トハ云ハレズ。然シコノ三意味間ニ色々ナル動搖
アレドモ本質的ナラス。此ノ中ノ本質的ナル所
ヲ引キ出シ。之ヲ理解シ得ヘシ。Monad) 考
ヘ方ノ中ニハ屢々各 Monad カ全宇宙ヲ *selon*
son point de vue ニヨリ *express* シ居ルモノ
トセリ。故ニ *simple* ナル Monad カアルタケ
ソレモ多クノ *expression* アル事ナリ。故ニ
simple カ有ルタケ多クノ宇宙ノ *expression*
アル事ニテ夫々異リシ特徴アル事ナリ。勿論ソノ *ex-*
pression ニヨリ表現サレ居ル所ノモノハ同一ナル
カ。方面カ異ルナリ。Leibnitz ハ *expression*
ノ概念ヲ世界カ各々ノ *monad* 中ニ *expression*

ヲ有シ然モ之ハ各々異ル。コハ斯カル全宇宙ニ関シ
テ云ハルノミナラス。一々ノ心的 *monad* カ *mi-*
crocosmos 其物ニ関シテモ *expression* テフ事
ヲ云ヒ居レリ。

是如ニ於テ彼ハ次ノ如ク考ヘ居レリ。即チ *Leib-*
nitz ハ表現サルル事ヲ全 *universe* ニ関シ
テ語ルノミナラス。一ツノ心カ過去未來ニ亙リテ *ex-*
pression ト云フ事ニ関シテ云ヒ居レリ。然レハコ
ノ *exprime* ハ出來ルタケなク解スヘキナリ。即
チ一全体カ他ノ一全体ニヨリテ *darstellen* サル
ナリ。斯様ニ *expression* ノ概念ヲなク解セハ
representieren, *percevoir* ノ概念カ *expres-*
sion ノ下位ニ立ツコトナリ。即チ各 *monad*
ハ一々ノ小宇宙ナリ。故ニ自身ニ *eigentlich*
ナル仕方ニテ宇宙ヲ *representieren* スル。斯
様ニ各 *monad* カ *representieren* スル事ハ
如何ニシテ出來ルカ。何々ノ *monad* ノ過程ト。
他方ノ全 *universe* ノ有ラニル *zustand* ト
ノ間ニ或ル *constant* ナル關係成立セル故ニ各 *mon-*
ad ハ全宇宙ヲ *representieren* スル事カ出來

ル。而シテ斯ルニ一ツノモノニツキテ云ハル事ト他
ノモノニツキテ云ハルコトノ間ニ或關係カ成立ス
ル時之ヲ *representation* ト云フ。

然ルニ *Monad* ハ一ツノ力的ナル物ナリ。其ノ
action ハ *vorstellen* ノ仕方ナリ。故ニ前ノ *ex-*
pression ハ *perception* ナリ。カク *mo-*
nad ハ自己ノ *perception* = 於テ宇宙ヲ *ex-*
press スルコトニヨリテ宇宙ヲ *representiellen*
スルナリ。

コハ或意味ニ於テコノ見方ハ淺薄ナリト云フヘシ。
其ハ彼ノ立場其ノモノヨリ歪レラレシナリ。

前述ノ如ク述ヘ來リシカ、最後ニ之ヲ兼テノ綜合ニ
テ比較的理達ナルハ *C. Celler* ナリ。此ノ概念カ
Leibniz ノ *Monad* 哲學ニ於テ中心ナルヲ以テ
色々ナル案ニシテ論セラル。故ニ一義的ニ此ノ問題ヲ
解決スル事ハ困難ナリ。故ニ之ヲ *Component* =
介テテ之ヲ研究シ。之ヲ綜合セコトスルナリ。今我
々ハ前ノ *Monad* ノ性質ヲ考ヘ見ルニ、本質ハ
action ニ在リ。而シテ活動ノ本質ハ *Universe*
prevail スル事ナリシナリ。故ニ完全ナル物程

perception 力カ明カナル事ナリ。其故ニ *Monad*
カ活動的ナル事ト、*Universe* ヲ表現スル事トノ
間ニハ關係密接ナリ。譬之カ本質トナリ、言ルモノ
ナリ。 *M. Fischer, Dillmann* 等ハ之ヲ完全
ニ理解シ居ラス。 *Monad* ハ、其他凡テノ *Monad*
ト共ニ *Universe* ヲ表現スルカ、コハ必ズ *Le-*
bon point de vue = 從ツテナス。然レニ *Monad*
ノ表現ノ方法カ異ルト云フ意味ナラス。然ラハコノ
一 *Monad* カ宇宙表現ノ *Weise* ハ要スルニ表現
スルモノト被表現物トノ間ニ *exact* ナル *constant*
ナル關係存在シ居ルヘキナリ。 (*rapport exact*)
即チコノ事ハ *exprime* ト云フ概念ヲ定義セル如
ク *exprime* ハ一物ト他物トノ間ニ *rapport ex-*
act ナル關係カ存在スル事ナリ。之ト同ク、一方
ニ在ル物ナラス必ズ他方ニ之ニ關係スルモノアルナ
リ。コノ最密ナル關係ノ原理ハ即チ *Harmony* ナ
リ。此ノ *Harmony* ハ何処ヨリ來レルヤ。要之、
神カ *Monad* ヲ作ル場合、*Monad* 間ニ置キシ
ナリ。故ニ一ノ世界ニ於テハ凡テ *Monad* 間ニ
Harmony カ置カレタリ。コノ *Harmony* ハ

凡テ、Monad / exprime / 現表 / 方法 / 相互ニ於テ一致スルモノナリト云フ事ヲ云ヒ現ハスト
解スヘシ。然ラハ Monad A ト他ノ Monad B トノ現表ノ有様カ全然同一ナリヤ。否、我々ハ別
ニ一Monad ト他ノ Monad ノ間ニハ微分的明
瞭ノ差アリト見タルナリ。即チ Monad ハ宇宙ヲ
proportional = 表現スルナリ。斯様ニコノ rap-
port exact ト云フ物ハ全然同一性ヲ表現スルコ
トニハ非ス。若シコレカ云ヒ得ルトセハ、各々區別
スヘカラサルモノハ同一ナリト云フ原理ヲ以テスル
モ Monad ヲ區別シ得サルナリ。即チ Monad
ノ Weise = 在シ Nature = 在シ部分的 = Uni-
verse ヲ表現ス。此ノ意ニ於テ、此ノ exact ナ
ル關係ニヨリ統制サル。

然ラハ Monad ノコノ exprime / 作用ハ
exact / rapport = ヲリ統制サレ居レリ。然
ルニ Monad ハ其ノ selon son point de
vérité = ヲリテ Universe ヲ表現スレバコノ間
ニ矛盾カ存セサルヤ否ヤ。コハ決シテ予信セス。
Monad カ selon son point de vérité

ニ從ツテ宇宙ヲ表現スルト云フ事ハ其ノ個性的 *ges-
hicht puncte* = 從ツテ現表スルコトナリ。後者
ハ Monad ト宇宙トノ關係ガ rapport ex-
act ナル關係ニ於テ統制サレ居ルト云フ事ナリ。故
ニ之ヲ予信セス。而シテコノ rapport exact ナ
ル Harmony ハ最も一般的方法ナリ。故ニ ra-
pport exact ハ selon son point de vérité
ニ從ツテ Monad カ表現スルト云フ事ヨリ上位ニ
立ツヘキ概念ナリ。然ラハコノ selon son point
de vérité カ何レヲ意味スルヤ。各 Monad ハ其自
身ノ本性ニ在シタルソレ自身特有ノ立場アリト。コ
ハ何ソヤ。コノ向題ニツキテハ Leibniz 自身モ余
リ多ク云ハス。

神ハ其ノ反映ヲ發揮スル爲ニハ有ラユル世界ヲ其
ノ色々ナ面ニ於テ hin und her = 回照シテ見
ル。而シテ、各立場ヨリ宇宙ノ一斑ヲ眺メルナリ。
Monad ハ其自身ノ tätigkeit = 從ツテ
Universe ヲ表現スルナリ。而シテコノ各特有ナ
ル自分自身ノ内ナル世界ヲ表現スルナリ。故ニ此ノ
Monad 相互ノ Anlage = 從ツテ表現サル、

世界ハ異ルナリ。故ニ各 monad ハ自分白銀ノ立
場ヨリ表現スルト云フ事ナリ。尚 monad ト宇宙
トノ關係トニ就テ云ハル事アリ。

Concentration of the Universe 之ナリ。
之モ亦 experime^ントノ關係ヲ表スニ役立ツモノナリ。
然シ之ハ monad^{ヲ以テ}ヲ縮小^ス、(其低)セル所ノ
microcosmos^ヲ monad^{ノ中ニ}持テ居ルト
考フヘカラス。コノ monad^ノ sample^{ナリ}
ト云フ考オニ寄信ス。

更ニ monad^ハ selon son point de
veue^ニ從ツテ表現スルト云フ事ト寄信ス。然ラ
バコノ Concentration of the Universe ト
ハ如何。凡テノ monad^ハ相互ニ別ノ Harmo-
nious^{ナル}關係ニ在リト云フニ他ナラス。コノ關係
アレハコノ凡テ monad^ノ中ニ全体ノ Vorgänge
カ含まレ居ルト云フ事ニ他ナラス。故ニ一 monad
ハ Universe^ノ concentration^{ナル}ナリ。斯
様ニシテ一 monad^ハ謂ハバ、全宇宙ノ如ク
gellten^{スル}ナリ。故ニ一 monad^ハ Con-
centration^{ナル}ナル宇宙ナリ。此ノ意味ヲ ein-

heit^ニ於ケル Vielheit^ノ表現ナリ。故ニ mo-
nad^ハ Universe^ノ - nachbild^{ナリ}ト
考ヘ得。斯クノ如ク我々ハ monad^ノ性質ヲ分析
セシガ要スルニ monad^ハ Universe^ノ dall
stellung^{ナル}鏡ナリ。世界ノ Bild^{ナリ}。其
外ニ我々ハ之ヲ凡テノ性質ヲ綜合シテ repre-
sentatio^ノ概念ヲ説明スヘシ

Monad^ハ神ニヨリテ作ラレシ關係ニテ他ノ mo-
nad^ト關係ス。之ノ即チ rapport exact^{ナリ}。
而シテ monad^ハ全宇宙ノ表現ナリ。Monad^ハ
世界ノ中心ナリ。即チ世界ナリ。コノ意味ニ於テ
monad^ハ世界ヲ representation^{スル}ヲ稱。
之ヨリ次ノ重要思想出ツ。

コレ迄ノ考ヘ方ハ謂ハバ、空間的半面的考ヘ方ニ於
テ理解サレ居シカ。此ノ monad^ノ representa-
tion^ノ概念ハ時間的關係ニ於テ即チ monad^ノ
entwicklung^ト云フモノカ宇宙ヲ表現スル
モノナリ。即チ monad^ハ此ノ瞬間ニ於テ有ラユ
ル過去現在未來ヲ represent^{セサル}ヘカラス。然
シ此ノ事ハ前述ノ平面的ナル意味ニテ Universe

ヲ represent スルト云ヒシ意味ト今ノ representationノ意味トヲ別ニ解スヘカラス。先ニ、representationトハ宇宙ヲ表現スルコト、云ヘリ。今云ヘルハ此ノ representationト云フ概念カ空間及時間中ニ於テ之ヲ交錯セル所ノ交錯点ナリト云フヘシ。即チ時間的変化ト空間的変化ハ此ノ representationニ於テ交錯セリ。即チ representationハ Vielheitヲ含ム Einheitナリ。

更ニ今一ツ次ノ如キ結果生ス。

前ノ如ク monadニツキテ云ハシ居ルコト、宇宙ニツキテ云ハル、事トノ間ニ恒常的關係アリ。monadノ represent スルト云フ事ハ monad其ノモノ、actionナリト謂フヘシ。即チ monadノ自己活動的世界模寫ナリ。コノ方面ニ着目スルニ非ス。此ノ monadノ representationハコハ monadノ percevoirナリ。(自然的行爲)即チコレ迄ノ representationノ説方ハ monadノ何々ノ状態ヲ云ヒシナリ。此ノ状態ハ monadノ activityナリ。即チ前者ハ

mathematischeニシテ之ハ psychologischeナル解釈ナリ。然レモコノ事ハ二ノ representationカニツニ分ルト考フヘカラス。即チ、representationノ概念ヲニツノ halbニ分ツヘカラス。monadハ鏡トシテ、mathematischeナル意味トシテ represent スルト共ニ生キタル鏡ナリ。故ニコノニツノ概念ハ representationノ概念ヲ相融合シテ作り居ルナリ。コノ mathematischeナル意味ト Psychologischeノ意味トヲ比較セシニ、mathematischeノ意味ハ psychologischeナルオヨリ先行ス。然レモ monadノ mathematischeナル representationハ要スルニ activitatニ基礎ヲ有ス。故ニコノ psychologischeナル概念中ニ aufhabenサルナリ。

故ニ我々ハコノ representationノ概念ヲ他ノ percevoir, appercevoir等トノ關係ヲ考フルコトヲ得

此ノ關係ヲ説明スル一例トシテ alnoヘノ手紙アリ。exprimeトハ凡テノ対象ニ共通ニシテ自

然^然的動物の知覚或ハ理智的認識ヲ *species* トシテ
含ム所ノ最上ノ概念ナリ。自然的表象等ハ其自身
可分の物類のナル物ナリ。而シテ *apperception*
ハ *la consians* ヲ伴フ。

即チ *representation* ハ *apperception*、
perception 等ヨリ上位ナリ。即チ又等ノ關係ハ
subordinate ナル關係ナリ。然シ晩年ニ於テ
perception ハ *representation* ト同様ニ用
ヒタリ。 *appetite* ハ *perception* カ微分的ニ
上位ノ *perception* ニ移リ行クコノ *tendency*
ヲ云フナリ。一 *perception* カ他ノ *perception*
ニ往ク所ノ行為ノ基調ヲナス努力即チ *appetition*
ナリ。コノ *appetition* ヲリ物サレシ物カ *appe-*
titio ナリ。 *representation*

以上ニ於テ Leibniz^レノ概念ヲ理解セリ。

謂ハズ。一番下等ナル *perception* ノ動キヲ有
スル *monad* ヲリ。漸次高尚ナル段階ニ行ク *mo-*
nad ニ行ク。而シテ最高表現能力ヲ有ス
ル *monad* ヲ神トス。之ト通常ナル物トモ比較ス。
神ニ於テハ靈純。最明瞭ナル表象能力ヲ有スルモノ

ナリ。之ニ対シ普通ノ *universe* ハ。ヨリ不完全
不明瞭ナルカ *perception* ヲ有スルナリ。即チコノ
關係ハ如何ニシテ説明サルカ。元來 *monad* ハ
activity ヲ有スルモ。神ニ比シテ此ノ活動ハ制限
サレ居ル故ナリ。故ニ *monad* 中ノ *perception*
ハ尚不明瞭ナル故ナリ。此ノ事ハ *monad* カ神ニ
ヨリテ作ラレタリト云フ事ヲ證ス。何トナレハ。作
ラレシ物ハ。作りタル物ト同一ナル完全性ヲ有シ得
ス。即チ。ヨリ不完全ナリ。然モ *monad* ニハ窓
ナシ。故ニ此ノ無限ノ *monad*、*perceptive*
ナル能力ノ制限ハ他ノ何物ニヨリテモナサレズ。

即チ其 *monad* ノ何有ノ本質上斯様ナル制限アリ
ト云フヘシ。故ニ *monad* カ *universe* ヲ
表象スルニ當リ。各々ハ制限サレタル仕方ニ於テノ
ミ表象スルコトヲ得ルナリ。只神ノミ無限ナル仕方
ニ於テ表現ス。其知ニ *monad* ニ於テ我々ハ活動
ト。之ニ対スル *Hemmung* ト云フ *moment*
ヲ介ケテ考フル事ヲ得。Leibniz^レノコノ *monad*
ノ *passive* ナル所ハ *perceptive confuse*
ナリ。故ニ此ノ *perceptive confuse* ハ当然

制限サレサルモノヨリ能力小ナリ。

コノニツノ moment ヲ彼ハーツヲ forma substantia, 地ヲ materia (prima) ト呼ブ。

一、monad = 於ケルニツノ moment (active, passive). 而シテヨリ下級ナル monad ハ、ヨリ confuse ナル perception ヲ有スルト云フ事ハ、ヨリ多ク活動カノ memmen サレ居ル即チ materia, prima = 近キモノナリト云フヘシ。之ト反対モ亦然リ。即チ、全然 materialitat, passivitat ヲ有セサル物之ヲ神トス。而シテコノニツノ moment, 混合ニ於テ色々ナル段階生スルナリ。

而シテ精ニ注意スヘキコトハ、materia ハ所謂物質ト解スヘカラス。コハ只 monad, 一ツノ moment ニ名ケラレシ名称ナリ。

斯ク monad 中ニ、二種ノ element ヲ考フル事ヲ得。而シテコノ active ト passive トカ一定量ヲ以テ混在シ居ルナリ。而シテ結合ノ割合カ各異リ居リ。同一ナル物ハニツ アリ得サル故ナリ。

此処ニ所謂個性ヲ確立セシムル原理存スルナリ。

カク monad ノ個性的差別生スレハ materia, moment ノ原理ナリ。斯ク = monad, perception confuse 中ニ根ヲ有スル monad, 各立場ニ從ツテ表現スル所ニ差異ヲ生ス。即チ一方何々ノ monad ハ個性的立場ニ從ツテ宇宙ヲ表現シ。他方同一宇宙ヲ表現スル此ノ矛盾ヲ解決スル爲ニ与ヘラレシハ rapport exact ナリ。

此ノ rapport exact ハ Leibnitz ノ初期ニ於テ concomitance 等ノ言葉ヲ以テ。後ニハ Harmonic テフ言葉モテ表セリ。而シテ monad, 相互的關係作用ヲ考フヘカラス。各 monad ハ自ラ凡テヲ表現シ、凡テノ monad, 中ニ行ハレ行ク凡テノ process トノ中ニ rapport exact 存在スルナリ。故ニ Harmony = 對シテ materi ト云フ考方ヲ以テ關係サスレハ monad = 對スル關係ナリ。Harmoni ガ此ノ monad ヲ統制シ居ルナリ。即チ Harmony カ真ニ Harmony タルニハ monad = 對シテ制約性ヲ認ムヘキナリ。即チコノ monad カ原理トナリ。而シテ凡テノ

monaden 中ニ個性的差別生シ、之ニ從ツテ凡
テノ世界ヲ表現スルナリ。故ニ materi、多クノ
monad ヲ調和ノ爲ニ保ツ所ノ帯ナリト考ヘ得
故ニ materi、個性的ノ姿ニ於テ多クノ monad
ヲ結ビ附クル爲ニ認めラルヘキモノナリ。斯クテ
monad 相互間、monad ト universe トノ
間ニ調和アリ。故ニ一 monad カ宇宙ニ對スル関
係ニ於テ、又一ツノ monad ト他ノ monad ト
ノ間ニ Harmoni 存在スルナリ。故ニ monad
ノ相違ハ representation ノ明瞭度ノ差別ニ
過キサルナリ。而シテ此等 monad ハ決定的差別
即チ質的差別ノアリ得サルナリ。唯量的差別 (ac-
tive, passive) アルノミナリ。

世間ニハ隙間モナケレハ、重複モナシ。若シ性質
上ノ差別アリテ A ト mon A トカ存在スルトセハ
gap カ生シ得ル事ナリ。即チ凡テハ微分的ナル量
的差別モテ連続シ居ルナリ。コノ關係ヲ Lexen-
tiumi ト呼ハル。之ニヨリテノミ自然科学成立シ
之ニヨリテノミ自然支配ノ最大法則ヲ考ヘ得。コノ
法則ハ世間ノ凡テノ hiatus (vacuum), sal-

lus ヲ排斥スルナリ。故ニ我々カ変化ヲ考フルキ爲
シ A ヲリ monad A ニ移ルト考フル事ハ在リ得サ
ルナリ。即チ所謂變化ハ排セラレテ development
ト云フ事トナル。故ニ仮リニ一運動起リ下シテモ、
之ニ先行スル運動ヲ見ルヘシ。突然ノ運動ハ在リ得
ス。更ニ此ノ關係ハ世界ノ凡テカ gegensatz ノ関
係ニアル事ヲ知り得ヘシ。故ニ monad ノ全列ヲ
眺ムルモ殆ント無ニ近キ物カ、高キモノ迄皆漸次的
ニ infinitesimal ニ變化シ行キ居ルナリ。故ニ
一 monad ハ世界ニハ唯一ツ在ルノミ。故ニ無限
ニ多クノ度合カ考ヘラル。我々ハ此ノ連続ヲ区別マ
クトシテ考ヘ得キナリ。然シ此ノ間ニハ gap アル
ヘカラス。而シテ然モヨリ高ニ monad ハヨリ明カ
ナル representation ヲ持ツ故。ヨリ高キ monad
ハ、ヨリ低ニ物ヲ含ム事ヲ得。故ニ若シ人間ヲ考フ
ルニ人間以下ニ低キ物ハ人ノ representation 中
ニ色マレ居ルト考フヘキナリ。即チ我々カ人間自身
ヲ觀察シ、此ノ monad ノ世界ニ色々ナル ap teil-
ung ヲ考ヘ得ルナリ。

而シテ此ノ monad ノ系列ヲ上ニ溯ルト、ヨリ

明瞭ナル perception ヲ有スルトハ active カ多
キナリ。而シテ最モ極局ニ進メル凡テヲ最モ deut.
lich = 最モ Klarheit = represent シ居ル
モノニシテ之ヲ God トス。(而シテコハ materi-
alitat, passivitat カ少シテ無キモノナリ)

而モコノ god ハ monad ノ系列中ニ在ルヘキ
ナリ。此ノ神カ世界ヲ作り得ヘキヤ。 Leibniz ノ
神學的飛躍ヲ見ル。此ノ最高 monad ハ mate-
ria ナシ。而シテ monad ノ世界ヲ結び付クルモ
ノハ materia ナリ。即チ其処ニハ god ヲ我々
ノ monad ノ系列ト結び付クル筈ガナキ事ナリ。

即チコノ monad 世界ヲ超越シ居レルナリ。即チ
神ハ extra mundan (世界), supra mun-
dann ナリ。カクテ神ハ通常ノ monads ノ世界
ヲ超越スル事ヲ得。神ハ超越的ナルモノナリ。故ニ
神ハ世界ニ内在セルモノト考フヘカラス。即チ pan-
theismus ノ云ヘル如ク神ハ Weltseele ナリトハ
考フヘカラス。茲ニ完全ニ信仰カ保持サルノ事ナリ。

[注意] 而シテ斯様ナル神ニ対シテ materia
カ対立スルト考フヘカラス事ヲ注意スヘシ。強イ

テ云ヘハ、神ニ対立スル物ハ nichts ナリ。即チ
何物モナキナリ。又下ニ行キ全然 materia ノミノ
monad ヲ考ヘ得ルヤ。 Leibniz ハ之ヲ否定セ
リ。

凡テノ monad ヲ超越シテ完全ナル actus ト
シテ立ツ神ハ凡テノ monad ノ原因ナリ。而シテ
monad ノ世界ノ Harmoni ヲ見ルガ、神ハ
Ultima ratio ナル故。Harmoni ヲ規定ス
ル所ノ物ハ神ナルヘキナリ。即チ此ノ Harmoni
ハ神ニヨリテ豫定サレシモノナリ。之ヲ“豫定調和”ト
稱スルナリ。

God カ unbedingt ナル物ナルナリ。有ユ
ル世界ノ ultima ratio ナル故。世界ノ上ニ尊ク
輝ク世界ノ唯一ノ grund ナリ。即チ世界ノ生レ來
ル理由。斯用ハ神ノ恩恵ナリト云フヘシ。

若シ世界ニ美ノ姿多ケレハコハ神ノ賜ニ外ナラス。
人智ハ又神ノ恵ミ取キ賜ナリト云フベシ。

即チ全体トシテ世界ハ神ノ教智ト恵ミノ現レニ他
ナラス。即チ神ニ依リテ啓示サレシ物ノ物。信仰其
等ハ我々ノ Vernunft ニヨリ見出ス真理ト合一

スヘキナリ。即チ智ト信仰トハ *Leibniz*ニ於テ一
致スヘキ筈ナリ。矛盾アルヘカラス。

*Leibniz*ハ凡テノ真理間ニ、ニツノ差ヲ別ケタ
リ。

(1) *Vérités de raison*

(2) *Vérités de faits*

之ナリ。

即チ *raison* (*Vernunft*)ニ依リテ觀ムル
*Wahrheit*ハ我々ニ絶対的ニ真理ナリ。此ノ反対
ハ考ヘ得ス。其ハ矛盾律ニヨリ支配サレ居ル故ナリ。
故ニ此ノ律ヲ根拠トスル *raison*ハ絶対的ノモノナ
リ。然ルニ *faits*ハ神ニヨリ作ラレ居レリ。然シ結
局ハ神ノ自由意思ニヨリ作ラレシモノナリ。コハ即
チ矛盾律ニヨリ証明拜見スルコトヲ得ス。即チ我々
ニトリ偶然ナリト見ユ。而シテ我々カ神ノ知ヲ臆測
スルコトヲ得ス。故ニ我々ハ神ノ意思ニヨリ作ラレ
シ *faits*ノ本意ヲ知ルヲ得ス。カクニ色ニ考フルコ
トヲ得。 *Vérités de raison*ト *Law ges-
ch*ナル必然性ヲ有スルナリ。 *faits*ハ物理的必然
性ヲ有スルナリ。而シテ此等ハ神ノ意思中ニ在ラサ

ルヘカラス。而シテ此ノ必然性カ神ノ意思中
ニ在ルヘシ。コハ神ノ道德的(使ヒ得ヘクンハ)意
思ニ在リト解スヘキナリ。故ニ *Vérités de rai-
son*ハ反対ニ排斥スル事ヲ得ス。然レモ *Vérités
de faits*ハ神ノ意思ニヨリテ何等カノ理由ニヨリ
テ作ラレシモノナリ。人間ノ意思ニヨリ計リ得ス。
故ニ斯様ナル真理ハ事實ナルモ我々ニ取リテハ之ヲ
我々ニ忖度スルヲ得サルナリ。即チ我々ニ偶然ニ見
ユルモノ、内ニモ神ヲシテ之ヲ作ラシメシ原因存ス
ル筈ナリ。故ニ我々カ哲學スル時我々ハ此ノ神意ヲ
或程度迄臆測セントスルナリ。

神ハ色々ナル世界ノ内ヨリ最も調和シタル完全ナ
ル世界ヲ選出シタル筈ナリ。何トナラハ、神ハ良キ
意思ナリ。神ハ悪ミ殊ケレハナリ。然モ人間ニハ判
ラサルナリ) 而シテ今一度我々ハ考フ。神ハ何ヲ
ユル可能中ヨリ最良ヲ選ビシナリ。然ラハ神ヲシテ
之ヲ選ハシメタル原因ハ何如ニ在リヤ。コノ *grund*
カ *Leibniz*ノ哲學ニ於テ最も重要ナリ *prin-
cipium rationis* 即チ、充足理由ノ原理ナリ。
コノ原理ヨリ見レハ *Vérités de faits*モ必ス

何等カノ理由アルヘシテフ事ヲ云フナリ。

サテ *ratio* ノ最高ノ原因ヲ尋スレハソハ神ナリ。而シテ我々ハ理性ヲ使ヒ *vérités de faits* = 対スル世界ニハ種々ノ偶然ナル物アリ。然モコハ何等カノ充分ナル理由アルヘク。其ノ存在ニハ更ニ充分ナル理由アルヘシ。即チ凡テノ *prædicaten* ハ *subject* 中ニ含まレ居ルヘキナリト云フ事ナリ。カクシテ *ratio* ノ原理ハ *subject* ノ概念カ凡テノ *Prædicaten* ヲ含ムヘキコトヲ必要トスルナリ。

故ニ *vérités de raison* ハ有理数。 *vérités de faits* ハ無理数ノ如キモノナリ。

要之。偶然的ナル物ハ必然的ナル物ノ一ツノ *glied* ナリ。即チ此ノ *faits* ヲ無限ニ分解シ得ルトセハ之モ亦必然的ナル物ノ上ニ立ツヘキモノナリ。即チ偶然的ナル物ハ必然的ナルモノハ *glied* ナリト云フヘキナリ。即チ此ノ理由律ニヨリ西方ノ真理ヲ融合シ居ルモノナリト云フヘシ。コノ原理ニ従ツテコソ單ナル *physik* ハ *metaphysik* トナルヘキナリ。故ニ *vérités de faits* ハ *vérités de raison* ニヨリテ初メテ確カメラル。事トナル。

即チ *zufähig* ナル物ハ *notwendig* ナル世界ニ到ルヘキナリ。

要之。Leibniz ノ哲學ハ一ツノ *Weltbild* ヲ打立テ之レヲ有ラニル方面ヨリ鮮然スヘク何處カノ一部ヲ取出シテ説明スルコトハ不可能ナリ。

独乙ノ啓蒙思想ノ哲學

近世初期ニ全ク中世ニナカリシモノトシテ人間文化史上ニ新シキモノ現ル。コレ自然研究ノ精神ナリ。之ヨリ出テ *mechanische* ナル *mathematische* ナル方面行ハル。之ニ Leibniz ノ哲學カ結合シ Spinoza, Descartes 等カ結合セリ。故ニ神學ノ奴隸タリシ哲學ハ遂ニ確固トナレリ。斯クテ自然的光即人間ノ *Vernunft* ニヨリ凡テ我々ノ人生觀。世間觀ヲ建設シ初メタルナリ。斯ノ *Lawgish* ナル *mathematic* ノ人生觀カ凡テノ權利ヲ要求サレサルヘカラス。此ノ方法ヲ以テノ7世紀ノ初期。哲學ハ全歐洲ヲ支配シ初メタルナリ。即チ *Rationalis* ナリ。コノ哲學コソ眞ノ哲學ノ光リヲ發揮スルモノナリ。コハ世界凡テノ *Vernunft*

ftig = 補足貫徹セントセルナリ。コレ Aufklärungト呼フ。一般ノ精神ナリ。之レ音 = 哲學ノミ = 行ハレシノミナラス、有ラユル方面 = 動キ居ルナリ。而シテ哲學ハ Aufklärungノ中心思想ナルナリ。カクテ傳統ヲ捨テ其代リ = Vernunft = ヨリ有ラユル物ヲ理解セントスルナリ。理性的ニ得ラレシモノコソ有ラユル物ノ批判原理トナリ得ルナリ。而シテ Ratioノ有ラユル全体的性質ヲ規定シ、世界ヲ理解セントスルナリ。而シテ全世界ノ有ラユルモノハ此ノ哲學ノ中ニ於テノミ理解サレ居ルト云フ考ヘ思想ナリシナリ。此ノ気分ハ歐洲ノ全般ヲ被キ、Bacon 以來、英國啓蒙思想起リ。Barkley, Fume 之ナリ。

又ハ蘭西ノ Rationalis、結合シテヨリ Antiplogischeナルモノトナリ。Rameau等ノ運動ヲ起セリ。

コノ思想ハ独乙ニ於テハ Leibnitzノ Idealismナル monad 哲學カ之ノ先驅トナレル事ハ勿論容易ニ理解シ得。

Leibnitzノ哲學 = ハニツノモノ考ヘラル。即チ

Verided feve 及 Verided raison 之ナリ。

若シ我々カ彼ノ考ヘ方ヲ突キ進ムレハ Verided feveニヨリ凡テノ grund ヲ見出ス事ヲ得ス。然シ此知ニ feve、アルハ何等カノ grund アルヘシ。其背後ニ又 grund アルヘシ。カクテ之カ無限ニ可能ナリトセハ神ノ概念生ス。然レ托斯ノ如キ Verided feveノ背後ニハ神ニ於テハ何等カノ意味ニ於テ Vermunftig ナルヘシ。即チ Verided feveノ grund ハ要スルニ Verided raisonノ上ニ打立テラルヘキナリ。即チ有ラユル偶然ハ窮局ニ於テ何等カノ理性的ナル根拠ヲ有スルヲ見出ス事ヲ得ルコトナルヘシト云フ結論ニ到達スヘシ。カハル Leibnitzノ哲學ヲ取入レ。更ニ今云ヒシ Rationalistic ナル精神ヲ取入レ。彼ヨリ尚徹底セル物ヲラシメントスル運動起リ。コレハ Wolff ナリ。又 S. Pappendorf, Amos Comenius (附) G. B. Vico 等ヲ考フヘシ。

Wolffノ哲學ハ Kant 出ツル迄長ク独乙ノ哲學ヲ風靡セリ。今日多クノ文獻ハ彼ノ説ニハ全ク創見ヲ見出シ得ストスルモ、勿論 Leibnitzト Wolff

ヲ比スレハ多クノ影響ヲ前者ニ受ケ居ル事ハ事實ナルカ、Leibnizノ哲学ヲ彼ニヨリテ改造サレ、延イテ Kantニヨリ Wolffノ哲学ヲ取入レラレシヲ見レハ、前ノ批評ハ多少当ラサル所アリ。

Wolffノ哲学ハ実ニ美シキ一藝術品ニテ、其ノ何々ノ部分ハ如何ニモ細カク洗練サレ、論理的ナリ。斯カル彼ノ *ontology* ヲ彼ハ打立テタルナリ。此ノ点ニ於テ、彼ノ哲学ヲ無視シ、簡單ニ片附クルハ少シク不公平ナリトス。

Wolffハ内容ニ於テ Leibnizヨリ出ツ。又若キ時師ナリシ Neumannヲ通シ、*demonstrative*ナル、*mathematic*ナル潮流ヲ受ケ居ルナリ。即チ我々ノ *vorstellung*ヲ。

而シテ Wolffノ考方ニヨレハ、古代哲学ハ物ヲ考フルニ *mathematic*ナル考へ方ガナシト。故ニ Leibniz流ノ世界観ニ對シ今一ツ方法的立場ヨリ Descartesニ引カレシナリ。

斯ク彼ハ Leibnizノ *Rationality*ヨリ出テ、*Rationalism*トナレリ。即チ *Ratio*ニヨリ *Cognitiv*ヲ *philosophia*、*Cognitio*ト云フ

ト。

哲学ハ有ラユル *möglichen*ナルモノニ對シテ論セラルヘキモノナリ。此ノ場合 *Wingen*ハ *sein*ヲ要求セス。凡テ、*möglichen*ヲ包含セハ可ナリ。故ニ凡テノ *Willkürlich*ナル物ハ之ノ *possession*中ニ含マル。故ニ哲学ハ其ノ対象ニヨリ他ノ科学ト分テ得ス。若シ *Willkürlich*ニアル物ヲ最モ確實ニ最高原理ヨリ演説サレサルヘカラス。コハ数学アルノミ。然シ哲学ハ此ノ数学ヨリ *methode*ヲ借り來リシト考フヘカラス。

茲ニ於テ *Subject*カ *predicat*ヲ *bestimmen*スルテフ事ヲ考フレハ、*Satz*ハ凡テ *Analytisch*ナル物ナルヘシ。此ノ命題ハ絶対ニ真理ナルコトヲ得。故ニ眞實ト *Satz*トハ *Subject*中ニカ *predicat*カ含マレ居ル物ナリ。即チ最モ根本的原理ハ矛盾律ナラサルヘカラス。然シ之ハ *formal logic*ニ元來ハ限ラレ居シカ。然シコハ凡ニル *möglich*ナル物ノ最高法則ナリ。

斯クノ如キ意味ニ於テ建設サレタルモノカ哲学ナリ。而シテコハ *ratio*ノ原理ヲ以テ構成サル。

Wolff 哲学

一面ヨリ哲学ヲ *theoretisch* ナル方面ト、应用的ナル方面トヨリ見テ構成スルヲ得。又 Wolff ノ哲学ヲ此ノ方面ヨリ見ルヲ得、但シ能力ノ方面ヨリ見タル所ヲ考フヘシ。

人間ニハ認識能力ノ他ニ意思ノ能力アリ。此ノ二種ノ方面ノ应用ニヨリ大体哲学カニツキナルナリト。即チ彼ニヨレハ *ratio* ノ原理カ先行シ、之ヲ探究スルモノハ *Logik* ナル故。 *Logik* カ先驅トナリ、彼ノ哲学ハ構成サル。

次ニ彼ノ *System* ヲ掲ケン。

彼ノ *System* 中重要ナル物ハ *Ontologia* ナリ。コハ凡テノ哲学ノ本源タレハナリ。

此ノ *Ontologia* ハ Kant 哲学ニ影響シ居ルナリ。而シテ Wolff ノ此ノ *Ontologia* ノ内容ヲ理解スルニ非ンハ Kant ノ仕事カ如何ニシテ構成サレシカヲ見ルヲ得ス。(Kant 哲学ハ Wolff 哲学ニ対スル批評的反映ナリ)

Ontologia

溯リ哲学史上ヲ考フレハ *Aristoteles* ハ *metaphysic* ニ於テ *on he on*、哲学ヲエテケリ。(Ἐπιπέτηκῆ ἡ' θεερετ τῆ οὐ ἰ' οὐ). *Aristoteles* ニ従ヘハ、有謂存在ノ本質ノ最モ、普遍的研究ノ學カ存在スヘシ。コレカ其後ノ哲学ノ所謂 *Ontologia* ナリ。

恐ラク此ノ名前ヲ初メテ使用セシハ *Descartes* 派ノ *Crobers* ナリ。 *Ontosophie* ト云ヒ居ケリ。之ヲ考フレハ *Leibnitz* ハ *monado* ヲ掲ケ、此ノ *Ontosophie* ノ世界ヲ歩ミ居シナリ。故ニ Wolff ハ此ノ思想ヲ彼ノ思想ニ加ヘ *Ontologie* ヲ立テケリ。

此ノ *Ontologie* ハ物一徹ニツキテ研究シ規定スルモノナル故。此ノ結果ハ世界ノ凡コル物ニ妥当スル事カ要求サル。故ニ斯様ノ意味テノ有ラユル *Wissenschaften*、*grund* タルモノナリ。即チ *Grund Wissenschaft* ナリ。此ノ意味ニ於テ *Aristoteles* カ *Prate Philosophie* ト呼フ。之レ *prima philosophia* ナリ。中世時代 *prima philosophia* ト呼ビ居レルカ

之レ *Ontologia* = シテ、即チ *metaphysica* ナリ。然ルニ *Wolff* ノ考ヘニヨレハ、*metaphysica* ハ *Ontologia* ノ上位ニ立テリ。故ニ中世ノ考ヘオト多少異リ居ルナリ。

Ontologia sen philosophia prima est Scientia entis im genere sen quatenus ens est.

是レ *Wolff* ノ *Ontologia* ノ定義ナリ。

是ニ注意スヘキコトハ、*Aristoteles* ノ要求シ居ル ^{ontologia} 學向ト、*Wolff* ノ要求スル學向トハ内容上多少相異アリ。即チ *Wolff* ノ學向ハ *Seienden* 一般ノ學向ニ非ス、*Aristoteles* ハ學向ニ於ケル *ôv* ハ抽象的ナルモノニ非ス。凡テ固体ナリ。即チ *Dasseiend* ナルモノナリ。然ルニ *Wolff* ノ場合、*entis im genere* ノ場合、物ハ一層包含的広キモノナリ。然シ *on* ト *ense* トノ向ニハ内容上ノ相違アリ。即チ *Wolff* ニ於ケル *ense* ハ寧ロ *ding* 一般ナリ。必スシモ *Dassein* スル物ニ限ラス。即チ *dingen* 一般カゴノ *Ontologia* ノ學向ナリ。然モ *sein* スルチ *nicht sein* ス

ルカハ向題ナラス。即チ *ding überhaupt* ノ物ナリ。即チ *Scientia entis im genere* ノ學向ハ飽ク迄対象一般ニ關スル學向ニシテ *sein* ニ關スル學向ニハ非ス。蓋シ凡テノ *gegenstand* ハ *e. istlichen* スルトハ限ラサルナリ。又 *Dasseiende* ナル物ニ、之カ *ense* ナル限リ *Ontologia* ノ中ニ入ルモノナリ。即チ *existia* ト云フ概念ハ *Ontologia* ノ対象ナル *ens* トナリ來ルヘキナリ。

Wolff ノ *Ontologia* 建設、先頭ニ立ツモノハ矛盾律ナリ。或物カ同時ニ在リ、而シテ同時ニ在ラサルヲ得サル事柄ナリ。即チ同時ニ肯定シ、同時ニ否定スルヲ得サル事ナリ。唯之レノミカ唯一ノ公理ナリ。而シテ色々ナル命題ハ此ノ矛盾律ヨリ導出スヘキモノナリ。勿論此ノ矛盾律ノ基礎ツケハ我々ハ *Vernunft* ナリ。而シテ今日迄多クノ學者カ唯之レハ *Denken*、*geschehen* ナリト考ヘ居ルカ、彼ニヨレハ此ノ考方ハ一面的ナリト、實際ハ *ding überhaupt*、最高普遍的法則ナルナリ。即チ彼レノ *Ontologia* 建設、最後ノ土台ナリ得ルナリ。

故ニ彼ノ *Ontologia*ニ於テハ皆 *Wieder Spruch*
ヨリ導出サルト。 *Leibnitz* ハ充足理由ノ原理ヲ以
テ *metaphysik*ノ原理タラシメタリ。而シテ之
ト *Wieder Spruch*トハ同格ノ關係ニ在リ。乍
然 *Wolff*ハ此ノ *Satz v. Wieder Spruch*ノミ
カ基礎タリトセリ。我々ノ理性カ絶対的ニ肯定シ得
ルハ *Satz v. Wieder Spruch*ニヨルトナセリ。
此ノ要求ニ従ヘハ *Leibnitz*ノ *metaphysik*ニ
必要ナル充足理由ノ原理カ此ノ *Satz v. Wieder*
*Spruch*ニヨリ証明サルヘキ事ヲ証スルナリ。

*Satz v. Wieder Spruch*ノ上ニ還元サルヘキ
ナリ。固ヨリ此ノ *Satz v. Grund*ヲ

*Leibnitz*ノ理律ノ最後ハ神ナリ。

數多ノ *möglich*ナル世界中ヨリ神カーツヲ選ビ之
カ *Wirklich*ナル世界トシテ現レ居ルナリ。然シ
此ノ神ニヨリ存立サレシ *Wirklich*ナル世界ヲ審
査分析シ行ケハ遂ニ神ニ至ル。故ニ我々ノ偶然的
ナル物モ神ニ於テハ何等カノ理由アルヘキナリ。ト云
フ事カ *Leibnitz*ニヨリ暗示サレタリ。 *Wolff*ハ
*Satz vernunft wieder spruch*ヲ立テ

*Satz vernunft Grund*ヲ *Satz vernunft*
*wieder spruch*ニ還元サルヘキ物ナル事ヲ要求
セリ。而シテ古來此ノ説ハ屢々哲學史上ニ見ルヲ得。
然レモ此ノ説ハ *Chantabery*以來屢々試ミラレ居
ルモ非徒ニ困難ナリ。何トナレハ、神ニ於テハ何等
カノ *ratio*カ在ルヘキナリ。故ニ神ノ *grund*ハ
何等カノ意味ニテ *rationalistic*ナランモ。我々
ノ *ratio*ハ神ニ及ハサルカ故ニ失敗ニ歸シ居ル事多
シ。而シテ *Wolff*モ亦失敗セリ。

若シ何かバ充分ナル *grund*ナクシテ存スルトセ
ハ *etwas*ノ存在ノ *grund*ハ *nichts*ナルヘシ。
即チ *nichts*アルカ故ニ *grund*ナリト考フヘシ。
然シ *nichts*ハ *etwas*ノ *grund*タリ得ス。故ニ
*nichts*カ成立サレタリトスルモ *nichts*テフ事ヨ
リ *etwas*ノ *sein*ハ出テス。故ニ *etwas*アル事
ニハ必ず充足ノ理由トシテ *licht*ナラサル *etwas*
在ルヘキナリ。故ニコハ矛盾律原理ニ直ス事ヲ得。

凡テノ *etwas*ハ其ノ *grund*ヲ *etwas*或ハ
*Nichts*中ニカヲ有スヘキナリ。然ルニ *nichts*ハ
*grund*タリ得ス。故ニ凡テノ *etwas*ハ其ノ *grund*

nichts ナラサル etwas 中ニ有スヘキナリ。而シテ此ノ三段論法ハ Satz vernunft wieder spruch ナリ。斯クテ矛盾則ハ充足理由ヨリ出スヲ得ルト。然レモコハ言葉ノ遊戯ナリ。論理上ノ誤謬ナリ。即チ etwas ノ grund ハ何等カノ etwas 中ニ存スヘシト。然ラハ nichts ハ何ソヤ。此ノ definition ヲ考フヘキナリ。nichts ハ何カノ Wesen ヲ示サル、ナラハ。其ノ Wesen = 我々ノ概念カ存在スル筈ナリ。nichts ハ何等カノ fetierung ヲ表ストセハ。之ハ nichts etwas ナラサルヘカラス。然シ nichts ハ一義的ニ我々ニ事ヘラレテハ居ラス。我々ハ

凡テノ人々ノ etwas oder nichts ヲ盗ム。
nichts ヲ盗ム事ヲ得ス

故ニ人ハ etwas ヲ盗ムリト。之ハ第一前提ニ於テ恣意カ存ス。即チ "Was ist Nicht?" = 充分答ヘラレ居ラス。即チ凡テノ etwas ハ其ノ grund ヲ etwas in nichts = 持タサルヘカラステフ事ハ或意味ニ於テ etwas ハ grund ヲ有セサルヘカラステフ事ヲ認メ居ルナリ。故ニ彼ノ証明ハ証明

タリ得ス。失敗ニ帰スルナリ。即チ Satz vernunft grund ハ。Satz vernunft wieder spruch ト同様ニ Ontologia 中ニ使用サレ居ルナリ。故ニ兎ニ角此ノ Satz vernunft grund ヲ認メテ。之ヲ用ヒテ Ontologia ヲ構成セリ。即チ Satz vernunft grund ハ學ナル事實ヨリ出発シテ遂ニ理性的何物カニ到達スルナリ。即チ基礎附ケル物トシテ重大ナルモノナリ。即チ möglich ナル物ヨリ Wirklich ナル物ヘ進ムニ必要ナル物ナリ。故ニ此ノ Satz vernunft grund ハ philosophie ノ基礎タルモノナリ

Wirklich ハ Satz vernunft wieder spruch。Satz vernunft grund ノ法則ヲ Ontologia ヲ建設シ居レリ。

Wirklich ノ Satz vernunft grund ヲ換言スレハ次ノ如シ。

凡テ可能ナル物ハ其ノ grund ヲ有スルカ有セサルカナリ。

Wenn est einen grund hat etwas ist grund.

wenn es nich grund hat, es is
Nichts.

従ツテ凡テ可能ナル物ノ grund ハ etwas ナ
ルカ nichts ナリ。

若シ nichts カ etwas ナリトセハ此ノ nicht
カラ何故ニ物アルカヲ証明サルヘシ。即チ nicht
カ vorstellen サルヘキナリ。 nicht カ vor-
stellen サレタルモノハ何等カノ存在ナリ。

Wolff ノ定義

grund ハ凡テノ物ハ其カ在ラサルニ非スシテ
其カ在ル所以ノ grund ヲ有スヘキナリ。

grund (ratio) テフ事ハ etwas カ存
在セサルニ非スシテ、存在セリテフ事ヲ我々ニ理解
セシムル所ノモノカ grund ナリ。即チ、

A カ B テフ事ノ grund ナリトハ、何故ニ B カア
ルカト云フ事ヲ A カ我々ニ理解セシムル其ノ A カ B
ノ grund ナリ。即チ何故ニ B カアルカテフ事ノ
erkenntniss ヲ我々ニ專フルモノナリ。故ニ A ト
B トヲ相離シテ考フル限リハ其ノ間ニ何等 grund
テフ事ヲ云ビ得ス。即チ grund ヲ云フ事ハ A, B ト

カ何等カノ意味ニ於テ zusammenhang 状態
ニ在ルナリ。 ratio ト云フ事ハ、即チ二物ノ
sein ノ原因ニハ非ス、即チ grund テフ事ハ er-
farung ノ inhalt ヲ理性的 inhalt ニ致ヘ
行ク理性的 vernunftigkeit ナリナリ。

故ニ Wolff ノ哲學カ rationalistic ナル事
ヲ見ルヘシ。

然レ此ノ ratio ヲ一見心理學的ニ解スル危険
アリ。即チ此ノ ratio ヲ追求シ得ル能カアリ。然シ
Wolff ハ如何ナル意味ニ於テモ psychological
ナル能カヲ考ヘ居ラス。純粹ニ vernunftigkeit
ノミヲ考ヘ居ルナリ。

前述ノ如ク ratio ハ何故ニ etwas カアルカト
云フ erkenntniss ヲ与ヘタルナリ。然ラハ此ノ
ratio ハ erkenntniss grund ナラント考
ヘ易キ危険アリ。實際ニモ斯ク考フル人モ尙アリ。
Schopenhauer ハ其ノ源ナリ。然レモコハ全然誤
ナリ。之ヲ理解スル爲ニハ grund ト ursach ヲ
區別シテ考フヘキナリ。即チ ratio ト causa ヲ区
別スヘキナリト erkenntniss ヲ与フル物カ ratio

ナレハ causa ハ sein, grund ナリト考ヘ
ラル、ガコハ誤ナリ。 ratio トハ erkenntness
grund ト seins grund ヲ區別セハ grund
ハニ分スルカ。 Wolff = ヨレハ ratio トハ
grund überhaupt ナリ。 故ニカハル erk-
entness grund ハ ratio ノ一部ナリ。 故ニ
erkenntness grund ハ Wolff = 於テハ畢竟
スル = Logik = 屬スルモノニシテ彼ノ ratio ノ
principium ハ ontologisch = 考ヘラルヘ
キモノナリ。 而シテ erkenntness テフ事ハ 眞ニ主客
觀ノ對立ヲ意味スルカ Wolff = 於テハ未ダ之ハ考
慮サレキニ非ス。

即チ此ノ principium ratiolis sequentis
テフ事ハ ontologisch = 考フヘキ事ナリ。 ra-
tio ハ認識ノ grund ナラスシテ寧ロ seins grund
ナリ。 然シ斯ク分ケテ考フル事ハ Wolff = 於テハ
不可ナリ。 而シテ此ノ sein ハ決シテ dasein ス
ル物ニハ非ス。 只此ノ場合ノ sein, grund ト
云フモ只 Sache, grund ト云フ事ナリ。 即チ
Ding, grund ト ratio ヲ解スル事ヲ得。

即チ Wolff ハ或ル ding A カ自己中ニ何かヲ
含ミ居リ。 B カ理解サレ居ルナラハ此ノ A カアリシ
etwas ハ B ノ grund ナリ。

斯ク Wolff ハ ratio ト causa ヲ分ケ居ルカ
此ハ決シテ後年ノ意味ニハ非ス。 然ラハ causa ト
ハ Wolff = 於テハ ratio ヲ含ム所ノ ens カ其
物ノ causa ナリ。 即チ或ル Ding A ト B トヲ考
フ。 B ハ A ノ中ニ或ハ外ニ立ツトモ考ヘラル。 何故
ニ B カアルカト云フ事ヲ理解セシムル etwas カ A
中ニ在リトス。 而スレハ A ハ Warm Best ヲ云
フ事ノ einsicht ヲ我々ニ与フルノミナラス。 A ハ
B ノ causa ナリ。

斯ク ratio ト causa ヲ區別スル事ヲ得レト能
シテ之カ erkenntness grund ト seins
grund テフ風ニ分クヘカラス。

Causa ハ ratio ノ一種ナラスシテ ratio カ
causa ヲ含ムナリ。

斯クテ Satz vernunft grund カ Onto-
logy ヲ成立セシムル故。 我々ハ此ノ Satz ver-
nunft grund モテ凡テノ物ノ grund ヲ探

ス事ヲ得。此ノ事ハ或物ノ *wesen* ヲ探ス事トナル。 *ding* ニハ属性アリ。此ノ属性ノ *grund* ノ所在ハ *ding* ノ *wesen* ノ所在ナリ。故ニ *ding* ノ *wesen* ヲ知ラハ *grund* ヲ見出スヲ得。故ニ *Ontology* ニテハ何故ニ *etwas* アリヤテフ事ノ *grund* ヲ探ス事カーツノ要件トナル。

Ontology ハ *ding* 一般ノ學問ナリ。我々カ *ding* 事ヘラレタル *ding* ノミヲ考ヘ居ルナラハ、コハ未ダ經驗ノ範圍ニ止マリ居ルナリ。故ニ目前ノ *ding* ヲリ離レテ考究スヘキナリ。

我々全然理性的、絶對的ニ彼ノ如ク主張シ得。凡ソ矛盾セルモノハ不可能ナリトハ矛盾律ヨリ規定シ得ル事ナリ。故ニ缺ハ木ナリテフ事ハ不可能ナリ。相互ニ相接シ、同一中心点ヲ有スルニ因ハ不可能ナリ。即チ不可能 *impossible dicitur, quod contradictionem involvit.*

possible est, quod nullam contradictionem involvit.

即チ *Das möglich* ナル物ハ *wesen* カ矛盾ヲ含マサル所ノ物ナリ *wesen* トハ凡テ *acciden-*

dentem ノ導キ出サル、所ノモノナリ。 *wesen* ヲ構成スル *essentialen* カ矛盾ヲ含マサルモノ、即同時ニ肯定並ニニ否定サル、事無キ物ナリ。コレカ矛盾ナキ物ナリ。

斯クテ *quod impossibile est, existere nequit*, *wesen* カ矛盾ヲ含ミ居ル所ノ物カ存在スルトセハ同時ニ *etwas* カ肯定サレ、同時ニ否定サレ得ルモノナルカ故ニ、矛盾律ニ及ス。此ハ存在セス、之ニ及シ *quod possibile est, illud existere potest* (können)。凡ソ可能ナル物ハ存在シ得。一般ニ *etwas* カ *existieren* スル事ヲ得サル事ハ其カ矛盾ヲ含ム事ナリ。故ニ *possible* ナル物カ存在シ得スラフ事ハ、何故ニ存在セサルカト云フ事ノ充足理由ヲ欠キ居ル事トナル。然ルニ此ノ充足理由ノ欠ク居ル事ハアルヘカラス、故ニ之ハ存在ス。

故ニ *Das möglich* ノミカ存在シ得。即チカクスレハ次ノ事カ云ヒ得ヘシ。 *Das möglich* テフ物ノ概念ノ外延ト *Existieren könnende*、外延トハ一所ニナリ得ルモノナリ。即チ *Das mö-*

gliche = existieren könnende +リ.

möglich +ル物 = 対スル概念アレハ unmöglich +ル物 = 対スル ratioハ在リ得ス. 即チ之ヨリ impossible est nichil um +リ. 即チ Non ens dicitur quod existere nequit, consequenter cui existentia repugnat. 即チ Wollo = 於テハ unmöglich +ル物ハ ens +ラス 即チ möglich +ル物ハ存在スル +リ.

ens 1 定義.

Ens dicitur, quod existere potest, consequenter cui existentia non repugnat. 即チ Ens テハ物ハ existieren können +ルモノナリ. 然シコハ未タ Wirklich = 存在スルカ否カハ分ラサルナリ. 故ニ此ノ Ontologieハ daseinノ向題ニハ非ス. 只 Existence in potentia +レハ可ナルナリ. Ensハ其ノ Wesenカ existentiaト矛盾セサルモノナリ. 然ルニ別ニ existieren können +ル物ハ Das möglich +リ möglich +ル物トハ Wesen

カ矛盾ヲ含マヌ物ナリ. (即チ之ヲ構成スル accidentiaカ vereinbar (関係セル)ナル物ノ事ナリ). 然シテ Ensトハ其ノ Wesenカ existentiaト矛盾セサル物ナリ 即チ Wesenト Existentiaトノ向題ナリ. 前者ハ existierenノ向題ナル故ニハ直チニ同一ニハ非ス. 然シ我々ハ此ノ gapヲ埋ムル事ヲ得. 即チ一見 möglich +ル物モ之カ existentiaト矛盾セス. コハ ens +ラス カクテ existieren könnend +ル物ハ Das möglich +ル物ナリ. 斯クテ ensハ existieren potest +ル物ナリ. möglich +ル物ナリ.

Ensハ可能ナル物トシテ立証サレ居レト möglich 必スシモ存在セス. 此ノ向題起ル. 之彼ノ Ontologieニ於テ最モ重要且困難ナル物ナリ. möglichハ Wirklichニハ存在セス. 勿論 現実ニ existierenシ居ルモノハ existieren potestナリ. 然シ逆ハ必スシモ肯定出来ス. 四角キ物ハ四角ナリ得. コハ Das möglich +リ. 然レニ此ノ矛盾ヲ含マサルノミニテハ四角ハ丸クハナ

リ居ラス、之レヲ　ラサルヘカラス。只現実ニ於
テノミナラス　カハル *möglich* ナル物カ常ニ
存在シ居ルナラントハ云ヘサルナリ。建築家カ或場
所ニ家ヲ建テ得ル、然シ此ノ *plan* カ実行サレ
ンハ現実ニ家ハ存在セサル筈ナリ *Wirklich*
ナル物ハ *möglich* ナル物ナリ。故ニ *möglich*
ナル物ノ中ニハ存在シ居ル物ト云ラサル物トニツキ
考ヘ得ルナリ。即チ *Das möglich* ヲ種トスル
事ナル *möglich* ナル物ト *Wirklich* ナル
物ノ概念ヲ考ヘ得ルナリ。即チ *impossible* ナル
物ト *possible* ナル物トノ対立スル

即チ *Wolff* ニヨレハ、絶対的ニ *möglich* ナ
ル物ト *Wirklich* ナル *möglich* ヲ分
チ考フルナリ。即チ

(1) *possible absolute tate.*

(2) *possible respective tate*

(何かノ理由ヨリ *Wirklich* ナル物) 之レ中
世以來ノ呼方モテスレハ

(1) *possible internum sive interinsecum*

(2) *possible externum sive exterinsecum*

之レヲ又 *possibilitas huius mundi*
(此ノ世界ニ於テ可能ナル物) ト名ク。

即チ第一ハ最早此ノ世界ニ於テ *Wirklich* ナル
カ。單ニ *Das möglich* ナルカヲ向テ必要ナキ
モノナリ。

第二ハ、何時カ *dasein* スルモノナリ。故
ニ現在ニ於テ *Wesen* トナリ居ル物ノミヲ云フニハ
非ス。

既ニ知レルカ如ク、*Das möglich* ハ矛盾ヲ
含マサル物ヲ *enss* ヲ立テ居レリ。然シコノ *enss*
ハ存在シ居ル物タル事ヲ要求セス。故ニ單ニ矛盾ヲ
含マサル *enss* ヲ *Wirklichkeit* カ出来ルカ
ヲ考ヘサルヘカラス。單ニ *möglich* ナル物カ
existieren スル為ニハ、單ニ *möglich* (又) ナ
ラサルヘカラス。即チコノ又コリ *Wirklichkeit*
ナリ。即チ *möglichkeit* = *Wirklichkeit*
カ加ハリテコソ此ノ *enss* カ *Wirklich* = *exis-*
tieren スル事ヲ標。故ニ *existenz* ハ單ナル *mö-*
glichkeit (*ergenzung*) *erfüllung*
ナリ。此ノ意味ニ於テ之ヲ *complementum pos-*

sibilitatis ト云フ。

然ラハ此ノ Complementum possibilitatis ハ何処ヨリ來ルカ。コレ Wolff 哲學ニ於テ重大ナル物ニシテ。彼ノ哲學ニ於テハ完全ナル解答ハ与ヘラレ居ラス。即チ彼ハ ding = mögliche Bedingungen ヲ与ヘ得ルノミナリ。即チ彼ノ哲學ハ失敗ニ終レリ。茲ニ Kant ノ問題カ出ツル所以ナリ。

Wolff = 於テハ möglich ナル言葉ノ使用法カ必スシモ明確ナラサリシカ如シ。Wolff ノ中心問題ハ possibilitatis huius mundi ナルモノ、如シ 即チ此ノ世ニ於ケル möglichkeit カ warm möglich ナルカ。如何ナル grund ニ於テ möglich ナルカト云フ事カ中心トナル。故ニ此ノ Ontology ノ學ハ此ノ mögliches grund ringen ヲ考究スル事カ中心問題トナル。即チ彼ノ哲學ハ möglichkeit, grund 及び Bedingungen ヲ探ス事トナル。

“Complementum possibilitatis” ハ何処ヨリ來ルヤ? 先リ色々ナル possible dinge

ニ対スル Wolff ノ解答ヲ述ヘシ。

“複雑サレ居ル ding”

勿論部分ヨリ zusammen gesetzt サレシ ding ナリ。部分ハ ding 其自身ナラス。此ノ意味ニ於テ此ハ他者ヨリ成立シ居ル物ナリ。此ノ多クノ部分カ或ル仕方ニヨリ集リ居ル故 此ノ集リ得ル事ハ可能ナリ。而シテ色々複雑ナル方法アリ。故ニコノ zusammen gesetzt ナル ding ハ先ツ möglich ナル物ナリ。而シテ又此ノ ding ハ此ノ目前ニ在ル如キ集リ方ヲ必スシモナサ、ル可カラサルモノニハ非ス。勿論斯様ナル möglich ナル gesetzte ナル物カ Wirklich = 存在スルナラハコハ目前ニ在ル如キ形ヲシ居ルハ明ナリ。然シ他ノ形ヲトルコトモ亦 möglich ナリ。故ニ斯様ナル ding ハ möglich ニシテ現実ニ在ルカ如クニ在ル者ナリ。カク existieren シ居ル所ノ possibilitatis ハ何処ニ在リヤ。Wolff ハ此ノ世界ヲ構成シ居ルカ如キ事物ノ聯関々係中ニ其ノ grund ナカル可カラスト。此ノ世界ニ於ケル事物ノ聯関々係ハ非常ニ緊強ナリ。此ノ世界ヲ構成スル alles

ハ其一部取去ラレ、或ハ其処ヲ他物カ占メ、或ハ或
ル新シキ物カ出ルト云フ事ハ、全世界ノ構成カ取り
來ルヘキナリ。故ニ此ノ世界ノ一義的ナル *ding*ノ
Zusammenhang = 矛盾スル事ハ此ノ世界 =
Wirklich = *geschehen* スル事ヲ得ス。即チ
Wirklich = 存在スルコトハ其レ = 充分ナル
*grund*ヲ *Zusammenhang*ノ中ニ持テ來リ
居ル筈ナリ。即チ *Zusammen gesetzt*ノ *ding*
カ此ノ世界構成ノ *Zusammenhang der ding*
中ニ充分ナル *grund*ヲ持ツ時 = ノミニ於テハ單
ニ *innerlich* = 存在スルノミナラス *außerlich*
= *Wirklich*ナリ。 *Zusammen gesetzt*ノ
ding = 於テハ其ノ *Complementism* *poss-*
*ibilitatis*ハ此ノ世界 = 於ケル 中 =
存在ス。

即チ *Zusammen ding*ノ *existing*ノ *grund*
ヲ此ノ世界カ *existieren*セル事ナクニハ成立セ
ス。然ラハ我々ハ我々ノ最も確実ナル充足理由ノ原
理ヲ令一分進メサルヘカラス。上ノ如クナラハ此ノ
世界ノ *existence grund*ハ何処ニ在リヤ?

此ノ世界ノ *Complementism existence*ハ此ノ
世界カ充足理由ヲ有スル事ニ *Waste* *ken*セサルヘ
カラス。然ルニ此ノ世界ハ、此ノ世界構成 *grund*
ヲ世界自身中ニ持ツ事ヲ得ス。即チ此ノ世界ハ自己
自身ニヨリ独立シ居ルヲ得ス。即チ他事ニ其ノ存在
*grund*ヲ有セサルヘカラス。即チ此ノ世界ハ一ノ
*möglich*ナラサルヘカラス。此ノ世界ハ斯ク構
成サルハ事カ ナリトハ必スシモ考ヘ
ラレス。此ノ世界カ斯ク在ルカ如クニ在ルヨリ別ナ
ル在方ハ決シテ *unmöglich*ナラス。何等 *con-*
*tradictionen*ヲ含ミ居ラサルナリ。即チ一ツ
以上ノ世界ハ *mögliches ding*ナリ。然ルニ
此ノ *mögliche ding*中ノ一ナル此ノ世界カ *Wirk-*
*lich*ナルハ其ノ *grund*カ此ノ世界自身中ニ在
ルヲ得ス。即チ此ノ世界以外ノ何物カ = 其ノ *grund*
カ存在スヘキ筈ナリ。

又之ト同様ニ云ヒ得ル事ハ *einfach*ナル *ding*
ニ就キテナリ。即チ何等ノ *teil*ヲ有セズシテ *Zu-*
*sammengesetz*ヲ構成スル所ノモノナリ。斯カ
ル *einfach*ナル *ding*又ハ此ノ世界ハ其ノ充足

理由ヲ他ノ物ニ存ス。然ラハ斯ル如キ *ding* (世界ノ充足理由ヲ含ム *ding*) ハ如何ニ *Wirklich* = *existieren* セルヤ。Wolff ハ同様ニ答フ。之ニモ亦充足ナル *grund* 在ラサルヘカラス。Wolff ニ従ハハ、斯ルモノニ至リテハ其ノ *zuleiende grund* ハ其ノ *ding* 其自身中ニ存セサルヘカラス。即チ斯様ナル *ding* ハ *Wirklich* ナル物 = *möglich* ナル物ナレハ可ナリ。即チ *notwendig* ナル物ナリ。斯クシテ其ノ *Wirklichkeit* ヲ夫自身ニ含ミ居ルモノ *Notwendig* ナル物ノ *existenz* カ認めラル、ナリ。斯様ナル物ハ Wolff ハ斯クハ呼ビ居ラサレト。勿論之ハ神ナル概念ニ至ルヘキナリ。

Wolff ニ従ハハ、斯様ナル最高者ノ存在ハ、斯カル *Cosmologisch* ナル *beweis* ニヨラスシテ *Ontologisch* ナル *beweis* ヲ有スルナリ。

我々ハ或ル *ding* ノ概念ヲ作り、其ノ *ding* ノ *wesen* カ相互ニ矛盾セサルモノニシテ、此ノ各々カ最高度ニ於テ *realitate* ナル *ding* ヲ考ヘ見ル。(*ens perfectissimum*)。斯カル

ens perfectissimum ニ於テハ、之ハ *möglich* ナル物ナリ。斯様ナル *ding* ニ於テハ其ノ *wesen* ヲ構成スル物ハ最高度ニ於テル物ト考ヘラル。故ニ此ノ *ding* ノ属スル *etwas* ハ否定サレサル物ナリ。其処ニ於テ *ens perfectissimum* ハ *existieren potest* ナリ。然ルニ *existenz* ハ、*realitate* ナリ。故ニ其ノ *existieren* ハ此ノ *ens perfectissimum* ニ属スルナリ。故ニ即チ *ens perfectissimum* ノ *existenz zuleiende grund* ハ其自身ナル事ナリ。斯クテ *ens perfectissimum* ヲ証明シ得。コハ *möglich* ニシテ *Wirklich* ナル物ニシテ、其ノ *existing grund* ヲ夫自身ニ含ム物ナリ。

然レモ此ノ Wolff ノ考ヘニ対シテ、我々ノ批評ヲ加ヘサルヘカラス。我々ハ先ツ次ノ事ヲ考ヘ見ル必要アリ。

抑モ充足理由トハ何ヲ意味スルヤ?

zuleiende grund ハ何ヲ意味スルヤ?

此ノ *zuleiende grund* ヲ何ヲ事ハ *Sach*

verhalt = 關係シテ意味アル事ナリ 此ノ物ノ
zuleiende grund トハ何ソヤト云フ事ハ無
意味ナルナリ。故ニ ding, grund ヲ考フル時
ハ其ノ ding, zuleiende grund ヲ考ヘ
ラルヘキナリ。此ノ世界 einfach + ル ding
ノ神等カ、神ノ Wesen 中ニ其ノ zuleiende
grund 在リトスルニハ非ス。然ラハ此等ノ zu-
leiende ding 等ノ existenz grund ヲ
説明セサル可カラス。先ツテ Wolff ハ、或物カ或
物ノ existenz, zuleiende grund ト
ナルト云フ事ノ意味ヲ説明セサルヘカラス。

或 Ding A ト、Ding B トニ如何ナル關係アル
キ。一方ノ ding, zuleiende grund カ
B 中ニ存在スルカテフ事ヲ説明スヘキナリ。果シテ
Wolff ハ斯カル意味ノ説明ヲ与ヘ居ルヤ否ヤ。

先ツ zuleiende gesetz, ding 神ノ存
在ノ場合ニ於テハ此ノ要求ヲ充セリ。神ハ inner-
lich = möglich + ル故 ansehrich = モ
möglichkeit + リ。何トナレハ、神ハ not-
wendig keint + ルヲ以テナリ。即チ神ノ ex-

istent, inner ansehrich = 存在セリ。
又 ding ノ其レモ同様ナリ。乍然一語シテ世界ト
einfach, ding = 於テ grund ヲ成ムル片
之ヲ神ニ於テ有スルト Wolff ハ終スルモ、唯ソ
レノミニテ其ノ兩者間ニ如何ナル關係カ存在シ、其
レカ他ノ grund タルヤヲ説明ナシ居ラサルナリ。
若シ Leibnitz ノ説明ノ如ク彼カ之ヲ度々述キテ
多数ノ möglichkeiten 中ヨリ神カ自己ノ意思
ニテ其ノ一ツ最良ナル物トシテ此ノ世界ヲ送ヒタリト
セハ、数多ノ世界ハ、möglich 中ヨリ神カ定メ
タル此ノ世界以前ニ神カ欲シサハスレハ他ノ世界モ
出来シニ相違ナシ。即チ神ハ我々ノ世界ノ grund
タルト同時ニ、他ニ出来タラン世界ノ grund タ
リ得ルナリ。即チ、同一 grund ノミニテ世界カ
生スル事ナリ。故ニ Wolff カ之ヲ充ルニ説明セン
トセハ、此ノ間ノ關係、Wirklich + ル世界ト神
ト、而シテ神ト神カ欲シタルナラン所ノ世界トノ關
係ヲ明ニ説明サレサルヘカラス。然ルニ彼ハ説カス。
神ノ Wirklichkeit ト其ノ inner mög-
lichkeit トカ同一ナリト説カル事ハ、神ニ於テ

selbst = 於テ möglich = シテ。他ノ Wirklichkeit ナル complementum カ加ハル必要ナシ。之無クシテ直チ = Wirklich ナル答ナリ。カクセハ。我々ハ complementum existens, 尙題ハ。神 = 於テ除外サルヘキナリ。

此ノ complementum 解釈トシテ今一ツノ方法アリ。然レモコハ Wolff 自身ノ 解釈ナルカ。或ハ其ノ弟子ノ Waumgarten ノ 解釈ナリトスルモノアレトモ。コハ 暫ク捨テ置ク。

此ノ 仕テ = ヨレハ。ding, existenz テフ事ハ其ノ omnimode determinatum = 存在スルト云フ 解釈ナリ。

omnimode determinatum トハ。或ル ding アレハ。其ノ ding = 属スル凡テノ predicaten, 各々カ拒中律ノ要求 = 従ヒ必ス ja。或ハ nein ト規定サレ居ルナリ。

或ル ding カ規定サルハ = 非サレハコハ規定サルヘキ答ナリ。故ニ之ヲ規定サルヘキ grund ヲ見附ル事ヲ得。即チ bestimmet サレ居ルモノハ Wirklichkeit ナル物ナリ。後者ハ möglich

ナル物ナリ。即チ bestimmet サレ居ルモノ即チ omnimode = determinatum サレ居ル物ハ Wirklich ナル物ナリ。而シテ此ハ何物ナリ。即チ斯様ナ何物 = 於テ各々カ規定サレ居ルト云フ事ハ何性ノ原理ナリ。同時ニ此ノ原理ニ従ヒ單ナル möglich ナル物カ Wirklich トナルト。コレ complementum possibilitatis ナリ。即チ eingetragenes Ding ハ Wirklich = existieren スルヲ得レト。Allgemeine Ding ハ möglich ナル物ナリト云フナリ。然ラハ此ノ 解釈ハ充分ナリヤ。

解釈ニヨレハ。existieren ナル ding ト單ナル möglich ナル物トノ區別ヲ没却セリ。何トナラハ。彼等ノ主張ニヨレハ。第一原理ハ矛盾律ナリ。之ヨリ拒中律出ツ。此ノ拒中律ニハ。或ル ding ニ関シテハ相及スル predicat, 何レカーツノミカ許サルハナリ。然ラハ möglich ナル物ハ其ノ中ニ何等矛盾ヲ含メサルモノナリ。然ラハ之ヲ構成スル existieren カ。a トカ non a トカ規定サレ居ラサルヘカラス。之レナケレハ möglich

ナル *ding* ナラシテ *unmöglich*. ナル *ding* ナル筈ナリ. 斯クスレハ先ノ *omni mode determinatum* ニテモ. 説明セントスル時ノ *wirklich* ト *möglich* ナル物トノ關係ヲ見ントセ. 此所ヲ. 而シテ之ヲ解説シ得タリト考ヘ居ルニ拘ラス假ハ *möglich* ナルモノト *unmöglich* ナル物トノ關係ノミニ言及シ居ル状態トナレリ. 故ニ單ナル *möglich* ナル物ハ *wirklich* ナル物ニハ非ステフ仮定ヨリ出塞シ居リ. 矛盾ヲ來セルナリ. 故ニ凡テノ *wirklich* ハ. 之ニ対応スル *möglichkeit* ナル物ノ力カ多シ. 然ルニ今ノ結論ニ. *möglich* ナルモノハ拒中律ニヨリ凡テノ *predicat* カ *omni mode = determinat* サレ居ルナラハ最早之ニ加フル必要ナシ.

然ラハ何処ニ欠点アリヤ. 世界ノ *zusammenhang* ト. *mögliche ding* トカ矛盾セスト云フ事ヲ含ム *ding* ハ. 事實上此ノ世界ニ現在 *wirklich* = 含マレ居ル *ding* ナリテフ事ハ我々ハ認め. 然ルニ *Wolff* ニヨレハ. 現在テフ事ヲ要求セス. 然ラハ過去ニ於テモ現在ニ於テモ含マレ

居ラサリシ *ding* カ未來ニ於テ此ノ世界ニ *wirklich = existieren* スルニ至レハ其レ之ヲ此ノ世界ノ變遷トナスヘシ. 故ニ之ヲ考フレハ何故カナル *ding* カ現在ニ於テ實在シ居ラサルカ. 之ハ斯様ナル *ding* ハ此ノ現在ノ世界ノ *zusammenhang* ノ中ニ含マレ得サル物ナリ. 即チ此ノ *ding* ハ. 現在ニ於テ排斥サル. 然ルニ. 將來之カ實在スルト云フ其ノ世界ハ. 現在ノ世界ト其ノ *zusammenhang* カ異リ來ルナリ. 即チ此ノ *wirklich* ノ世界ニ於テ. *wirklich* ナル物ハ *wirklich* ナル事明ナリ.

若シ或 *ding* カ單ニ *möglich* ナル物ニ非ルキハ. 之カ属スル世界カ單ニ *möglich* ナラサル筈ナリ. 然ルニ此ノ世界ハ *an sich* = 考フレハ *möglich* 中ヨリ *wirklich* = 選ハレシモノナリ. 然ラハ此ノ多クノ *möglich* ノ世界中ノ *wirklich* ノ一ツカ單ニ *möglich* ナルニハ非スシテ實ニ *wirklich* ナル *grund* ヲ我々ハ求めサルヘカラス. 然ルニ *Wolff* = 於テハ. 此ノ世界ハ *notwendig* ナル物ニハ非スシテ寧ロ *zu-*

fülligナル物ナリ。故ニ世界ノ grund ハ ens perfectissimumニ在リシ筈ナリ。即チ其レ自身可能ニシテ同時ニ世界ノ grundタル ens perfectissimumアリシナリ。

其自身ノ grundナルーツノ ding Aカ。ソレヨリ其ノ Aト云ル etwas Bト云フモノ出テ來ルコレカ許サルハナラハ Bハ其ノ Wesenノ上ニ於テ其ノ zuleiende grundヲ Aニ於テ有ス。故ニ存在スルナリ。

即チ Bハ一ノ notwendig dingeナリ。如何トナレハ其ノ Wesenニ於テ existenzヲ有スルモノハ notwendigナル dingナリ。

(1) 故ニ。若シ世界ノ zuleiende grundカ昔ノ zuleiende grundヲ自身中ニ含ミ居ル wirklich dingナリトセハ其自身又 notwendigナル筈ナリ。故ニ世界モ notwendig dingナル筈ナリ。

(2) 然ルニ或ル dingカ其ノ zuleiende grundヲ自己中ニ有セサル物ハ zufälligナル物ナリ。此處ニ於テ此ノ矛盾カ如何ニ解決サルヤ?

Wolffニ於テハ此ノ解釈ハ乍ヘラレ居ラス。我々ノ知ル解釈ハ Spinozaノ其レナリ。即チ Bハ Aト云フ ding中ニ入り込ミ。A外ニ existierenスル事ヲ得サル物ナリテフ風ニ解釈セハ可ナリ。然ルニ Aハ B。Bハ Aノ外ニ在ラサルヘカラス。

Wolffニ依レハ。ens perfectissimumハ Notwendigkeitナル故 existierenスルモノトナセリ。

Ontologieノ第一ノ問題ハ ens perfectissimumノ概念ハ ens notwendigesノ概念ナリト云フ事ナリシカ。之ヲ以テ直チニ上ノ事ヲ決定スル事ヲ得ス。或ル gegenstand Aカ在リテ。此ノ existenzカ flawzetzenサレ居リ。Bト云フ Bestiumカ Aト云フ gegenstandノ Begriffニ属スル事ナリ。故ニ Aノ existenzカ決定サルレハ之ヲ決定スル事ヲ得ス。故ニ多クノ場合此ノ Aノ existenzハ flawzetzenサレ居ルナリ。

即チ ens perfectissimumノ existenzハ未ダ証明サレ居ラサルナリ。故ニ若シ ens per-

fectissimum カ實在セルナラハ、新様ナル物ハ
notwendig ナル物ナリト云フ事ヲ得ルナリ。

要スルニ命途ノ如キ出発点ニ於テ出ツルキハ ens
テフ事ヲ充分ニ規定スル事困難ナリシヲ知ル。

ens ヲ ens タラシムル möglich bedin-
gingen ハ如何ナル所ニ在リヤト云フ問題ハ Wolff
ノ解説ニテハ未ダ充分ナラス。而シテコハ古來幾多
ノ人士カ違着シ、困難ヲ生シタル問題ナリ 此處ニ
Kant ノ出現カ意味ヲ有スルナリ。之、Kant、
中心問題ナリト解スルヲ得、即チ彼ハ Wolff ノコ
ノ Ontologie ノ解説ヲ目前ニ置キ、然モ其レニ
自己ノ新シキ解説ヲ行ヒ、 reformatio ヲ行ヒシ
ナリ。

Wolff、möglich トハ Erfahrung ma-
ßig ナル物ニシテ、之カ如何ニシテ grund
bedingungen ヲ持チ居タルカト云フ事ヲ識ク
ガ彼ノ Ontologie ナリシナリ。Wirklich ナ
ル物ノ grund ヲ探究スル事ハ又 Wissen ノ問
題ナリ。

Wolff、grund ノ問題ハ gegenstand

並ビニ其ノ Wissen ヲ begründen スル此ノ
事實ノ Wissen ヲリ 理性的知識ヘ進ムナリ。一言
モテ之ヲ言ヘハ、Wert、grund 如何、如何ナ
ル grund ニ於テ可能ナリヤ、斯ク考ヘ來ルトキニ
ハ Wert ヲ rational ニ探ス事トナル。如何ナ
ル grund Bedingungen ニ於テ möglich
ナリヤ、コレ Kant ニ於テ答ヘラレシ所ナリ。

Kant 哲學

Kant ハ 1722. 4. 22 ニ生ル。批判期ニ
於ケル彼ノ哲學ハ Vernunft Kritik ナリ。
Kritik トハ經驗ヨリ独立ニ得ラル、一切認識ニ関
スル理性能力ノ批判ナリ。コハ grund setz ヲ
リ續設セサルヘカラスト。然シ一切ノ經驗ヨリ独立
ナル理性能力ノ批判ニ於テ彼カ追求セシ所ハ何ソヤ。
Kant ノ所謂 kritische philosophie、
Wesen ハ何ナリヤ、コハ非常ニ重ナリ。此ノ問題
ニ関シ新 Kant 學派ノ人々カ色々ニ解答ヲ与ヘ居
ルナリ。之ニヨリ Kant ノ解説ハ色々トナル。而
シテ決定的意味ニ於テ同一視點ヲ見出ス事ハ困難ナ

り、サレト大体ニ於テ認識論的究解ニ立ツナリ。

即チ認識ノ *möglichkeit* ノ探究ニシテ同時ニ
人間理性ノ *grenz* (限界) ヲ設立スルコトナリ。
此ノ意味ニ於テ新 Kant 學派ノ解釈ハ一般ニ一致
シ居ルモノト云フヘシ。今迄ノ理性論ニ於テハ理性
能力ニ限界ナカリシカ、之ニ對シ或ル限界ヲ示フル
事ニヨリ之ヲ批評シ行クモノナリ。即チ若シ從來考
ヘラレ居ル *transcendentale* ノ考ノ意味ハ大
体次ノ如シ

即チ Kant 以前ハ凡テ *dogmatisch* ナリキ。
Kant ハ此ノ独断ノ眼ヨリ覺サレタルナリ。即チ
認識ノ能力、技能ヲ定ムル事ナル外界ニ在ル対象ニ
對シ *metaphysik* 的解釈ヲ行ヒ居ルナリ。然
シ尺テノ認識ノ対象ハ我々ノ認識主觀ノ表象トナリ
テ表ハレサル可カラス。之ヲ旧來ノ理性論モ、經驗
論モ忘レ居ルナリ。即チ古來ノ *rationalism*、
Empiricism ニ於テ 認識能力ニ一切 *grenz* ヲ置
カス。而シテ直チニ *dinge* ノ認識ニ向ヒ行クナリ。
之レ *rationalism* ナリ。 *Empiricism* ハ我々
ノ認識ハ經驗ニヨリテ 一ハキナリトセリ。斯様ニ

シテ旧來ノ哲學ハ Kant ニヨリ凡テ *dogmatisch*
ト名ケラレシナリ。即チ懷疑論ハ之ニ對シ多クノ警
鐘ヲ乱打セシモノナリ。然レ氏此ノ懷疑論ハ究極ニ
於テ自己破壊ヲナスモノナリ。故ニ此ノ懷疑論ハ所
謂獨断論的見地ニ立テ凡テヲ否定スルモノニシテ、
何等確乎タル立場無シ。而シテ *rationalism*、
Empiricism 等ハ凡テ *psychological* ナル
立場ニ立チ居ルナリ。認識ノ妥当等ヲ定ムルハ、人
間ノ *ursprung* ニ於テ或ハ人間ノ *geist* ニ於テ
此等ノ事ノ可能ハ如何ナル根柢ヲ有スルヤト云フ事
ヲ定ム。此ノ時人間主觀ニ生來ノ何等カノ觀念ヲ有
シ。之カ *ursprung* ヲ有シ認識ヲ行クナリト見ル
ヘシ。即チ生得觀念ヲ依定シ、之ヲ真理認識根柢ナ
リトセサルヘカラス。或ハ逆ニ、外界事物ノ確實性
ヲ依定シ、之ニ我々知識ノ確立性カ *depend* シ居
ルト考ヘ、外界事物カ主觀ニ及ホス作用ト云フ事ヨ
リ考ヘ、真理的認識ノ程度ヲ定メントスルナリ。前
者ハ旧來ノ *rationalisms*、後者ハ旧來ノ *Em-
pirismus* ト其ノ軌ヲ一ニスルモノニシテ、結局
dogmatisism ナリ。

Kantノ天才ハ懷疑ヨリ *dogmatismus*ノ眠
ヲ覺サレ。認識トハ如何ナル物ナリヤテフ事ヲ新シ
ク建設シ初メシナリ。即チ上ノ物等カ結局破綻ニ終
ルガ。コハ認識其ノ物ニ関スル方法論的探究ノ欠乏
ヲ見ル。故ニ認識能力其物ニ対スル確實ナル根柢ヲ
与ヘサルヘカラス。ト共ニ新様ナル認識能力ニ関シ
行ハルニ精密ナル根柢ヲ其ノ上ニ立ツル哲學的方法
ヲ立テラルヘキナリ。此処ニKantノ使命アルナ
リ。即チKantハ認識ノ能力及 *Grenze*ヲ定メサ
ルヘカラス。之コソKant以前ノ *Empirismus*
dogmatismus, *psychologie* 或ハ *metaphysik*
若クハ *Ontropogisch*ナル態度ニ
対シテナセル *transcendental*ナル方法ナリ。
新様ナル考ヘ方カ若シ成立スルトセハ。コレコソ従
來ノ哲學ノ視點ヲ逆ニセルモノニ外ナラス。其知ニ
*Copernikanis*ノ哲學ノ *Wendung*カ存スル
ナリ。新様ナル認識論的哲學ハ正ニ凡テノ學ノ基礎
タリ。哲學ノ基礎タリ。

更ノ如ク *Erkenntnis*, *möglichkeit*ヲ
論シ。同時ニ人間ノ *Vernunft*カ如何ナル程度

ニ理解スル事ヲ得ルカト云フ認識能力ニ限界ヲ与
ル事カ從來ノ新Kant學派哲學ノ見方ナリ。然レ
モ詳細ニ入レハ猶命派多シ。例ヘハ

Kant哲學ニ対シ。新Kant哲學派ノ先驅者タ
ル *Quenofischer*ノ如シ。

彼ハKantノ *vorkritisch*ナル考ヘヲ論シ。
Kantノ認識ヲ否定セリ。理性ノ限界ヲ限定スル事
ハ理性ノ基礎ヲ附クル事。即チ *Vernunft*,
*möglichkeit*ヲ論スルモノナリト。Kantハ
*vorkritisch*ナル哲學ニ於テ *Vernunft*ヲ色
々ニ取扱ヘリ。而シテコハ經驗ノ彼岸ニアル所ノモ
ノ、世界認識ヲ不可能ナリトセリ。即チ *intelli-*
*gible*ノ世界認識ハ不可能ナリトセリ。而シテ之ニ
対シ經驗的ナル世界 *simlich*ナル世界認識ハ
可能ナリトセリ。然シ新様ナル *sinnlich*ナル認識
基礎タル經驗其ノ物ハ。カナル認識能力ヲ要求スル
ヲ得ス。完全ナル認識ノ爲ニ立ツ物ハ *Mathe-*
*matisch*ナリ。然ラハコハ如何ニシテ成立スルヤ。然ル
ニKantハ新様ナル數學的原則ハ時間及空間ヲ豫
想ストセリ。然ラハ空間時間ハ如何ニシテ可能ナリ

ヤ、我々認識ノ全範圍ニ對シ其ノ限界ヲ向フ事カ
Kritikノ範圍ノ全体トナル、而シテ之ヲ解決ス
ル事ハ Kritik der reinen Vernunft
ニ專クモノナリトス。コレ Quonofischerノ考ハ
ナリ。

又 Coen = ヨレハ Kantノ Aufgabeハ
第一 = erfahrungノ Erkenntnis grund
ヲ研究スル事、而シテ Kritik der reinen
Vernunft = 於テハ認識ノ grenzカ定メラ
レ、此ノ概念カ cling an sichニテ物ニヨリ
positiveナル意味ヲ与ヘ、目的、原理等カ分ケ
ラレ、之カ Coen 學派ノ哲學トナリシナリ。

Mahlburg 學派。 Winderband
Kantカ Kritik der physik = 於テ設立
セシ所ハ Erkenntnis begriffヲ新ニ作り、
如何ナル程度ニ迄 menschlichナル能力カ認識
シ得ルカヲ定ムル事ナリ。即チ絶対的 ding an
sichノ認識ニ赴カントスル transcendentナル
哲學ナリ。即チ Kritik transcendental
ノ哲學ハ從來ノ transcendentノ哲學ニ對立ス

ルモノナリ。即チ人間ノ apriorieノ本質ヲ制約ス
ル事ニ關スル問題ナリ。此ノ意味ニ於テ旧來ノ dog-
matism, Empirismヲ打破スルモノナリ。
即チ Erkenntnis tätigkeitヲ制約スル
能度ナルナリ。此ノ意味ニ於テハ又 Kritik ver-
nunftノ為ニ Erkenntnisノ概念ヲ新シク建設
シ、斯クシテ建設サレシ認識力如何ナル程度迄人間
能力ニヨリ達セラル、カト云フ事カ此ノ哲學ノ問題
ナリ。

更ニ此ノ外色々ナル新 Kant 學派アリ。

Paihinger.

Kritik physikノ極 Allgemeinノ問題
ハ Erkenntnisノ Wesenニ對スル問題トナレリ。
Wie ist der reine Vernunft. A-ツ
ハ、如何ニシテ經驗ハ可能ナリヤ? コハ Dogma-
tikerカ此レ迄考ヘ居ラサリシ所。既ニ認識ヲ考
フレハ

而シテコハ相互 = fremdeナル物ナリ。然ラハ
如何ニシテ此ノ 力全ク gemeinナル
ト交渉スルニ至ルカト云フ事ヲ考ヘサ

ルヘカラス。

他面 empirist カ 考ハニ經驗ト云フ事ヲ云ヒシガ、此ノ erf カ何タルカヲ彼等ハ向ハサリキ。Kant ハ之ヲ探究スルナリ 之ニヨリ Empirism ヲ打破スル事ヲ得。

Kassiler Coenヨリ出テシ Hamburg) Kaccilaハ、ding 其物 Seele 其物ニツキ何物カヲ知ラントスルモノニ非ス。即チ Kant 學說ノ内容ハ ich ナラス。或ハ又 ich カ外物ニ對スル關係ニモ非ス。然ラスシテ Kritik ノ本質的 Wesen ハ Erf / gegensätzlichkeit ト Erf トノ Logische struktur ナリ。一般ニ對象ハ an und für sich 其地ニ在ルニ非ス(其地ニ認識シテ初メテ云フ事ヲ得) 即チ斯様ナル gegenstand ハ必ず我々ノ經驗ヲ成立セシムル Bedingungen) 本ニ於テ初メテ確立セシメラル。故ニ我々カ dinge, sein ニツキ云ハントセハ先ツ erfahrung, nonnen ト Wesen トヲ探究サレサルヘカラス。

Bruno barf

Kant ノ哲學ハ erkenntniss, grunden und grenzen ノ學問ナリ。竟ニ Kant カ Erkenntniss grunden und grenzen ノ Wissenschaft トシテノ學ヲ立テタリ。コレヨリ初メテ Wissenschaft ノ名ニ相應シキ眞ノ Wissenschaft ナリ。然ラハ Erkenntniss ト云フ事ノ意味カ最も嚴密ニ理解サレサルヘカラス 即チ Wissenschaftlich ナル erkenntniss, grunden und grenzen ノ學ナリ。即チ Erkenntniss gesetzlichkeit ノ向題ナリ。

R. Kroner

Kritik, Wesen ハ Seins erkennen + ラスシテ Seins erkennen, erkennen ナリ。即チ Erkenntniss theorie ナリ

經驗一般ノ可能ノ制約ト同時ニ經驗對象ノ可能ノ Bedingungen ナリ。此処ニ Kant ノ Kritik 全体ノ本質アリト見ルヘシ。Erkenntniss ト Seinden トノ向ニ何等カ共通ナル Logische ナル element, 存在ヲ直チニ定ムル事ハ不可ナリ。

コハ *gegenstand* , *sein* ヲ可能ナラシムルカ
故ニ其自身ノ *sein* ヲ可能ナラシムルト云フ事ハ必
スシモ然ラス。故ニ之ハ決シテ從來ノ *ontologi-*
sche ナル物ニハ非ス。 Kant ノ目ハ *ding* ,
seiende ノ物ニハ非ルナリ。之カ *erfahrtheit*
ノ上ニ向ケラレタルナリ。而シテコハ *dinge* ノ性
質ニヨリテ規定サルハモニ非スシテ、斯様ナル
dinge ノ *erfahrbarkeit* カ此ノ *dinge* ノ
erfahrbarkeit カ可能トスルナリ。

即チ Kant , *Logik* ハ *sein* , *Erkennen*
ニ非ス。即チ *Erkennen* , *Erkennen* ,
Erkennen , *Kritik* ナリ。

以上ハ *Erkenntniss-theorie* ト見ル点ニ於
テ一致スルナリ。之ニ対シ今一方ニ、極メテ新シキ
異レル *Kritik* ノ解説ヲナセル流アリ。

此ノ新解説ノ聲ハ未ダ小サシ。然レモ之等ノ人々
ノ考ヘ方ニヨレハ、本來哲學的ノ要求ハ形而上學的
ノモノナリ。然ルニ若シ哲學即チ認識論トシテ Kant
哲學ヲ解スルナラハソハ單ニ一面的ニ止ル。吾人ハ
Aristoteles 以來ノ哲學ノ本流ニ打入ラサルヘカ

ラス。大体ニ於テ前述ハ Kant , *metaphy-*
sik ノ否定者ナリキ。此等ハ少クモ *metaphy-*
sie , *reformer* トシテ見ル点ニ於テ等シ。例ヘ
ハ *Königsberg* , *Heimsoeth* , *Ebbinghaus* ,
Wundt 等ナリ。

Wundt ハ *Heimsoeth* , *Ebbinghaus* 等
ト少ク離レタル解説ヲナセリ。一般ニ断片的ニ表
セルノミナリ。此等ノ人々ハ Kant ヲ如何ニ見タ
ルカ。極大体ヨリ云ヘハ *Max Wundt* ノ解説
ニ依レルカ。 *Reinen Vernunft* ハ要スルニ
新 *metaphysik* , *Begründen* ナリ。若シ
Kant 其人ノ正史的意義ヲ捉ヘ、真ノ Kant ヲ
捉フル為ニハ、全ク虚心恒懐ニ見レハ之カ彼ノ *ab-*
sicht ナル事ヲ見誤ル若ナシ。彼ハ今迄ノ *metha-*
physik ヲ *Begründen* サル、為ニ努メタルヤ必
スセリ。即チ *metaphysik* ハ Kant ニ於テハ
一ノ新シキ *methode* ヲ見出サレ、從ツテ新シキ
metaphysik ヲ *Begründen* サルト。此点ニ
於テ Kant , *Aufgabe* ハ *metaphysik* ヲ
目標トセリ。サレト Kant ノ *Kritik* カ其ノ目的

ヲ達スル爲ニ其ノ手段トシテ認識ヲ其ノ源泉ニ推シ
此ノ事カ *mittel* トシテサレサルヘカラス。純粹
ナル理性ノ認識ニセサルヘカラス。此ノ任務ヲ
負ヘル者ハ *Reinen Vernunft* ナリ。

Reinen Vernunft ハ認識ノ *principien*
ヲ与フルモノナリ。Erkenntnisヲ prüfen
スル事ハ Kant (kritische philosophie)
zweck ナラスシテ zweckノ爲ノ mittelタルニ
過キス。此ノ *Reinen Vernunft*ノ system
ハ所謂 *Transzendental philosophie* ニシテ
Kritikハ前提ナリ。Metaphysikハ *Reinen*
*Vernunft*ノ *principium*ニヨリ打立テラ
ルヘキヲ以テ。Kantノ尚題ハ *Metaphysik*ノ
*möglichkeit*ノ *aufgabe* ナリ。

サレハ此ノ *kritik*ノ 殊ニ其ノ 點ニ 関シ 明カニ
Kantヲ理解スルニハ彼ノ *categoryen*ヲ例ニ
取レハ可ナリ。其ハ *metaphysikisch*ナル分類
ナリ。即チ *Max Wundt*ノ 解説ハ 誤レリ

更ニ *Heimsoeth*ハ Kantノ *kritik*ハ Kant
自身ノ *metaphysik*ノ *Vorbereitung* ナリ。

Kantノ *Erkenntisslere*ノ *Kritisch*ナル *mo-*
*ment*カ何ノ程度迄 Kant自身ノ *metaphy-*
*sik*ナル *motive*ニ従ツテ規定サレ居ルカヲ追求セ
リ。

*Ebbinghaus*ニ依リハ *metaphysik*ト云フ
*Wissen*ノ 改造カ *ziel*ナリ。此ノ 實ニ 於テ 今日迄
Kantノ 哲學ノ 内ニ 解ケサリシ 鍵カ 強メラル。Kant
ハ *Aristoteles*ノ *on hei on*。即チ物ヲ物タ
ラシムル學ト云フ意味ヲ 哲學ノ *ziel*トセリ。Me-
taphysikハ 學ニ *Allgemein*ナルモノ、pre-
dikatenノ 學ニハ非スシテ *sein*ノ 本質ノ 學ナリ。
而ルニ 中世以來ノ *philosophie*カ 新鮮氣ヲ 享フ。
*philosophie*ハ *metaphysik*ニ依リ 必然
ニ 存在スル *dingen* 其物ヲ 捉ミ 得ルト 考ヘ 居シモ
ノ、如シ Kantノ 眼前ニハ 此ノ 二色ノ 意味ニ 於
テ *Erkenntiss*ナリ。

(1) *ding*一般ノ *Bestimmungen*ノ *Erkenntiss*
ノ 學ナリ。Wirklichナル *wesen*ノ 學ナリ。
即チ 斯ク 考ヘ 來レハ。爰ニ 彼ハ カ、ル *Ontology*
ヲ *Transzendental philosophy*ト 呼ビシ

ナルヘシ。

(2) 狭義ニ於テ Metaphysikニシテ Wirklich
ナル dingen, möglich, 學ナリ。

Wirklich ナル物ニハ möglich ナレハ可ナ
ル如キ Wirklichen ナル物, 學ナリ。神或ハ自由
若クハ死等ナルヘシ。此等ハ Transzendent ナ
ル物ヲ対象トス。Transzendental ナル世界ハ
seienden möglichkeit, 彼岸ニアルガ。
Transzendent ハ ding 一般, モノナリ。

Transzendent ハ Ontologie, Wesen
ノ學トナル。昔, Ontology, Wesenニ對シテ
Kant, philosophie, 答フルハ apriorisch
ナル慣性, Begriffニ基キ居ル ding, Erkenntis
möglich, aufgabe ナリ。即チ Trans
zendent, 目標ニ Ess, Bedingungenナル
notwendigkeit, Erkenntis, aufgabe
ナリ。対象ノ方ヨリ云ヘハ 古キ Ontologyト一致
スルヤモ知レス。然ルニ Kant ハ所謂 Ontology
ノ prädicatヲ ding, Wesenトナス。Intelle
gible, 世界ハ直チニ慣性的 Erkenntisトハ辭叙

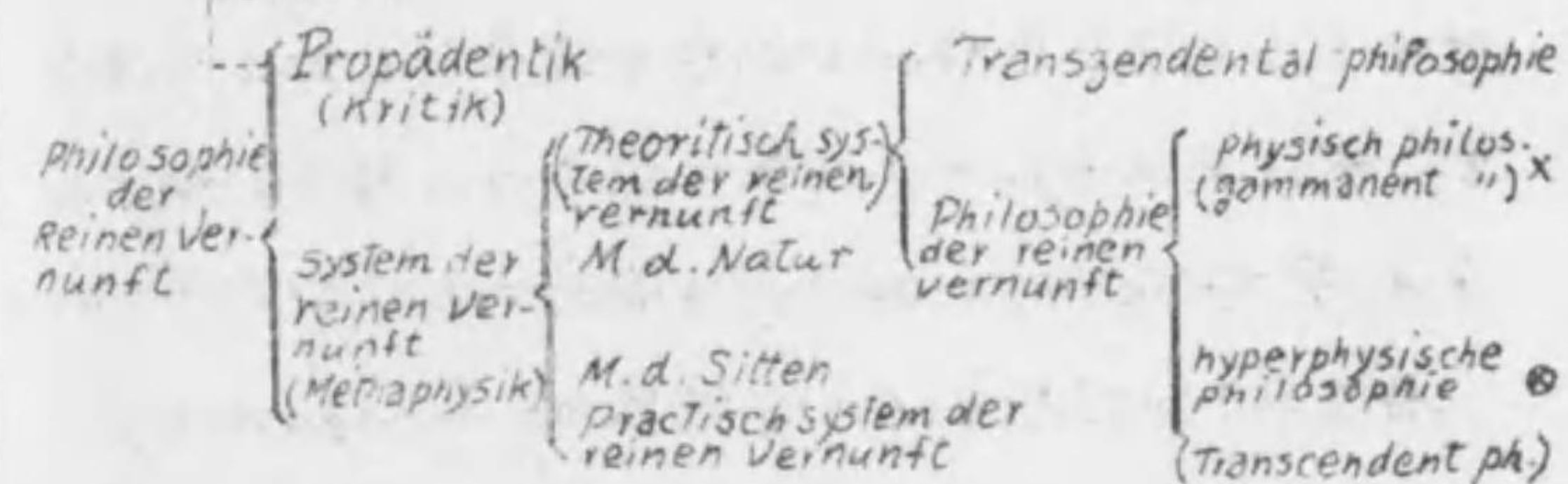
セス。經驗ヨリ独立シタルカナル認識, artヲ
Erkenntnissトナス。

Ding, 先天的 system

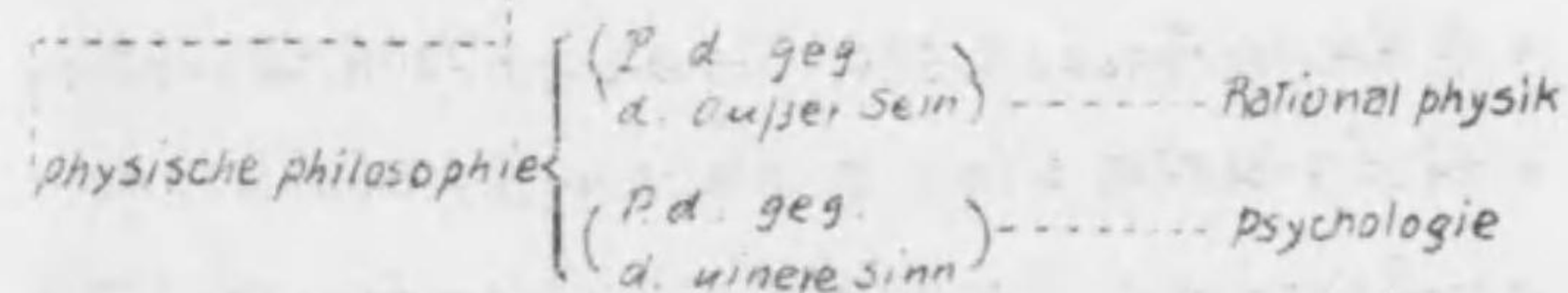
Ebbinghaus 自身ノ辭叙ニヨレハ。古キ Ont
on タラシムル Bedingungenヲキフル學ト軌
ヲ一ニス。Transzendental philosophie
ハ (Ontologyニシテ。彼モ亦 Ontology) 改造者
ナリ。Categoryヲ (Ontology, Begriffト
セリ。

Kant, Reinen Vernunft, 構成 plan:

(Ontology) :-



(Ratio physik) :-



(Ratio Kosmologie) ----- in — Trans. Welt Erk
 ⊙ hyperphysische philos. }
 (Ratio theologie) Auß — trans. Gotteserk

Kant's Kritik der Reinen Vernunft 第
 二版、序文ニ、吾々ノ Erkenntniss ハ Erf ト一
 緒ニ初マルト云ヘリ。此ノ言葉ハ Baummeister
 ニ全ク同シ言葉ヲ書ケリ。時間的ニ言ヘハ経験ト一
 緒ニ初マル。

然シ吾々 Erkenntniss カ Erf ト anheben ス
 ル事ハ吾々ノ Erkenntniss ハ凡テ Erf ヨリ出ラ
 来ルトノ意ニ非ス。又其物ニ於テ凡テ経験認識ノ素
 材ニナルモノヲ取捨ル、能力ヲ綜合サレサルヘカ
 ス。此ノ其ヘラレタル印象ヲ綜合スル能力ノ働コ
 ヲリ 重大ル moment ナリト考ヘラル。

吾々凡テノ Wissen カ経験ヨリ entspringen
 スルニハ非ス。凡テノ 感官ノ印象ヨリ独立ノ認識ヲ
 考ヘ見ル。コノ Erkenntniss = 対シテ Apriorie
 ノ Erkenntniss ト称ス。Apriorie Erkenntniss
 = 対シテ経験其ノ物ノ中ニ生スル Erkenntniss ヲ
 aposterorie ノ Erkenntniss ト云フ。更ニ今少

シク突キ進ミテ、apriorie ノ Erkenntniss ノ中
 ニテ全然經驗的ニ要求ヲ含マサル物ヲ Rein ト名クル
 モトス。然シ此ハ疑問生ス。apriorie ノ Erk-
 entniss = ハ Erf ノ要素ハ含マレ居ラサルカ故ニ此
 ノ Rein ハ蛇足ナラスヤ。此知ニ於テカク我々ハ a-
 posteriorie ナル Erkenntniss ヲ除キテ得ル事ヲ
 得。然レ共我々日常ノ Erf ヲ考フレハ實際或ル Wis-
 sen カ経験ノ上ニ grund ヲ持ツモ一見持タサルカ
 如キ場合アリ。例ヘハ或ル法則、規則等ノ知識ナリ。
 而シテ斯カル場合人ハ之ヲ先天的 Wissen ト呼ビ
 横レタリ。カ、ル常識的意味ノ aposterorie トハ
 最密ニ區別セサルヘカラス。例ヘハ此ノ家ノ土台ヲ
 掘下ルルハ此ノ家カ亡フ事ハ先天的ニ知リ居ルモノ
 ト云ハル。即チ Erf ヲ待チテ得タル知識ニ非スシ
 テ aposterorie ナリト云フ場合多シ。然レ共コハ
 徹底的ナル考方ニハ非ス。此ノ事實ヲ人カ知レルハ
 物体ニ重サノアル物本基下ノ法則アルヲ知レルカ故
 ナリ。然ルニ物体基下ノ知識ハ Erf = 基クモノナリ。
 即チ當ヲ得ス。aposterorie トハ種々ナル経験ヨ
 リ独立ナル意味ニハ非スシテ、一切ノ Erf ヨリ独

立ナルモノ、意味ナリ。而シテ如何ナル意味ニ於テ
モ *Erkf* = ヨリ以上 *Aposteriorie* ノ *Erkf* ナリ。
更ニ *Aposteriorie* ナル知識ト *apriorie* ナル知識
トノ区別ニツキテ誤解ヲ避ケサルヘカラス。Locke
以前ニハ *Angeboren* ノ知識ヲ物カ考ヘラル。
今 Kant ノ *apriorie*, *aposteriorie* ヲ之ト
同シク解釈スル危険カ有リ得ル。Kant ハカ、ル心
理的ノ發生論ヲ取り居ラス。Locke 以前ノ *Erkf* ニ
ハ二重ノ意味アリ。一回及數回ニ及フ知識ト *Ange-*
boren ノ *Wissen* ヲ区別セリ。孰ニLocke 其
者ノ認識カ此ノ *Angeboren* ノ *Wissen* ニ疑ヲ
ハサミ。彼ノ *aufgabe* ハ之ノ再定ナリキ。蓋シ
我々ニ於テ完成サレシモノトシテ筆端キ居ル知識ハ
考ヘラレス。然シカ、ル *angeboren*, *Wissen*
アリトスルモ Kant ノ *apriorie*, *aposteriorie*
ト区別シテ考フレハソハ *Aposteriorie* ノモノナリ。
即チ *inner Erkf* = 従ツテ得ラレタルモノトシテ
考ヘラル。然シ之モ *Empirisch* ニシテ従ツテ
aposteriorie ナリ。斯カル知識ハ時間的ニ云ヒ
テ或ル *Erkf* カ他ノ *Erkf* ニ先行セル事ヲ云フ以前

ニハ *Angeboren* ハ向モ云ハス。即チ彼カ *apo-*
steriorie, *apriorie* ヲ分テタルハ認識性妥當
性ノ *aufgabe* ニシテ *Erkenntnis* カ *Ent-*
stehen スルコトヲ *psychologische* = 取扱フニ
ハ非ス。此ノ *Erkenntnis* ノ *Entstehen* カ *auf-*
gabe ニテレハ或種ノ *Erkenntnis* カ人向ノ原始
(*geburt*) 以前ナリキト論スルモ可ナリ。然シ
Kant カ此ノ区別ヲナシ居ル所以ハ *Erkenntnis*
ノ意義又ハ程度ノ *wert*, *aufgabe* ヲ論スルヨ
リ初メテ哲學的ニ取扱ハレシナリ。若シ斯ク区別ヲ
ナサハ、コノ区別コソ孰ニ *Erkf* ノ内ニテ行ハル。
即チ單ニ知識ヲ事實トシテ見テ事實上ニテ前後ヲ論
スルニ過キス。斯ク我々 *factisch* ナル *aufga-*
*be*ト *bedeutung* ノ *gütig* ノ向題トヲ別ニセサ
ルヘカラス。Factisch ナル *aufgabe* ヲ求ムル
ナラハ凡テノ知識ハ *Erkf* ト共ニ初マルト云ハサル
ヘカラス。即チ此ノニツノ見方、*quid factis*, 及
quid juris ノ向題ナリ。Kant ハ *quid ju-*
ris ノ *aufgabe* ナリ。其処テ我々ノ經驗的 *Er-*
kenntnis カ *quid juris* ノ上ニ論セラル、場合。

一言ニシテ盡セハ Erf ハ如何ニシテ möglich
ナルカ。(Erf) gültigkeit ハ如何ト云フ事
ナリ。) 即チ möglichkeit der Erf ナリ 此
ノ möglichkeit) Bedingungen ヲ追究スル
時ハソハ Erf ヲ Begründen スル事トナル。之レ
Kant) Wissen) 最初ニシテ最後) 向題ナリ。
サテ我々ハ Wolff) 哲学ヲ思ヒ出ス 彼力追求セ
ントスル Ontology ハ此) Erf) möglich-
keit ヲ模倣スル事ナリキ。此如ニ Kant 哲学)
向題ハ其) 軌ヲ一ニス。カール任務ヲ果スニハ Be-
gündenサル) 物ヨリ Begründen スル物ニ違マ
サルヘカラス。Erf) Begründerト同一者トハ考
ヘラレス。此) Erf ヲ Begründen スル事ハ或
ル意味ニ於テ Erf ヲ 然
シ之ハ。之ヲ経験スル事ニハ非ス 其ハ経験ト内容
的ニ接スル事ナリ。経験スル事ヲ Transcendent
ト云ヘリ。勿論彼ハ Transzidental ナリ。故ニ
此) Erf) grund ヲ経験上ニテ Begründen ス
ル事ハ矛盾ナリ。Erf) grundlageニ於テモ早
其) grund ヲ Erf 其) 物) 中ニ求ムル事ハ可

能ナリ。故ニ我々ハ此) Erf) möglichkeit
ヲ aposteriorie ナル知識ニテ基礎ツクレ事ヲ得
ス。即チ apriorie ナル知識ニ歸セサルヘカラス。
彼) 哲学ハ Erf) = 対シテ apriorie ナル grund
ヲ見出ス事ナリ。然ルニ quid facti) 上ニテハ
Entstehen) aufgabeニハ非ス。然ラハ此)
apriorie) Erkenntnis)ト aposteriorie)
Erkenntnis) ヲ区別シ得ヘキ Merkmal) ハ何リ
ヤ。既ニ知レル如ク Erf) ハ一) fact) ナリ Erf) カ
示シ得ルハ fact) ノ謂ニ過キス 然レモ云々ナラ
サルヘカラス。又ハ然アリ得スト云フ事ヲ得入。
Nicht anders sein keinemト云フ事ヲ得ス
即チ之ヲ解決スルモノハ apriorie) 知識ナリ。
若他者ヲモアリ得ルト云フ事ナリ。質的ニ他者タリ
得スト云フ事ハ Notwendigkeitニシテ。量的ニ
云ヘハ Allgemeinheit ナリ。此) ニツ) apri-
orie) Erkenntnis) ニ) ミ歸セラルヘキ Merkmal
ナリ。此) Allgemein) ハ多数) ノモノニ當ハマルト
同時ニ多数) ノ人ニモ當ハマル場合アリ。前者ハ Ob-
jective。後者ハ Subjective ナリ。

Nicht anders sein Können ト云フ事ハ、
Comparative) 事ニハ非ス。数量的ニ汎山ノ場合
カ Allgemein ト云フ事ニハ非ス。此ノ Allgemein-
heit ハ Logik ニシテ量的ニハ非ス。故ニ Not-
wendigkeit ト Allgemeinheit カ人間ニ存在
スルテ事ハ明ナリ。例ヘハ数学、純粋科学ニモ之
カ常ニ見出サル。Verstand カ向題タル限りニ於
テ Notwendigkeit 及 Allgemein ヲ持チ居ルト
云ハル。之ヨリ高キ理性ノ要求ニ於テモ同様ナル事
カ云ヒ得。汎シテ経験カ correspond シテ行クヲ
得サル点迄モ進ミ行ク要求アリ。コレ通常ノ所謂
metaphysik 又ハ禁欲ノ metaphysik ナル
カ其ノ中ニ於テ aposteriorie

然ラハ我々ノ慣性ハ如何ニシテ aposteriorie,
Erkenntnis = 達シ得ルヤ。即チ哲学ハ凡ユル先
天的 Erkenntnis, möglichkeit
ヲ研究シ之ヲ土台トシテ哲学ヲ立ツル事ヲ得。前述
ノ如ク慣性、関

此処ニ於テ我々ハ a priorie ナル Erkenntnis ヲ
如何ニシテ得ヘキヤ。此ノ problem ヲ考ヘ行ク必

要アリ。我々ノ知識ハ判断ノ形式ニ於テ事ヘラル。
サレハ如何ニシテ先天的認識カ可能ナルカト云フ事
ハ要スルニ先天的判断、möglichkeit、向題ナリ。
判断ハ必ス Subject, predicat ヲリ成ル。此ノ
Subject, predicat ノ關係ハ常ニ二様トナル。即
(1) predicat カ Subject 中ニ含まレ居ルナリ。
此ノ場合ニ於テハ predicat カ Subject 中ニ含
マレ居ル故、predicat カ Subject ニ結合サル、
事ハ identitat、原則ニヨリ可能ナリ。我々ハ
既知ノ概念 Subject ヲリ出界シ之レヲ jeder-
anspruchニヨリ分析シ、predicat ノ概念ニ至ル
ヲ得。コハ analitisch ノ判断ナリ。然レモコ
ハ Subject 中ニ含まレ居シ物ヲ分析的ニ意識ス
ルニ止ル。故ニ Subject カ只説明サル、ノミニ
シテ何等新シキ認識行ハル、ニ非ス。即チ Ana-
leitische, Urteil = 於テハ我々ノ知識ハ何等
拡張サル、事無シ。

(2) predicat カ Subject ニ結ビツキテハ居ルカ
predicat ハ全ク Subject ノ概念外ニ在ル場合。
即チ斯様ナル場合 predicat ハ Subject ノ分析

ヨクハ出交ス。故ニコハ *identitat* 作用ナラス
此ノ場合ハ綜合カ必要ナリ 即チ *synthetisch*
ナル判断ナリ。此ノ場合最早 *subject* ノ説明ナ
ラスシテ新知識ノ獲得ナリ。拡張ナリ。即チ
ナリ。故ニ真ノ認識ヲ

手ヘ得ル物ハ後者ノ判断ナル事ヲ知り得ヘシ。
Kant ハ、凡テノ物体ハ延長性ヲ有シ、スベテ
ノ物体ハ重シト云ヘリ。此ノ場合重シト云フ事ハ物
体トシテ其自身考ヘラレシモノニ非ス。此即ニ形ノ
延長性 不可透入性ヲ考フル事ヲ得。コハ勿論 *Me-*
thaphysik ノ意味スル物体ノ概念中ニ含まレ居レ
リ。然シ重シト云フ事ハ物体向ノ引カノ上ニ結合シ
テ初メテ考ヘラル。故ニ重シト云フ事カ云ヒ得ルカ
由ニハ引カカ考ヘラル。コハ物体ヲニツ以上考ヘラ
レサルヘカラス。故ニ此ノ場合 *predicat* ハ *sub-*
ject ノ範囲外ニ在リ。而シテ *predicat* ト *sub-*
ject トカ *synthetisch* ニ結合サレ居ルナリ。斯
クニ種ノ判断ヲ為シ得ヘシ。故ニ其ノ各々ニツキ
gelten ヲ考フヘキナリ。此即ニ *apriorie*, *a-*
posteriorie ノ考ヘヲ持チ來ルヘシ。

analytisch Urteil apriorie }
" " *aposteriorie* } 四者ヲ考ヘ得。
Synthetisch Urteil apriorie }
" " *aposteriorie* }

今我々カ^判断ノ *gelten* ヲ *apriorie*, *apo-*
steriorie ニ分チテ考フルト云フ事ハ此ノ判断ノ概
念其自身ノ先天的後天的ヲ向フモノニ非ス。

(1) *Analytisch Urteil aposteriorie*.

コハ不可能ナリ。何トナレハ、一概念ヨリ即ニ
Satz von Widerspruch ノミニ導カレテ行キ
シ故 此ノ場合何等新經驗ヲ要求セス。然ルニ *a-*
posteriorie トハ經驗ノカヲ豫想スルヲ以テ之
ハ不可能ナル事ナリ。

(2) *Analytisch Urteil apriorie*

勿論此ノ種ノ *Urteil* ハ *apriorie* ナル物ナリ。
何如トナラハ *Satz von Widerspruch* ニ
導カレテ我々ノ知ル概念ヲ分析スル時ハ即チニ之
ヲ得。然シコハ真知識ノ分析ニ止ル故ニ此ノ種
ノ判断モ我々ノ認識カ如何ニシテ可能ナルヤヲ説
明スルハ無用ナリ。

(3) *Synthetisch Urteil aposteriorie*

判断ノ基礎ヲ *erfahrung* = 置ク限リ之ハ必ス
Synthetisch ナラサル可カラス 然シコハ *a-*
posterie ナル故 何等 *notwendich* ナル主
張ヲナスコトヲ得ス 若シ我々カ莫^ニ識ノ *mö-*
glichkeit ヲ論スルニハ *Synthetischaposti-*
rie ノ物ナラサル可カラス 此ノ *aposterie* ノ
綜合判断ニ於テハ、ソレヲ可能セシムル助カトシ
テ經驗ヲヘラル、然ルニ

(4) *apriorie* ナル *Synthetisch Urteil* ヲ

セシムル由ニハ此種ノ經驗カ手ヘラレ居ラス
然ラハ如何ニシテ此ノ *Synthetisch Urteil* ハ
可能ナリヤ、コハ經驗タルコトヲ得ス 然ラハ此
ノ場合ノ之ハ当面ノ問題トナル

此由ニ於テ *Kritick der reinen Vernun-*
ft ノ問題ハ此ノ問題ニ歸スルコトヲ得

Synthetisch Urteil apriorie ヲ含ミ居
ル凡テノ事コソ可能ナリト云フ事ヲ得、故ニ如何
ニシテ此ノ問題カ可能ナリヤト云フ事ヲ答フルハ
此ノ問題ノ由ニ此ノ問題ニ答フルコトニハ、非ス、

凡テノ事ニ必要ナル事ナリ、

凡テノ判断ハ *apriorie* ナリ、 $7+5=12$ 、
此ノ場合、判断ノ *Synthetisch* ハ $7+5$ ナリ、
サレト $7+5$ 、之ハニ数ヲ一ツニ結合スルテヲ事
ヲ表スノミニシテ、之カノ2ナリテヲ概念ヲ中ニ
含ミ居ラス、故ニ $7+5$ テヲ概念ヲ如何ニ分析ス
ルモノ2テヲ数ノ概念生セス、故ニ 7 テヲ概念ニ
 5 ノ概念ヲ直観的ニ結合スル事ヨリ外ニナシ、異
ノ如ク算術ノ命題ハ先天的綜合判断ナリ、

直観テヲ概念ヲ如何ニ分析スルモ最短テヲ概念
ハ出テ來ラス、如何トナラハ、直観トハ性質ノミ
ヲ表ス概念ニシテ、何等量ノ概念ヲ表ハシ居ラス
含ミ居ラス、此ノ場合モ我々ハ先天的直観ヲ借リ
來ルナリ、異ノ如ク先天的綜合判断ヲ含ム、

即チ要之、*Theoretisch Wissenschaft*
ノ *möglichkeit* ノ繋ル所ハ、如何ニシテ先天
的綜合判断カ可能ナリヤテヲ事ナリ、即チコハ一
般ノ學問ニ對シテ如何ナル理論的判斷ノ下ニ於テ
出立スルカテヲ事ヲ究ムヘキ事トナル、

- 如何ニシテ純粹數學ハ可能ナリヤ。
- ⊗ 如何ニシテ自然科學ハ可能ナリヤ。
- △ 如何ニシテ形而上學ハ學トシテ可能ナリヤ。

此ノ三者、Kritik der reinen Vernunft = 答フルト同様ナリ。

(I) Transzendentele Elementarlehre

(A) Transzendentele Aesthetik. ○

(B) Transzendentele Logik

(a) Transzendentele Analitik ⊗

(b) Transzendentele Dialektik △

(II) Transzendentele Metakadenlehre.

Transzendentele 意義

(以上述ヘシ所ヨリ Kritik der reinen Vernunft)
= 答ケル Wissenschaft,

Vernunft トハ先天的認識ノ能力ナリ。然モ其レカ純粹理性ナル限り reinen ナラサルヘカラス。即チ絶対的 apriorie / principium / 能力ヲ造フルモノナリ。斯クノ如キ認識ヲ成立セシムル principium / 途程ヲ reinen Vernunft / organon ト名ケス。之ヲ有ラユル範圍=適用

シ。一大体系ヲ作成スル。コレ純粹理性ノ体系ナリ。之ニ先立チ reinen Vernunft ヲキフル Vermögen トシテノ能力、限界ノ妥当性等ヲ決定スルヤ必スセリ。故ニ之等ニ関スル特殊ナル科學ヲ考フル事ヲ得。コハ reinen Vernunft = 互ル準備ナリ。若シ斯様ナル Wissenschaft ナケレハ Transzendentele Vernunft ヲ begründen サレス。然ルニ之等ヲ決定セシムル Wissenschaft ハ其自身ノ lehre = ハ非ス。專口之等ヲ Kritik ト名ケヘキナリ。即チ凡テノ認識ニ関シ其ノ認識能力ノ限界等ヲ決定シ依リテ以テ erkenntnis 其ノ物ノ system カ如何ニシテ可能ナルカヲ立証スルコトヲ得ルナリ。

(即チ Kant 以前ノ metaphysik = 於テハ之カ考ヘ居ラセリキ) 即チ認識ノ Vermögen 其物ノ能力ヲ決定スルコトナリ。此ノ意味ニ於テ Kritik ハ方法論ニシテ未ダ Wissenschaft ノ原理ニハ非ス。斯クノ如キ Kritik 其物ノ betrachtung Weise. erkennen / 判断ハ Kant カ Transzendentele テヲ名ヲ以テ表ハセリ。

Transzendente Erkenntnis の Gegenstand = 対スルモノ = 関スル = ハ非スシテ Gegenstand = 関スル我々ノ Erkenntnis カ Apriorie = möglich ナル限り = 於テ斯クノ如キ Erkenntnis ノ仕方ヲ向テトスル物ノモノナリ。即チコノ対象一般ニツキテノ先天的認識ノ仕方ノ Möglichkeit = 関スル認識ナリ。勿論 Erkenntnis ハ何等カノ意味ニ於テ Gegenstand ヲ有ス。然シ Gegenstand ナル限り Synthesis Erkenntnis Apriorie ヲ含ム。而シテ Apriorie, Gegenstand = コリ Wissenschaft = 達セサルヘカラス。然シ Transzendente ハ一般ニ Erkenntnis überhaupt = 関スル Apriorie ナル Erkenntnis ヲ原理トシテ成立シ居ル所ノ Erkenntnis ナリ。然モ Apriorisch = 可能ナル物ヲ含ムヘカラス。

然ラハ斯クノ如キ Wissenschaft ハ如何ニシテ möglich ナリヤテフ事ヲ向テカ Transzendente ナリ。故ニ之レガ System ヲ作ランニハ Kritik der reinen Vernunft ヲ決定スル

Kritik カ 建築的ニ立テラレシモノカ Transzendente Philosophie ナリ。故ニ reinen Vernunft, 建築ハ 確實ニ之基ノ建築ヲ作り行クヘキナリ。即チ reinen Vernunft, Organon ナリ。

故ニ Transzendente Philosophie, 内全ヲナシ居ル物ハ reinen Vernunft = 屬スト云フ事ヲ得ヘシ。只凡テノ全体ヲ盡ストハ云ヒ得ス。故ニ Kritik ハ 未ダ Transzendente Philosophie ヲ System カ 要求スル如キ凡コノ概念ヲ要求スルヲ得ス。故ニコノ reinen Vernunft ハ 經驗的ナル要求ヲ含ム事ヲ許サス。故ニ之ハ凡テノ 實踐的ナル物ヲ除外ス。即チ此カ行爲ノ動機ヲ含ムカ故ナリ。故ニ Transzendente Philosophie ハ 全然 reinen ナリ。然モ möglich ナル praktisch ナル物ニ非スシテ speculative ナル物ナリ。此ニ reinen Vernunft = 関シ speculative ナル方面ト praktisch ナル方面トヲ考ヘ得。然レモ此ノ場合ハ speculative ナル方面コリ我々ニ必要ナル向テナリ。

純粹理性ノ先天的認識ノ要素ノ追求。

コレヲ爲スモノハ Transzendentalelehre ナリ。次ニ Transzendentarlehre = element ヲ取扱ヒ居ル事ヲ完成シタル後 reinen Vernunftノ体系ノ構成原理ヲ知ルヘシ。之レ Transzendentale methodenlehre ナリ。

Kantニ依ルハ我々ノ認識ニハ二ツノ根源ヲ考

ヘ得。勿論此等ハ今一ツノヨリ根本的ナヨリ唯一ノ根本ヨリ生スルニ非スマテテ事ヲ為ヘテ居ル

- (1) *simulichkeit* (感性) 之ニヨリ我々ハ *gegenstand* カ考ヘラル。
- (2) *Verstand*。

而シテ *Verstand* = ヨリテ考ヘラレタル *gegenstand* カ考ヘラル。即チ(1)ハ受取ル能カナリ。而シテ *denkende*ノ *tätischkeit* ナリ。即チ *simulichkeit* = ヨリ考ヘラレシ *gegenstand* = *bearbeiten* スルモノナリ。

Empirische = 依ルハ我々ノ認識ハ受取ル事ヨリノミ成立スルト考ヘタルナリ。 *rationalisten* = 依ルハ我々ノ *Geist* カ認識ヲ創造スルト。

Kantハ上ノ主張ヲ以テ此ノ兩者ニ反対セシナリ。即チ彼ハ彼ノ考方ニヨリ兩者ヲ打破スルト共ニ之ヲ

綜合シテ新シキ立場ヲ成立セシメタリ。 *simulichkeit* ヨリ現象成立シ *Verstand* = ヨリ之レカ *bedenken* サル。故ニ現象カ *denken* サルニ由ルニハ先ツカ、ル対象カ考ヘラレサルヘカラス。故ニ対象ヲ *denken* サルニ由ル *bedingungen* ヨリ先ニ対象ヲ考ヘルニ由ル *bedingungen* カ考ヘラレサル可カラズ。即チ *Aesthetik* カ先ツ究メラレ。

Kategorie カ考ヘラルヘキナリ。

*Aesthetik*ハ Baumgarten 以來美學ノ意ニ用ヒラレ居ルカ。コハ希臘ノ昔 *αἰσθητική* ト *voitα* トニ分レ居タリ。而シテ此處ニ云フハ *simulichkeit*ノ論ナリ。 *Transzendentale*ノ意味ヲ以テ云ヘルナリ。コハ感情中ニ先天的ノ要素ヲ見出し、之カ *erkenntnis* テテ事ニ対シ如何ナル意味ヲ有スルヤ、コレカ *Transzendentale Aesthetik* ナリ。

Kant = ヨレハ *Transzendentale Begriffs*ノ所ニ於テ述ヘシ如ク、我々ニハ *Verstand* ト *simulichkeit* ナリ。即チ *gegenstand* ヨリ *affizieren* スル事ヨリ受クル識カヲ *simulich-*

keit ト称ス 即チ此ノ *Similichkeit* = ヨリ *gegenstand* カ事ヘラレタルナリ *Similichkeit* = ヨリ初メテ認識ノ対象カ *möglich* = ナル。直接 = *gegenstand* ノ上 = *Beziehen* スル所ノモノニ我々ノ対象トナル。故 = *gegenstand* = 対スル *anschauung* ハ第二ノ認識主観ナル *denken* = ヨリ思惟サルレハ *Begriff* 生ス。斯ク凡ユル認識 = 於テ対象ノ *Begriff* カ定マル由 = *anschauung* ノ姿 = テ我々 = 事ヘラレ居ル筈ナリ。故 = 一般 = 我々ノ Kant 哲学カ追求スル如ク認識ノ *aprioritat* カ求メラルトセハ此ノ *anschauung* = 於テノミ其ノ源泉カ求メラルヘキナリ。

若シ一般的 = 直観ヲ考フルハ 之カ必スシモ先天的ナル *notwendig* ナル物 = 非ス。我々ノ向類ハ認識 = 於ケル *aprioritat* ナリ。故 = 直観的論 = 於テ此ノ直観ノ *aprioritat* ノ向類トナル 此ノ *anschauung* ノ姿 = テ *gegenstand* カ與ヘラル。此ノ事ハ対象ヲナス物自体其物カ如実 = 事ヘラル。意味ニハ非ス斯クナル物ハ物其物ニシテ我々ハ之ニツキ何事モ知ラス。然レモ 苟クモ或対象カ我々ノ認

識ノ対象トナルモノトセハ *anschauung* ノ形 = 於テ事ヘラレサルヘカラス。彼ツテ我々ノ認識ノ向類トナルハ此ノ限り = 於テナリ。若シ斯クナル *anschauung* ヲ起スカアリトモ *anschauung* トシテ現ハレサル以上我々ノ認識ハ起ラス。故 = *Beziehung* カ事ヘラレテ始メテ我々 = *gegeben* サルハナリ。而シテ対象カ我々ノ心 = *affizieren* スル由 = ヨリ *anschauung* 生ス。然レモ *ding an sich* ハ認識ニハ入り來ラス。故 = *affizieren* スル物カ何タルヤテフ向類ハ少クトモ今 = 於テハ認識ノ彼岸 = 在リ 少クトモ認識ノ初メ = 於テ事ヘラレ居ルモノハ直観トシテノ *Vorstellung* 有ルノミ。只直観アルノミ。此ノ *Vorstellung* アルノミヲ分析的 = 考ヘ。若シ主観ノ別 = 即シテ考フレハ其処 = *gegeben* サルハナリ。而シテ客観的 = 分析的 = 考フレハ *affizieren* スルテフ考カ出ラ來ルナリ。我々ハ *Vorstellung* ヲ認識的 = 考ヘルトシ。之ヲ *affizieren* ノカヨリ考フレハ。即チ表象ヲ表象能力 = 対スル或ル対象ノ作用ノ側ヨリ考ヘテ規定スルトセハ。其処 = 生スル物ハ *empfindung* ナ

り、而シテコハ全ク初メニ於テハ無規定的ナル物ナリ、之ヲ現象 *erscheinung* ト称ス。又、*empfe-
risch auschaunng* ニヨリ与ヘラル、物ハ全ク
無規定的ナル物ナリ、故ニコハ *gegenstand* 其物
ニハ非ス。其ク直観ニ於テ表サレタル時ニ於テノミ
erscheinung ナルナリ。

故ニ認識ノ可能境界ハ *erscheinung* ニ在リト
云フ事ヲ得、然シ我々ハ認識ニ於テ直接与ヘラレタ
ル物ハ直観ノミ、コレニ於テコリ始メテ認識ノ *ge-
genstand* カ与ヘラル、故ニ表象カ直接ニ与ヘラ
レシ時ニノミ認識対象トナル、故ニ現表ノ中ニハ
empfindung ニ応スル物アルヘシ、之ヲ現象
ノ *materie* ト云フ、即チ斯様ニ *materie* ヲ与
フレハコレ其ノ物カ *erscheinung* ニハ非ス、コ
ハ *unbestimmt* ナル *mannigfaltigkeit* ハ
何等カノ形ニ於テ依存サレサルヘカラス、然ラハ
materie ニ対シ現象ノ *mannigfaltig* カ *or-
donen* サル、所ノ物ハ現象ノ *form* ナリ、然シ
form 其物カ *mannigfaltig* ナル物ヲ整理ス
ル所ノモノニハ非ス、*form* ハ只 *materie* カ

其ノ *form* ヲ通シテ *ordnen* サル、ニ過キス、
此ノカノ源ハ *Ich* ナリ、即チ此ノ事ヲ換言セハ
mannigfaltige materie カ *ich* ニヨリテ
何等カノ形ニ於テ *ordnen* スル制約ニ外ナラス、
故ニ此ノ *form* ヲ論スル事ハ認識ノ主要向題トナ
ル、

form ハ苟クモ現象アラハ其ノ中ニアルヘシ、
然シ其ハ *empfindung* ニ応スル *materie* ノ *or-
donen* サル、カ *bedingung* ナリ、故ニ此ノ *or-
donung* 其物トシテノ *form* 其自身ハ *materie*
タルヘカラス、即チ *materie* ニ先行シテ準備サ
レ居ルナリ、故ニ此ノ意味ニ於テ *apriorie* 性カ
与ヘラル、ナリ、而シテ此ノ二者ハ全然別個ノモノ
トシテ考ヘ得、認識觀念其物ハ対象ニ直接 *Bezie-
hen* ナシ行クナリ、故ニ *gegenstand* *erkent-
niss* テフ事ハ觀念上 *gegenstand* カ *gegeben*
サレ居ルコトヲ豫想シ居ルナリ、故ニ *gegeben*
サル、テフ事カ認識成立ノ條件ナリ、対象認識一受
ノ *möglichkeit* ヲ示ス事ナリ、然ラハ此ノ *ge-
geben* テフ事ニ關シ *limitierung* ハ其ノ *ma-*

terieヲ其ノformヲ通シテ gegebenサル、ナ
リ。即チ対象ハ云々ノ Bedingungenノ本ニ Si-
muligkeitニヨリ我々ニ gegebenサル。故ニカ
ル formハ similitude, formナリ。

一般ニ対象認識ノ可能ノ Bedingungenハ
formナルヘシ。故ニ斯カル formハ一般ニ
Wissenschaftノ成立ノ Bedingungenナル
ヘシ。此ノ意味ニ於テ認識或ハ Wissenschaftノ
möglichkeitカ向ハルニナラハ必然的ニ form
ノ possibilityカ向トナル。即チ formノ
aprioritätカ主張サル、ナリ。

斯クノ如キ formハ reine formナリ。
similitude, reine formナリ。而シ
テ之ハ之レ自第一ツノ anschauungナルヲ以テ
此ノ formハ reine anschauungナリ。我
々ノ經驗的認識ニ於テ凡テ經驗的ナル物ヲ際キ行ケ
ハ gegenstandカ我々ニ与ヘラル、事カ考ヘラ
レ。其処ニ empirische anschauungカ残
ル。此処ニ凡テノ materieヲ除ケハ後ニハ reine
anschauungカ残ル。コレカ原理トシテ明

カニ証明サル、ナラハ anschauung aprioric
ナル事ヲ認メラル。而シテ認識ノ Bedingungen
トシテ存スル formカ reine anschauung
ナラハ斯ク直チニ apriorischナル anschau-
ungカ存スルナラハ其処ニ erkenntnis,
möglichkeitカ transzendentaleニ beg-
ründernサル、ナリ。然ラハ一般ニ対象カ与ヘラ
ル、 similitude, bedingungカ如何ニシ
テ可能ナリヤ。

Kantニ従ヘハ similitude, formハ
空間ト時間ナリ。我々カ經驗的ナル anschauung
ヲ見レハ対象ハ凡テ空間中ニアルモノトシテ表象サ
ル。コハ我々ノ aussere seinニヨリ茲ニ始メテ
認識ノ inhaltカ与ヘラル。然ルニ此ノ aussere
seinニ対シ inhalt seereハ我々ノ内的状態ヲ
直観スルモノナルカ。之カ表象関係ハ、時間関係ニ
於テ表ハル。カク内的ナル物ノ方カ外的ナル物ヨリ
ヨリ先行サルヘキナリ。

兎ニ由空間、時間ノ前後ヲ論スルハ特別ナル意味
ヲ見得ルモ、Kantハ gegenstandノ in-

halt ヨリ見テ空間ヲ先ニ見タリ、何レニセヨ表象
成立スル爲ニハ form ナカルヘカラス、コノ form
カ一方ニ於テハ空間及時間ナルナリ、然ラハ此ノ空
間及時間カ keine ナル物ニシテ原始的 aussere
ナリヤ、若シ之カ証明サルレハ我々ノ認識成立ノ向
題カ確立ナルナラン。

Kant ハ Raum ト zeit カ apriorisch
ナル anschauung ナリテフ事ヲ証明スル必要起
ル、之カ metaphysik ノ説明ナリ、即チ

(1) 時間、空間ノ先天的ナル物ナル事ヲ証明サルヘ
シ。

(2) 之カ純粹直観ナル事ヲ証明サルヘシ、即チ之ハ
denken サル、Begriff ナラスシテ aus-
schauung ナル事ヲ証明サルヘキナリ。

I 空間ノ形而上學的説明、

(1) 空間ハ外的經驗ヨリ引出サル、經驗的 Begriff
ニハ非ス、如何トナラハ、或ル empfindun-
gen カ自己以外、etwas ノ上ニ Besieren サ
ル、爲ニハ同時ニ同様ナル empfindungen

内外並ニ併存的關係ニ於テ從ツテ只相互ニ突ルノ
ミナラス、異リタル場所ニ於テ表象サル、事カ可
能ナル爲ニハ空間表象カ横リ居ルヘシ、從ツテ空
間表象ハ外的現象ヨリシテ經驗ニヨリ取出サル、
ヲ得ス、及之外的表象其物カ只此ノ空間ヲ表象
ニヨリテノミ可能ナルナリ。

(2) 空間ハ凡テノ外的直観的根柢ニ横ハル必然的先
天的表象ナリ、我々ハ空間中ニ何等ノ gegenstand
モ無シテフ事ハ考ヘ得レト、空間カナキ表象ヲ作
リ得ス、故ニ空間ハ現象ノ möglichkeit ノ be-
dingungen ナリ、表象ニ appendig ノ現象ト
見ルハ不可ナリ、而シテ從ツテ空間ハ先天的ノ
vorstellung ナリ。

((説明)) 空間的經驗中ニ表ハレ居ル対象ハ之
ヲ除キ考ヘ得、勿論現象世界ノ対象ハ empf-
indungen ニヨリキラル、ヲ以テ、勿論之
ヲ除去スルコトヲ得ス、若シ物理的空間ノ如ク
或ル ding ノ eigenschaft verhältnis ナ
リトセハ ding ナクシテ空間ハ無シ、然レト此
ノ場合空間ハ ding ノ verhältnis ニハ非

ス。空間的 *materie* カ事ヘラル、事ヲ *bedingen* シ居ルナリ。 *Raum* ノ必然性ハ、從テ、 *apriorie* ト考ヘラル。

他方ヨリ *materie* カ空間中ニ入ル事ハ *Zufällig* ナリ。然レモコハ除キ考ヘラル。故ニ空間ハ先天的表象ナリ。而シテ空間的トシテ現象カ事ヘラル。 *bedingungen* ナルヲ以テコハ現象成立ノ *bedingungen* ナリ。故ニ空間ノ *notwendigkeit* ハ *subjective* ナルモノナリ。 *Simullichkeit*、*form* カ *Raum* ナル故 *erschung*

Kant ニヨレハ表象ハ概念ト直観トニ區別サルヘシト。即チ凡テ、*Object* = *beziehen* シテ行ク所ノ表象ハ *Begriff* ト *anschaffung* ナリ。 *anschaffung* ハ直接表象上ニ向ヒ行クモノナル故ニハ常ニ *representatio singularis* ナリ。直観ニ於テ表象サルモノハ常ニ個的ナルモノナリ。然ルニ *Begriff* ニ於テハ向接ニ多クノ *dingen* = *beziehen* シ。共通ナル *merkmal* ヲ作り行クナリ。故ニ *Begriff* : — *representatio*

per notas communes ナリ。 *Kant* ハ之ヲ *representatio discussiva* ト名ク。故ニ *Begriff* = ヨル認識ハ常ニ *Cognitio discussiva* ナリ。カノル意味ニ於テ空間表象カ *discussiva* ナル概念ニ非ス。 *reinen anschaffung* ナリト云フ場合ニ如何ナル事ヲ考ヘ居ルカノ判ル。

只我々ハ唯一ノ空間ヲ表象スル事ヲ得ルノミ。故ニコハ直観ナラサルヘカラス。(*representatio singularis* ナレハナリ) 若シ我々カ多クノ空間ヲ考フル片。此ノ多クノ空間トハ *representatio singularis* ナル唯一ノ空間ヲ多クニ分ナシニ過キス。即チ別々ニ独立ナル空間カ幾ツモアルヲ意味スルニ非ス。若シ空間表象カ概念ナラハ。多クノ空間ハ唯一ノ空間ノ部分ナラサルナリ。即チ唯一ノ空間ノ中ニ皆 *inordnen* サレ居ル物カ我々ノ幾ツモノ空間ヲ事ナリ。 *Begriff* ノ場合ニハ何物カ概念ノ下ニ *unterordnen* サレ居ルナリ。

唯一ノ空間トハ *Begriff*、*dingen* = 対スルト異ル。

(3) 部分ノ空間ハ唯一の全体ノ空間ニ先行スル事ヲ

得ス、*Einzel* ニシテ *Einheitlich* ナル空間
中ニ於ケル多様性ハ唯一 *Raum* ヲ *einschränken*
änken スル事ヨリ起ル。 *Raum* ニ関シテハ先
天的 *auschauung* カ其レニ関スル尺ヲ *Begriff*
! 根本ニ横ハル、直観、然モ先天的ニ確實
ナル直観ニヨル、從テ此ノ第3証明ニ於テ *Kant*
ハ、空間現象ハ *disclusive Begriff* ニハ拒ス
シテ *reinen anschauung* ナリトセリ、彼
ニヨレハ *anschauung* ト *Begriff* トハ嚴密ニ
區別サレサルヘカラス、勿論二者ハ共ニ表象ナリ、
尺テ *cognitio* 即チ *Object = beziehen* ナル
、 *Vorstellung* ハ、一ハ概念ニシテ一ハ直観
ナリ (*conceptio intuitus*)、*anschauung* トハ直接 *gegenstand = beziehen*
スル事ナルヲ以テ *anschauung* ハ *Einzeln*
ナリ (*repraesentatio singularis*)、直観
ニ於テ表象サル、何物、*Object* ナリ、然シ *Begriff*
ハ概念ヲ構成スルハ何物、*Object*、*merkmale*
merkmal ヲ見出スナリ、即チ *Begriff* ハ
間接ニ多ク *dingen = beziehen* シテ共通

ナル *merkmal* ニ依テ *beziehen* スルナリ、
Begriff ハ *representatio per notos com-*
munes ナリ、或ハ之ヲ *cognitio (representatio)*
discursiva ト云フ、*Begriff* ハ多
ク *dingen = 共通ナルモノ* ナリ、*Begriff* ハ
常ニ *gattung* ナリ、故ニ無限ニ於テ *Begreifen*
ニ依ル *Erkenntnis cognitio discursiva*
ナリ、故ニカナル意味ニ於テ彼ハ *Raum* カ *Begriff*
ナラスシテ *reine anschauung* ナリ
ト云ハントスルナリ、然ラハ何故ニ此ノ意味ニ於
テ *anschauung* ナリヤ、

吾々ハ唯一ノ *Raum* ヲ *vorstellung* スル事
ヲ得、*Raum* ハ *singular* ナル物トシテ *Vor-*
stellung = 得、*representatio singularis*
ハ直観ナラサル可ラス、此レ空間以外
他、*Raum* ハ唯一ノ *Object* 上ニ *beziehen*
シ居リ、斯ク云フ所ニ *Raum*、*einzigkeit*
カ見出サレ居ルナリ、若シ我々カ多クノ空間ヲ考
ヘタル場合ハ、コハ分割シタル部分ニ逆キス、若
シ此ノ場合 *Raum* ヲ *Vorstellung* カ *Be-*

griff ナリトセハ多クノ空間ハ唯一空間ノ部分ナ
ラサルコトナル。多クノ Raumカ皆独立シテ
存シ、共通ナル Merkmal ヲ取出シテ綜合シ
タルモノカ Begriff ナラサルヘカラス。多クノ
空間ヲ考フル共ニ、唯一空間中ニ inordenen
サレ居ルカ、概念ノ場合ニ於テハ多クノ物ハ un-
terordenen サレ居レリ。即チ此ノ意味ニ於テ
多クノ部分ヲ ordonen スル唯一ノ Raum ハ
多クノ独立ナル dingenノ共通性ヲ引出シタル
モノニハ非スシテ、唯一空間ノ大サハ allheit
ナリ。allgemeinheitニハ非ス。Viellesノ
中ニ包マラレシ Einheitニハ非スシテ Vieles
im Sinenナリ。故ニ Raumハ ausschauung
ナリ。

然ルニ更ニ我々ハ一步進メ、更ニ多ク空間ヲ考
フル場合、唯一空間ハ多空間ヨリ compose サレ
シモノニハ非スヤ、若シ然リトセハ部分ノカカー
空間ヨリモ先行スヘキ筈ナルニハ非スヤ。事实上
Kantノ反対者ハ屢々此ノ議論ヲ向ケタ。然シ
斯様ナ疑向ヲ考フル事ハ Kantノ einzig-

heitヲ真ニ理解セシモノニ非ス。幾ツモノ空間ハ
唯一空間ノ分割サレシ部分ニシテ斯カル空間ノ部
分ハ唯一空間在リテ初メテ生シタルナリ。空間ノ
einzigkeitナル事ヨリ直ニ einzigテフ事カ
マハル。即チ空間ハ einheitligナル物ナリ。
故ニ多クノ空間テフ事ヲ論スル場合ニハ ein-
heitligナル物カ制限サル、時ニノミ考ヘ得。
故ニ空間ノ部分テフ物ハ白黒ノ場合トハ異ル。物
ハ白黒ノ Bestandteilナリ。然ルニ空間ノ部分
ハ唯一空間カ bestehen スル所ノ Bestand-
teitナラスシテ 多空間ナル部分ハ einheit
ヨリ分割サレテ出来タルモノナルヲ以テナリ。故
ニカール空間ハ概念タリ得ス。

故ニ有限的空間ハ概念ナラスシテ直観ナリト
Kantカ主張セリ。然ルニ一反対起レリ。end-
ligナル諸空間ハ唯一空間ノ部分トシテ表象サル。
然ラハ此ノ世界ノ有限ナル物ハ一ノ統一的 U-
niversumノ分割ニ非スヤ。故ニ空間ノ場合
ト等シキニ非スヤ。之ニ対スル Kantノ立場ヨ
リノ答弁ハ第3ノ論証ヨリハ盡シ得サルナリ。

第4 = 入りテ空間ノ *unendlich* ナ事ヲ証明
サル。

以上ノ綜合

空間ハ *einzel* ナル物ニ關係ス。 *Begriff* ハ
多クノモノニ關係ス。 *anschauung* ハ多クノ部
分ニ先行ス。故ニ全体ノ者ハ部分ニ先行ス。故ニ直
観ノ *enzigkeit* カ出來ルナリ。此ノ *einzigkeit*
ハ *einheitlichkeit* トハ同標ナリ。

然モ空間ハ *apriorie* ナル *reine anschauung*
ナリト云フ事ヲ得。然ラハ空間ノ *einheitlichkeit*
ノ根本ハ何處ニ在リヤ。最モ根本的ナル *sintäre*
ニヨリテ成立ス。何等カノ空間的対象カ我々ニ *ge-*
geben サル、時此ノ対象カ *gegeben* サル、事
ノ *bedingungen* カ *apriorie* = 存在ニ居ルヘ
キ筈ナリ。故ニ空間表象ハ *simullich* ナル *form*
トシテ考フヘキナリ。

故ニ空間ニ關スル凡テノ綜合命題ハ空間ヲ物ノ
凡テノ概念中ニハ在ラス。空間カ概念ナル限り空間
表象ニ關スル綜合命題ハ不可能ナリ。直観トシテノ

表象タル限り此ノ綜合命題ハ可能ナリ。

Kant = ヨレハ、一般ノ哲學的認識ハ概念ニ關ス
ル認識ナリ。然ルニ數學的認識ハ概念ノ構成的認識
ナリ。故ニ數學的認識ノ成立ノ根底ニハ *apriorisch*
ナル *anschauung* 其物ニ *depend* シテ數學的
認識カ出テ來ルナリ。

(4) 空間ハ無限ナル事ヘラレシ大サトシテ表象サル。
我々ハ一ノ概念ヲフモノヲ無限ニ多クノ異リタル
可能的表象中ニ含マル、表象トシテ考ヘ得。從ツ
テ一概念ヲ無限ニ多クノ可能ナル表象ヲ *unter-*
sich = 含ミ居ル事ヲ知ル。然シ斯様ナル概念ハ
無限ニ多クノ可能ナル表象ヲ *unter sich* = 含
ミ居ルトハ考ヘラレサルナリ。然ルニ空間ハ斯ク
考ヘ得ルカ故ニ空間ノ *unsprunglich* ナル性質
ハ *anschauung* ナリ。

概念ニ於テ其ノ概念ノ外延中ニ落テ來ル多クノ
物ヲ考ヘ合スレハ判ル。之ヲ我々ハニ方面ヨリ考
フル事ヲ得ヘシ

(1) 先ツ個々ノ *dingen* ヲ考フ。

(2) 概念ヲ先ツ考ヘ置キテ個々ノ外延中ニ落テ來ル

物ヲ考フ、

概念ハ多クノ個物ニ共通ナル *merum mal* ナリ
故ニ個物ヲ前提トシテ *Begriff* ヲ考フレハ、ソハ
多クノ個物中ニ含まレ居ルモノト認フヘシ
次ニ概念ヲ前提トシテ考フレハ *Begriff* ハ個
物ヲ *unter sich* シ *ordnen* シ居ルナリ。個
物概念ノ下ニ於テ *Vorstellen* サル、ナリ。然
ルニ空間ニ於テハ唯一空間ト四々ノ空間トノ關係
ハ異ル。即チ空間ニ於テハ其ノ部分ハ無限ニ多ク考
ヘ得。斯様ナル部分ハ無限ニ多クノ部分ヲ *Be-*
schranken シ得。然シ空間ニ於テハ唯一空間ノ
中ニ個物カアルナリ。即チ無限ニ多クノ *einzel*
カ *enkeit* ノ中ニ含まレ居ルナリ。

空間ノ無限性、

空間ノ概念ハ量ニ関シ何等規定シ得スト Kant
ハ云ヘリ。コハ謂ハバ外側ニ向ツテ *unendlich-*
keit ナリ。然ルニ第2班ニ於テハ内側的無限性ヲ
証明シ居レリ。何カ故ニ此ノ第1, 2班ノ修正ニ行ヒ
シカハ極大ナル向題ナリ。

斯クテ空間カ無限ノ表象ヲ内ニ含ムテフ事ヲ以テ
Begriff ト分テリ。此ノ事ハ毎々間違ハル。即チ
概念カ有限数ノ表象ヲ中ニ含ミ、直観ハ無限数ヲ自
己ノ中ニ含メルニ非スヤテフ向題ヲ起スモノアリ。

概念ハ *unendlich Vorstellung* ヲ *in sich*
ニ *enthalten* スル事ヲ得ス。空間ハ即チ然リ。コ
ハ部分トシテノ無限ノ表象ヲ *in sich* ニ含ム事ハ
部分カ全体ノ分割ナル時ニ於テノミ可能ナリ。カ
ル物ヲ内ニ含ムモノハ *Begriff* ナラスシテ *Aus-*
schauung ナリ。

我々ハ一歩進ミテ *Transzendente philo-*
sophie ノ本來ノ向題ヲ論スヘシ。如何ニシテ先天
的綜合判斷ハ可能ナリヤ。此ノ任ヲ果スモノハ空間
概念ノ先天的究明ト稱セリ。

Transzendente Erörterung ハ我々ノ
經驗ノ可能ノ *Bedingung* ナリ。空間ノ *apri-*
orie ヲ認識ノ *möglichkeit* ノ *bedingungen*
トシテ追求スルコトカ彼ノ目的ナリ。或ル概念ヲ其
レニ依テ或ル他ノ先天的綜合的認識ノ可能性カ理解
サル、原理トシテ明カニサル、事ナリ。即チ之ヲニ

分シテ

- (1) 此ノ判断ヨリシテ真ノ Erkenntnis カ導キ出サル。
- (2) 此ノ事ヘラレタル概念ヲ理解スル事ニヨリテノミ此ノ先天的綜合認識ノ可能ヲ理解スル事ヲ得。

如何ニシテ純粹数学ハ可能ナリヤ。此ノ問題ニ答フヘシ。

Kant = 従ヘハ一般ニ数学ハ先天的綜合命題ナルト。

幾何学ハ空間現象ノ性質ニ關スル先天的^{一綜合的} Bestimmungヲ与フル科学ナリト云フ。之レ果シテ真ナリヤテフ疑問ヲ提出シ得。サレト此ノ事ハ我々ノ今尋ムル問題ニハ非ス。然ラハカクノ如キ空間性質ニ關スル綜合 apriorische ナル認識ハ如何ニシテ可能ナリヤ。

- (1) 幾何学ハ空間性質ニ關スル綜合的ナル Satz カ可能ナリヤ。
- (2) 如何ニシテ斯カル Satz カ apriorie ナリヤ便宜上、ニツニ問題ヲ分ク。

先ツ空間ニ關シ綜合的命題ノ可能ナル為ニハ空間ハ直観ナルヘキナリ。若シ此ノ事カ承認サレタリトセハ我々ハ、前ノ metaphysik 的ノ証明ニ於テ空間ハ直観ナリト云フ事ヲ証セラレ居ルカ故ニ、空間ハ直観ナリ。然ラハ何ヲ以テ直観ナル事ヲ尋スルヤ。概念ヨリハ量ニ關スル概念ハ出テ來ラス。即チ其ノ概念ノ範圍内ニ於テ止ルヘク、概念ノ境ヲ超エテ綜合命題ヲ立論スルヲ得ス。

概念ハ einzel ナル物カ全体トシテノ概念ニ先行ス。サスレハ斯カル關係ニ於ケル概念ヨリ他ノ新シキ綜合命題ヲ見出ス事ハ出來ス。サレト anschauung ハ einheitlichkeit トシテ全体カ部分ニ先行シ居ル故ニ空間ニ關スル Synthetische Satz ハ空間ノ anschauung = 従ツテノミ考ヘラルヘシ。

空間ニ關スル先天的綜合ノ命題ノ可能ハ空間カ先天的直観ナルヘシテフ事カ要求サル。然シ空間表象カ apriorie ナル事ト。数学其物カ apriorie ナル事トハ別言ナラスヤ。若シカソル疑問カ成立セントセハ事實的ニ關係ナシトスルモ、或命題カ ap-

rionie = 可能ナル事ハ経験無クシテ *gelten* スル
事ヲ意味ス、故ニ或ル *Satz*、*apriorität* カ向
トナル為ニハ其ノ *apriorie* ノ源ヲ探スヘキナリ。
Satz、*apriorität* ハ概念ノ *apriorität*
關係ニ *depend* セル訳ナリ。故ニ幾何学ノ命題カ
経験無クシテ *reine* ナル空間現象ヨリ導出サル。

然ルニ幾何学ノ *Satz* ハ只命題トシテ *an sich*
ニ *gelten* スル事ハ証明サレタリ。然ルニ我々ハ幾
何学ノ *Satz* ヲ現象世界ニ應用セリ。然モ尚且ツ新
ナル命題ノ妥当性ヲ信シテ疑ハス。然ルニ此ノ命
題ハ空間 *an sich* ニノミ妥当ナルニ過キス。即チカ
ル幾何学的 *Satz* ハ空間 *an sich* ノミナラス空
間的 *object* ニ應用シテ *apriorisch* ナル表象
タル事ヲ信シ得ンカ。空間表象ハ *apriorisch* ナル
anschauung ナリ。コハ云ハバ对象的ナル空間表
象ニ当テ候マルカ。客観的妥当性ヲ持テ得ルハ何
ノヤ。空間的 *Vorstellung* ニツキテノミ云ハル、事
カ客観的 *object* ニ何故當テハマルカ。之ハ前述ノ
事ニヨリ直チニ説カル。 *reine anschauung*
ハ *reine sinnlich form* ナリ。空間的ノ *Ob-*

ject カ *gegeben* サル、事ヲ *bedingen* セリ。

空間ハ外的対象ノ、先天的客観的対象ナリ。 *ap-*
riorie ニ云々サル、所ノモノハ空間ニ限ル。色音
等ハ決シテ *Transzendentale* ナル *Ideali-*
tät ヲ有セス。

Kantニ於ケル *Realität*、*Idealität*、*sub-*
jective、*Objective* 等ハ如何ナルモノナルカ
トフ色々ノ問題生ス。

時間論 時間ニ関シテモ亦空間ト同様ニ *ana-*
logue ニ説カル。即チ形而上學的説明カ行ハル。
無限ノ事ヘラレタル量ナルコト。時間ハ経験的 *a-*
priorische ナル物ナリ。各時間ハ唯一無限ノ部分
ナリ。故ニ数多ノ時間ニ唯一無限ノ時間ノ部分ナリ。
故ニ経験ノ可能ヲ制約スル所ノモノナリ。然モ空間
ニ於テハ其ノ關係ハ相互依存ノ關係ナリシニ對シ、
時間ハ *neben einander* ニハ非スシテ *Nach*
einander 或ハ同時關係ヲ可能ナラシムルモノ
ニシテ之ヨリ算術ノ根拠トナル。幾何学カ其ノ概念
ヲ築ク為 *apriorisch* ナル *reine anschauung*
ヲ要求セル如ク算術ノ *zahlen* ハ時間ノ *apriori-*

cheナル *reine Anschauung*ヲ必要トス。

茲ニ時間カ純粹直観ナル事ヨリ如何ニシテ純粹ノ
*arithmetic*ハ如何ニシテ可能ナリヤ。ノミナラス
一般的ニ凡テノ位置ノ変化、運動等ハ時間、空間表
象ヲ基礎トシテ成立ス。斯ク一般運動論トシテノ
*mechanik*ハ其ノ運動変化ヲ時間及空間中ニ於テ
論スヘク、純粹 *mechanik*ノ向題カ論シ得ルナリ。
時間モ亦空間ト同様ニ *ding an sich*ノ *eigen-*
*schaft*ナラス。只時間ハ *innere Sinne*ノ
*Form*ナリ。即チ我々凡テノ内的現象ハ *Wach-*
*seinander*ノ關係ニ於テ時間的表象ノ制約中ニ存
ス。外的 *Seine*ノ智覺ハ、ソレカ我々ノ知覺トナ
ルガニハ今一度我々自身ノ精神的体験ニサレサルヘ
カラス。故ニ此ノ限リニ於テ凡テ時間表象制約中ニ
立ツカ故ニ時間表象ハ直接ニハ内的現象ノ *form*
ナルカ、間接ニハ外的現象ノ *form*ナルヘシ。即
チ時間ハ現象一般ノ *form*ナルハシ。故ニ時間ハ
空間ヨリモヨリホシ。更ニ時間表象ハ空間ノ其ヨリ
上位ニアリトスヘシ。時間モ空間ト同様 *empfi-*
*risch*ナル *realität*ヲ有スルカ、*Transzen-*

*dentale*ニハ *Idealität*ヲ有スルニ過キス。
以上ニ於テ *Kritik der reinen Vernunft*
ノ向題ノ如何ニシテ先天的綜合判断ハ可能ナリヤテ
フ向題ニ答フルヲ得タリ。

先天的時間空間ニ基ク限リニ於テ数学ハ可能ナル
故ニ時間、空間ノ先天的關係ニ於テノミ可能ナリ。
若シ時間空間ノ關係ヲ離レテ *ding an sich*アリ
トセハ数学ハ此ノ中ニ於テ妥当スル事ヲ得ス

先験的論理論

先験的 *analysis*。如何ニシテ自然科学ハ可能
ナリヤ。コハ即チ慣性ニ關スル先天的解釈ナリ。純
粹慣性概念即チ *Categorie*論カトサレルナリ

概念ハ *Simulichkeit*ノ *form*ナリ。然レ氏
カリシテ此ノ *Bedingungen*ノモトニ対象トヘラ
ルハガ、之ノミニテハ我々ノ *empirisch*ナル認
識ハ未タシ。我々ハ時間中ニ於テトヘラレシ物ハ未
タ主客未分状態ノ物ニテ、何等認識ニハ非ス直観ニ
過キケルナリ。即チ *gegeben*ハ之ヨリ解クヘキ所
ノ物ニシテ、コハ未タ向題ニシテ認識ナラス。此ノ

直観力統一の把握サレ。統一的概念 = *ordnen*
サレテ始メテ認識ハ可能トス。之ヲ爲シ得ルハ慣性
ノ *spontaneicitive* ナリ。其ハラレタル物ハ *den-*
ken サレサルヘカラス。コレ慣性ノ *spontaneic-*
tive = 基クナリ。因ヨリ *Simurckheit* ト
Verstand ノ働カ結合セル所ニ我々ノ認識力成ユ
スルナリ。此ノ両者ノ區別 = 固執シ。コノ両者ノ優
劣ヲ考フル事ハ無意義ナリ。然ルニ従来ノ哲學者ノ
多くハ両者ノ輕重ヲ向フ者アレトモ。コハ無意義ナ
ルナリ。直観ナキ概念ハ空虚ナリ。サレト観念ナキ
直観ハ盲目ナリ。故ニ空虚ナラスシテ盲目ナラサル
概念ヲ得ントセハ両者ハ結合セサルヘカラス。即チ
概念ハ直観的ニ。直観ハ概念的ナラサルヘカラス。
又盲目的ナラサル直観ヲ得ルニハ概念的ニサレサル
ヘカラス。サレト其ノ *function* ハ各々異ル故ニ我
々カ *Wissenschaft-nicht* 究明ヲ了フル爲ニハ
methodische = isolieren サレテ考フヘキナリ。
既述セシ如ク凡テノ直観ハ内容上ハ經驗的ナリ。此
ノ内容ノ *form* = 依リテノミ直観ハ *apriorisch*
= 考へ得ルト同様概念ヲ内容的ニ考フルキハ概念 =

於ケル純粹的要素カ我々ノ思惟ノ純粹形式ナリト考
へ得。 *Begriff* = 於ケル *das Reine* ハ我々ノ概
念ノ思惟ヲ *apriorisch* = 制約スル物ナリ。斯クノ
如キ思惟ノ *Reinen* ナル要素。即チ *Reinen Ver-*
stand, *Reinen Vernunft* ノ研究カ目下ノ急
務トナルカ。之ニ応スル物ハ *Transzendental*
Logik ナリ。

故ニ此ノ *Logik* ハ我々ノ *Allgemeine Logik*,
Formal Logik ヨリハ明カニ區別サレサルヘカラ
ス。即チ *Formal Logik* ハ凡テノ認識ニ於テ其
ノ内容ヨリ抽象シ只 *denken* ノ *form* ノミ。故
モ此ノ *form* ハ我々ノ凡テノ *erkenntniss in-*
halt ノ凡テヲ抽象シテ考フルカ故ナリ。然ルニ
Transzendental Logik ハ *apriorie* = 対象
上ニ *Begieren* シ行ク取リニ於テ *empirisch* ナル
apriorisch ナル *erkennen* ノ *ursprung* ノ
gultigkeit ヲ探究スル物タラサルヘカラス。即
チ対象ヲ考慮スル事ナクシテ思惟ヲ行フモノニ非ス。
之ヲ分チ *Transzendental Logik* ヲ二トナス。
1) 眞ノ *Logik* 2) *Schein Logik* 更ナリ。

(1) *Transzendente / analytisch*

コハ純粹慣性 / Erkenntnis ヲ考察ス。 *gegenstand* カ *denken* サル、*als* / 原理 ヲ考察ス、*gegenstand* / *Beziehungen* ヲ考究スル物カ *Ästhetik* ナリシト *parallel* ナリ。故ニ先ツ概念其物 / *analytisch* ヲ行ヒ、純粹慣性觀念ヲ発見シ行ク事カ我々ノ向題トナル。先ニ *Ästhetik* ニ於テ数学ノ基礎ヲ得ヒ我々ハ、自然科学ハ如何ニシテ萬能ナルカヲ考フヘシ。

現象ハ云ハ、材料ナリ。之ニ対シテ原合カ行ハレ。之ヲ原理トシテ成立シ居ルモノカ自然科学ナリ。直観カ直接ニ対象上ニ *Beziehen* シ居レリ。

Bedingungen ナリ。故ニ *mannichfaltig* ナル物ナリ。即チコハ皆個別的ナルモノナリ。然ルニ之ニテハ *Erkenntnis* タラス *Erkenntnis* ハ多様中ニ *Allgemein* ナル我ヲ以テ費ク事ナリ。即チ個物ヲ個物タラシムル原理ノ発見ナリ。故ニ直観ノ多様性中、如何ニシテ一ツノ統一カ生スルヤ。即チ我々ノ *Bewusstsein* ナル自発的行爲ニヨリ可能ナリ。云ハユル Kant ノ我々ノ綜合

ニヨリ可能ナリ。一様直観タリシ表象上ニ *Beziehen* シテ行ク物カ概念ナリ。之カ行ハレテノミ多様中ニ *Einheit* カ持テ來ラサル。之レ *Synthesis* ナリ。即チ個別ヲ超越シ、其將來ノ可能ナル直観ノ合一ナリトシテ規定スルカヲ有ス。之レ始メテ認識トナル。此ノ意味ニ於テ此ノ *Synthesis* ノ有スル可能ヲ向フ事カ我々ノ向題ナリ。此ノ *Synthesis* ニヨリ生ヘラレタル直観カ *denken* サル。故ニ *Verstand* / *rein* ナル物ヲ求メラル、ナリ。即チ *Synthesis* カ *Begriff* 中ニ寓ラサレ、*Einheit* カ得ラル。 *Auschaunung* ニ於テ純粹直観カ *apriori* ナル事ヲ必要サレシト同様、此ノ *Synthesis* / *apriorität* カ必要トナル。即チ求メラル、ハ純粹ナル慣性觀念ナリ。換言セハ上ノ意味ニ於テノ純粹ナル綜合ノ *stand* *Begriff* カ考ヘラレサルヘカラス。斯ナル *Reine Synthesis* / *Form* カ求メ得ヘクンハ我々ハ自然科学ノ可能ヲ基礎附ケ得シテ^思豫ヲ有シ得ルナリ。之ヲ *Categorie* ト名附ケタリ。若シ此ノ *apriori* ナル *Categorie* カ求

×得ラレシニ非ス。経験ノ可能ヲ制约シ得。故ニ
自然科学ノ *formen* タルヘシ。即チ自然科学ハ
自然現象ノ規定ナルナリ。即チ自然科学ノ判断ハ
先天的綜合判断ナルガ。之カ起リ得ル根本原理ナ
カルヘカラス。若シカ、ル *grund* ヲ我々ノ外界
自然其物中ニアリトスル考ヘアリトセハ。即チ
ready made トシテ、自然中ニ此ノ *grund* ア
リトセハ多クノ困難ニ出会フヘシ。即チ *Wahr-*
nehmen denken ノ二道アルノミ

前者ニヨレハ從來経験論ニ陥リ。ソノ *grund*
ハ單ニ *empirisch* ニテ、*notwendig* トハナ
ラス。後者ニ依レハ合理論ニ陥リ。或ハ *notwen-*
digkeit ハ得ラル、モ、自然其物ハ得ルコトヲ
得ス。即チ *denken* カ自然物ノ判断ヲ表シ得ル
モノトセハ、既ニ彼等ノ氣附ケル *Denken* ノ法則
ト自然ノ法則トノ間ニ *intellectualitic* 豫定
物ナルヘカラス。併シカ、ル形式的ニ我々ハ
満足スルヲ得ス。然ラハ何故ニカ、ル不満足ニ陥リ
シカ。其ハ外的自然ヲ *ready made* トシタル所
ニ在リ。既ニ出来上リタル法則ヲ後ヨリ探シ行ク

所ニ兩者共通ノ誤アリ。例ヘハ *Time, Raum*
ヲ *ready made* ノ数トセハ、敬憚ハ *Begründen*
トシテ殺立タス。此処ニ *Transzendentale* 意
味カ現レ來ル。自然ハ決シテ *ready made* ナルモ
ノニ非ス *denken* = 依存スルモノナリ。我々ノ
経験ノ範圍ニ落テ來ル事、ノ綜合カ外的自然ナリ。
故ニ自然ハ經驗ニ *depend* セリ。カクテ *Erfar-*
lung 可能、*grund* カ直チニ自然ノ *grund* ト
ナル。

前述ノ如ク *geometrie* ノアテガア^ルハ *Raum*
ト *zeit* ニヨリテ *bedingen* サレタル現象界ナ
リ。苟モ我々經驗中ニ入ル対象ハ *Kategorie* ニ
ヨリテ可能トナリ來ル。コノ *Kategorie* カ自然
法則ヲモ可能ナラシム。サレト、ソガ直チニ自然法
則ナリト考フルヲ得ス。Kant ノ云フ *Raum* 及
zeit ハ物理学ノ其レトハ其ノ屬性ヲ異ニスルモノ
ナリ。即チ *Kategorie* ハ自然科学ノ云フ所ノ自
然法則トハ異ルナリ。 *Kategorie* ハ *Erfarlu-*
ng ニ依テ捕ハル、対象ヲ成立セシムル可能ノ制
約ナリ。自然法則ハ我々カ經驗ニヨリテ把握セシ

自然ノ対象ノ内容ニ関係スルモノナリ。例ハハ Boyle) 法則ノ如シ。斯クテ Kategorieハ Transzendentale philosophieノ範囲内ニ於テ論セラルヘキモノニシテ自然科学ニ於テ論セラルヘキモノニ非ス。

惟フニ斯カル Kategorieハ経験対象ノ Möglichkeit, Bedingungニシテ。我ヲ我ヲラシムル Möglichkeit, Bedingungナリ(主客) 対立ヨリ Kantヲ論スルナラハ此ノ Kategorieハ主観的ノモノトナルナランモ、Kantノ対象ハ経験界一般ナルナリ) 此ノ Kantノ Kategorie論ニ於テ Wolffハ Ontologyノ考ヘカ四考サレタリ。

而ラハ Kategorieトハ如何。Simulichkeitハ Receptiveナリ。之ニ対シ Vernunftstandハ spontaneousノ綜合ノ形ニ於テ表ハル。統一性ヲ有ス。之ニヨリ生ナル anschauungハ Erkenntnisニ迄達ス。此ル synthesisヲ行フハ判断ニ外ナラス。今判断ニテハ S. + P.カ結合シテ居ル。

然ラハ綜合ハ判断ト一致ス。慣性トハ denkenナルモノナリ。而シテ denkenハ判断ニ還元スルヲ得。然ラハ慣性ハ判断ノ能力ナリトセハ。即チ此ノ慣性ノ能力中ニ aprioritätヲ許サハ。

判断ノ中ヲ見レハ足ル。如何トナレハ synthetisch Einheitニヨリテ denkenヲ可能ナラシムル Verstandト analytisch Einheitニヨリテ denkenヲ可能ナラシムル Verstandトハ同一ナル故ナリ。且ツ其ノ apriorielementハ判断ノ形式ニ見出サル。Verstandノ形式ハ判断ノ形式ニ見出サル。

今我々カ analytischナル判断ニ於テ表ルノ慣性ト synthetischナル判断ニ於ケル慣性トカ同様ナル事ヲ我々ハ apriorischナル慣性ヲ探究スル事ニ於テ示サル。故ニ思惟形式ハ判断形式ヨリ推知スル事ヲ得。

今判断ニ於ケル凡テノ inhaltヲ捨去リテ考察スレハ其結果ハ次ノ如シ。

(I) Quantität (II) Qualität (III) Relation (IV) Modalität
 allgemeine, bejahende, categorische, Problematische
 besondere, verneinende, hypothetische, assertorische
 Einzelne, unendliche, disjunktiv, apodiktische
 此ノ分類ハ判断, subject, materieニハ全然
 関セス, subjectノ内容ハ勿論 empirischナル故
 皆捨テ去ラレ, 只 subjectニ包攝サル、綜合ノ形式
 ノミヲ見テ行フナリ, 故ニコハ全然經驗的要素ヲ交
 ヘサル概念ニ subordiniertナル nounヲ示ス
 エノト云フヘシ, 斯カル nounトシテ Simulich-
 keitニ対シテ空間力持ツ意味ヲ此ノ場合ニカ認識
 ニ対シテ有セリ, 其各仕方ノ根柢ニハ夫々此ノ綜合
 可能ノ原理アリト考フヘシ, 斯クシテ此等綜合仕方
 ノ原理トシテ導ケラレシハノユニシテ, 今迄述ヘシ
 Kategorie (純粹概念形式) 次ノ如シ,

(I) Quantität	(II) Qualität	(III) Relation
Einheit	Realität	Inhärenz u. Substanz (Substantiat accidenti)
Vielfheit	Negation	Causalität u. Dependenz (Ursach u. Wirkung)
Alheit	Limitation	Gemeinschaft, (Wechselwirkung zwischen den Handelnden u. Leidenden)

(IV) möglichkeit - unmöglichkeit
 Dasein - nicht sein
 Notwendigkeit - Zufälligkeit

之等 Kategorie 中初メノ六者ハヨリ多ク我々直
 観対象上ニ, 又後ノ六者ハ対象 existenz / 上ニ句
 ケラレ居ル如ク見ユ, 例ヘハ Relationニ於テ Mo-
 dalität 対象相互ノ関係ニ於テ existenzニフキ力
 向顯トナリ居ル, 故ニ前六者ハ mathematische
 Kategorien, 後者ヲ Dynamisch Kategorie
 ト稱ス, 而シテ各種ニ含マレ居ル三者, 第三卷ニ在
 ル物ハ第一、第二ノ綜合的観アリ, コノ事實ハ Kant
 以後ニ注目スル所トナリ, コレヨリ Kategorieノ
 Reduktion テフキ力行ハレシ以テナリ, カクテ
 Kantハ判断ニ於ケル analitischナル einheitヨ
 リ純粹形式 - Kategorieヲ導出セルナリ, 然ルニ
 此ノ事ハ認識力 (概念認識) 形式論理的 denken
 上ニ立ツト解スヘカラス, 即チ Kategorieハ純粹
 概念ノ根本概念ナリ, 此ノ Kategorieハ可能ナル
 經驗凡テニ対シテ, ナ意味ヲ表スルナリ,

例へハ経験中ニ於ケル *gegeben* ナル物ハ其ノ原因ヲ有スヘシテフ事ハ因果ノ *Kategorie* ノ制約下ニ於テノミ云ヒ得ルナリ。恰モ空間的対象ノ可能ハ純粹直観ノ制約下ニ立チ居ルト同様ナリ。カクテ判断ノ *form* ハ斯様ナル *Kategorie* ノ発見ノ手引タルニ止マル。恰モ *Transzendente Esthetik* ニ於テ、時間ノ性質カ *keine ausschauung* ナル事ヲ述ヘシ後斯様ナル時空カ可能ナル数学的認識ヲ述ヘ居レルト同様ニ *Kategorie* ニ對スル *reduction* カ必要ナル。即チ如何ナル所ニ於テ斯カル *Kategorie* カ経験一般ノ原理、自然科学認識可能性ノ原理ナルヤ。上ニ於テ *Kategorie* ハ思惟ノ先天的根本的形式ナリト見タリ。此ノ矣ヨリ見レハ一種 *subjective* ナル意味ヲ有スルモノ、如ク考ヘラル然ルニ我々ノ認識ハ單ニ *subjective* タルニ止マルヘカラス。 *allgemeingültig* ナル *Objective* ナル物ナラサルヘカラス。コレ如何ニシテ可能ナリヤ。勿論斯ルーニ概念ノ我々心ニ於ケル成立ノ仕方カ向テタルニ非ス。然レハ斯様ナル *Kategorie* カ性質ニ *immanent* ニシテ最も純粹ナル認識ナリ。テフ

事ヲ知リシモノニシテ、之ハ *quid factie* ナリ。然シ我々ノ真ノ向題 (*Transzendental philosophie*) ハ主観的觀念トシテノ *Kategorie* カ如何ニシテ認識ヲ可能ナラシムルヤテフ向題ヲ向ヒ。此ノ向題上ニ於テ *Kategorie* ノ可能ヲ向テ事ニ於テ *Transzendente philosophie* ノ真價アリ。我々ハ *quid juris* ノ向題ヲ向ハサルヘカラス。今 *quid juris* ニ關スル証明ヲ名ケ (制限、権制ノ要求ヲ明ナラシムル証明) *reduction* ト称ス。故ニ今述ヘシハ形而上學的 *Kategorie* ノ *reduction* ナルナリ。而シテ此ノ後ニテ *Transzendente* *reduction* カ行ハル。如何ニシテ先天的觀念ナル *Kategorie* カ対象ニ關シ得ルヤ。如何ニシテ *Kategorie* カ経験ノ *Bedingungen* テアリ得ルヤ等ノ究明カ行ハルヘシ。之ヲ以テ如何ニシテ形而上學的ハ可能ナリヤテフ向題ニ答ヘ得。

蓋ニ時間ハ先天的純粹直観ニシテ、経験ノ手ヘラルルニ對シ。対象ニ對シテ綜合判断ヲ可能ナラシムル原理ナル事ヲ知ル。即チ対象カ我々ニ手ヘラレタル *Bedingungen* ナリ。カクテノミ我々ニ對シテ

現象カ可能トナル (*unbestimmt* ナル *gegenstand*) 然テハ *Kategorie* ノ場合ハ如何。

勿論現象ハ時空形式下ニ立ツ。即チ *Simulichkeit* ニヨリ可能トナル。故ニ、今ヤ *Simulichkeit* トハ関係サル慣性ノ概念ナル *Kategorie* テフ物カ考ヘラル、事無クシテ孰ニ *erscheinung* ハ存ス。然レモ此コハ未ダ不規定的ナルモノナリ。コハ未ダ認識ニハ非ス。故ニ此ノ *Kategorie* ハ考ヘラレタル現象ヲ *denken* シ、考ヘラレタル *Erscheinungen* ヲ考ヘラレシ対象トシテ規定シテ行ク。考ヘラレタル直観カ概念トシテノミ始メテ経験ハ可能トナル。只ノ概念、直観ハ認識ナラス。認識タル者ニハ色々ナル綜合ヲ要ス。即チ、一ハ認識カ出来上ル *process* ノ時ニシテ、一ハ之ヨリ綜合サルヘキ多クノ表象カ時間的ニ惹起サルヘキ物トシテ知覺サレ、之カ漸次集メラレ行クナリ。即チ *apprehension* ノ綜合ナリ。之カ爲ニハ何か必要ナリヤ。人或ル表象ヲ見テ次ノ表象ニ移リ行クニ當リ、最初ニ表レシモノヲ忘却セシカ。綜合ハ得サルナリ。然ラズシテ心中ニ記憶サレ居リ、*gedanken* ノ中ニテ再成サレサル可

カラズ、而シテ其処ニ表象ノ一列系カ生ス。之ヲ我々ノ心ニ於テ *association* シ來ル。即チ我々ノ心性ニ於テ *Reproduction* テフ綜合行ハルヘシ。(固ヨリコハ *Einbildungskraft* ノ作用ナリ)。

カ、ル *Reproduction*、*Synthesis* ナキ件ハ、前ノ *apprehension*、*Synthesis* モ行ハレス。

然シコノ凡テノ表象ハーツノ *Bewusstsein* ニ纏メラル、事カ必要ナリ。之ヲ *Kant* ハ *apperception* ト呼ヘリ。此ノ事ニヨリテノミ *apprehension*、*reproduction*、場合ノ意識状況ヲ考フル者ニ於テノミ *identität* ヲ見出ス事ヲ得。即チ *apperception* ニヨリ之等ノ *vorstellung* ヲ再現スル事ヲ得。故ニ *apperception* ハ我々ノ内的状態ヲ其処ニ知覺スル所ノモノトナリ從テ *Bewusstsein* ナリ。然シ之足ノ意味テ *apperception* ヲ見ル限り *apperception* ハ *empirisch* ナル物ト考ヘ得。然ラハ *empirisch* ナル *apperception* ヲ進ミテ更ニ然ラサル *apperception* ヲ見出サバ、ル限り我々ハ認識ハ行ハレス。productive ニ働ク *Einbildungskraft* ノ

上ニ立リ *apperception* ヲ求メサルヘカラス。 *apperception* ヲ *empirisch* ナリト考フルモ先ニ第一ツノ *Erkenntnis* カ生スルモノナレトモハーノ *Wahrnehmung* = 通キサルナリ。カソル場合ニハ我々ノ心ノ状態カ *Wahrnehmung* ヲ左右スル事トナル。故ニ *Objective* ナル経験認識ニハ非ス。故ニ我々ハ主観的認識ノ普遍性ヲ何處ニ求ムヘキヤト。故ニ我々カ *Objective* ナル智識ヲ要求スルニハ要ニ經驗的 *Bewusstsein* = *Beziehen* シ居テハ性ハス。即此場合ノ表象ヲ結合セシムル *apperception* ヲシテ *Empirisch* ナル要素ヲ除去スヘシ。然ラハ此ノ *empirisch* ナル *apperception* ハ其ノ *grund* ニ於テ最早 *empirisch* ナラサル要素ヲ豫想シ居ルコトヲ知ルト考ヘラル。自分ハ自分ノ *empirisch* ナル *Bewusstsein* ニ於テ自分ノ *zustand* ヲ感ス。此ノ時主観的自分ヲ事ヲ離ルレハ此ノ *apperception* ハ主観的ナルモノニハ非ス。此ノ客観的 *apperception* ヲ先驗統覺ト *Kant* ハ名ケタリ。即チ *Ich denke* テフ表象ハ何レノ表象ニモ皆ハマルヘキモノナラサル可

カラス。カソル *reine apperception* ハ物論經驗的 *apperception* ト區別サルヘシコハ *passive* ナルモノナリ。之ニ対シ今茲ニ云フ *reine apperception* ハ自發的ニ表象ノ *apperception* ヲ行フ根本的ナル物ナリ。故ニ *Simulichkeit* ニハ非ス。故ニ此ノ限リニ於テコハ我々ノ *Verstand* ト合致スヘキナリ。故ニコハ經驗ヨリ作ラレシモノニ非ス逆ニ經驗可能ノ *grund* ヲ含ム *Ursprung* ナリ。

我々ニ与ヘラレシ表象ハ *ein bildings Kraft* ノ *synthesis* カ行ハレテ知覺ヲ構成ス。 *Ich denke* テフ表象ニヨリ結合サレ居ラサル限リ *Ich* ノ表象ニハ非ス。故ニ私ノ表象トハ一ツノ表象。私テフ物ノ表象ト云フ一箇普遍的自覺中ニ共存シ得ルコトヲ許サルヘキモノナリ。故ニ綜合統一ハ凡テノ慣性使用ノ統一ナリ。思惟ノ能力ハ認識能力ナリ。然シ認識トハ *Object* ニ対スルモノナリ。 *Object* トハ慣性概念ノ表象ノ多様ニヨリ結合サレ居ルモノナリ。故ニ表象ノ有ラユル結合トハ其ノ綜合意識ノ先天的統一カ根本ニ於テ要求サル。即チ表象ノ有ラユル結合ニ於テ綜合ニ於ケル意識ノ根本的統一カ *grund*

ニ於テ要求サル。尚 Empirisch = 考ハラルハ限
リハ経験的 ich カ綜合ノ源ニアリ。然ルニ Trans-
zendentale 綜合、或ハ apperception ヲ含ム
ich ハ單ナル現象 empirisch ナルモ、ニハ非
ス Ich denke テ有ニル表象ニ因スル allge-
meinheit ノ act ヲ表スモ、トシテ考フヘシ。故
ニ reine apperception ハ夫自身 erkenntniss
ニハ非ルモ、凡テノ作用、表象多様ヲ einheit = 統
一スル grund ナリ。故ニ凡テノ Erkenntniss ノ
最も根源ニ考ハラルヘキ前提ナリ。若シ之ヲ意識ニ
即チ考フレハ其ハ経験的意識ニハ非ス。此ノ経験
的意識ヲ可能ナラシムル根源ニ存スル源泉ナリ。故
ニ之ヲ prolegomena ハ意識一般ト云フ。此ノ認
識一般ノ解説ハ Kant 學派ニ於ケル重要内容ナリ。
若シ一般ニ判断力 Empirisch ナル Bewusst sein
ニヨリ先スルトセハ此ノ限り凡テノ判断ハ Subject-
ive ナリ。若シ判断ノ基礎カ Bewusst ナル U-
berhaupt ナリトセハ判断ハ Object ノ gültigkeit
ヲ有スル事トナル。経験ハ一般ニ Transzendentale
apperception ヲ統一サレ此ノ統一性ニ從ヒ多様

ノ綜合行ハルル中ニヨリ統一カ行ハル。故ニコハ慣
性使用ノ最高^原理ナリ。故ニ慣性認識トハ慣性ノ
Spontaneate product ナリ。表象カ Trans-
zendentale apperception ノ統一性ニ於テ統一サ
ル、カ理性ナリ。故ニ simultichkeit = ヲル結合
ヲ行ヒシ時之レ經驗ナリ。故ニ斯クノ如キ綜合カ Ob-
ject ナラサルヘカラス。即チ此ノ場合 gültigkeit
ヲ有スルトハ必然的 Allgemeinナル gültigkeit
ヲ有スルモノト云フヘシ。故ニ表象ノ結合カ純粹統
覺ノ綜合ニヨリ行ハル、トセス。其処ニハ apri-
orisa ナル必然的結合行ハル。故ニ此ノ synthe-
sis ハ Objective ナルヘシ。

多クノ表象^{表象}ハ此ノ reine apperception ノ必然
的統一ニヨリ統一サル。コハ主観的ナラサル意識ノ
Einheit ナリ。故ニ斯様ナル表象ノ結合ハ Ob-
jective ナリ。即チ此ノ綜合的活則ト云フヲ得。此
ノ法則性ニ於テ慣性カ使用サル、ナリ。カニル ge-
stzlichkeit ハ最早 subjective ニハ非ス。此ノ
經驗的 Objective ノ本ハ Reine apperception ナリ。
表象ノ多様カ其ノ概念ノ範疇ニヨリ結合サレシカ我

又) Object 中) 対象ナリ。空間的对象カ空間ニヨリ始メテ成立スルカ如シ。事ヘラレシ表象ノ多様性カ apperception) Einheit) モトニ持ラサル、事ニヨリ経験) Object - 経験カ生スルナリ。此ノ Synthesis, Spontaneität) 有スル故 Verstand) 性ト同シ。故ニ Verstand) Lenken = 於テ云フ form) カ Kategorie) ナリ。故ニ慣性カ Transzendentale apperception) 最高原理カ事ヘラレシ多様ヲ綜合シテ行ク時ニ従ハサルヘカラサルカ則カ即チ Kategorie) ナリ。恰モ Simuligkeit) カ空間) 対象ヲ段取ル場合ノ制約カ空間ナリシト同様慣性カ事ヘラレシ多様ヲ綜合ナス場合ニ従フヘキ法則性ナリ。斯カル制約ノ下ニ綜合サル、時ニノミ経験) Object) カ制約セラレ。故ニ Kategorie) ハ経験) Object) 成立) 可能) 原理ナリ。経験ニ於ケル綜合判断ヲ可能ナラシムル原理制約ナリ。若シ Kategorie) カ無ケレハ慣性ハ輕重) 判断ヲナスヲ得ス。Kategorie) = ヨリテ) ノミ表象) Objective) ノ綜合カ行ハル、ナリ。太陽) 光ハ Kategorie) = 養ラサレサル限り散々タル光ナリ。此ノ Kategorie)

ヲ使用スルハ Verstand) ナリ。カクテ Verstand) ハ一般) Erfahrung) Urteil) ヲ構成ス。

純正ニ此ノ理由ニヨリ Kategorie) ハ我々ノ対象以外ニ使用スルヲ得ス。(恰モ時空ハ Simuligkeit) ノ直覺ニヨリテ事ヘラレタル対象ノミニ於テ當ハマル。) 然モ此ノ möglich) ナル Object) ノ上ニ於テ使用サル、限り此ノ判断ハ Objective) ナリ。其知ニ reine Erfahrung) = ツキテ玉ヘル事ハ apriorisch) = 経験世界ニツキテ云レ得ルナリ。経験トハ實ニ我々ニ事ヘラレシ表象) 多様) 若合) ナリ。故ニ此ノ結合) 制約法則性) ハカ、ル制約下ニ於テ結合サレシ経験ニ Objective) ノ當テハマル事ハ明ナリ。爰ニ Kant) Reinen Verknüpfung) 云ニ、問題ニ答ヘ得タリ。

reinen verstandes Begriff) ハ apriorisch) ナリ。

コハ同時ニ如何ニシテ此等自然科学ハ可能ナリヤテフ疑問ニ對シテ答フ。即チ nature) ハ ready-made) 物ナラス。簡單ニ云ヘハ現象) unbegriff) ナリ。即チ表象) ヨリ結合サレテ出ル経験) 統括ニスキ

ズ、故ニ要之 *Transzendentale apperception*
ノ統一性上ニ立ツ、故ニ自然ハ *Transzendentale*
apperception ノ法則ヲ法則トシテ立ツモノナリ
即チ自然ハ我々ノ *Kategorien* ノ制約ノ下ニ於
テノミ初メヨリ可能ナリ。換言セハ *Nature* ハ合法
則的ニ整ヘラレ *Erscheinung* , *complex* ニ選
キス。然モ *Erscheinung* ハ我々ノ *Vorstellung*
ニ選キス 故ニカ、ル *Vorstellung* ヲ添トシタル
Erscheinung , *complex* カ自然ナレハ我々ノ自
然ハ合法的 *Kategorie* , 上ニ立ツヘシ。 *Na-*
ture トハ経験 , *Object* , *complex* ナリ 然ル
ニ我々ノ *Erfahrung Object* ハ慣性使用ニヨリ
可能ナル故 *Nature* ハ慣性 , *Gesetz* , 下ニ立ツ
ヘシ。

即チ *prolegomena* , 考ヘニ従ヘハ 此ノ問題
ニ答フルニハ我々ハ自然其物ノ *möglichkeit* ヲ考
フヘシ。今自然ヲ *material* , *Bedeutung* = 於テ
考フレハ要之 *Erscheinung* , 総括ナリ。故ニ如何
ニシテ自然カ *möglich* ナルカトハ、如何ニシテ *Er-*
scheinung ハ可能ナリヤテフ問題ニ歸ス。コハ

Transzendentale Ethetik = 明ナリ。又自然
ヲ *formal* ナル意味ニ於テ解スレハ *Erfahrung*
カ経験ニ於テ結合サレシモノトシテ *lenken* サル
ト考フル法則ノ *Im begriff* ナリ。故ニ *Erchei-*
nung , 何等カノ対象ニツキラノ表象ナリ。故ニ表
象ノ合法的結合カ *Erfahrung* ナリ。故ニ自然トハ
如何ニシテ可能ナリヤハ、如何ニシテ *Erfahrung*
カ可能ナリヤテフ事ナリ。然ルニ *Erfahrung Ver-*
stand , 可能ニヨリ出ツ 即チ *Verstand* カ自
然ヲ可能ナラシムル事トナル (*Verstand* , 凡テ
ノ *Erscheinung* ヲ自ラノ制約ニヨリ表象ヲ可能
ナラシムルモノナリ。) 故ニ *Verstand* , 考働ナ
クシテ *Nature* ハ死セズ 多林ナル *Erschein-*
ung カ慣性 , *Lager* = 従ヒ結合サレシ物即チ
Nature ナリ。故ニ *Verstand* , 法則カ *Nature*
ヨリ得ラレシモノニハ非ス *Nature* = 法則ヲ守ヘ
タルナリ。此如ニ *Kant* ハ所謂 *coercitivanisch*
ナル傾向 (*Revolution*) ナル所以ナリ。

即チ *natural Wissenschaft* , *möglich-*
keit , 問題カ解カレタリ。

以上ニ於テ我々ハ *Kategorie* 純粹慣性概念ヲ考ヘ、之ヲ經驗可能ノ原理トシテ理解セリ。

Transzendente apperception 綜合統一カ綜合ノ獨局性ナリ居ル故 *Kategorie* ヲ經驗對象ニ對シテ用フルヲ得ルテ予事ヲ見タルナリ。即チ基礎概念ニツキテ考ヘシナリ。我々ハ今述ヘシ概念ノ應用方法ヲ理解セサルヘカラス。即チ經驗成立ノ當ニハ *simulich* ナル *auschaunngen* カ *Kategorie* ノ法則ノ下ニ我々カ与ヘラルヘシテ予事ヲ見タルナリ。不然我々ハ未タ此ノ *simulich* ナル *auschaunngen* カ *subsamption* サル、事ニヨリ我々ノ認識ハ得ラル、ガコノ *subsamption* ヲ与フルモノハ判断ノ能力ナリ。カ、ル判断カニ對スル基準カ与ヘラルヘキナリ。即チ *apriorisch* ナル規則ニ對スル制約ヲ含ム慣性概念ヲ如何ニシテ現象ニ對セシムヘキヤノ制約ヲ見サルヘカラス。然ラハ斯カル慣性概念下ニ如何ニシテ *Erscheinungen* カ包接サレ得ルカ 即チ *Transzendente doctrine der Urteilskraft* カ向題トナル前述ノ如ク經驗認識ノ成立ハ *simulich* ナル *aus-*

chaunigen カ必然的制約トシテノ *Kategorie* ニヨリ制約セラレテ可能トナル 故ニ此ノ *Kategorie* カ *simulich* *auscheinungen* ニ適用サレサル限リ何等ノ認識ハ得ラレス。 *nature* ハ成立セス。故ニ *Kategorien* ハ又單ニ *reine* 慣性的ノモノナリ。即チ *Kategorie* ハ何物ニモ適用サレサルコトトナレハ單ナル慣性ノ空想ナル概念ナリ。然ルニ本來 *Erkenntnis* テ予事ノ為ニハ此ノ單ナル *reine* 慣性ノ概念タル *Kategorie* カ我々ノ *simlich* ナル對象上ニ應用サレ始メテ *Erkenntnis* カ成立ス。然ルニ *Verstand* ノ概念トシテノ *Kategorie* ハ全然 *intellectual* ナル物ナリ。又 *simulichkeit* ト *Verstand* トハ全ク異リシ働ナリ *Kategorie* ハ從ツテ單ニソレノミヲ考フレハ上ノ如キモノニシテ *simulichkeit* ニヨリ与ヘラレシモノハ全然 *simlich* ナルモノナリ。然ルニ *simulich* ヲ要求スルモノハカ、ル *simulichkeit* ニヨリ与ヘラル、直観カ *Verstand* ノ概念ニ包接サルヘキナリ。然ラハ此ノ縁モノキ一方カ他方ノ下ニ如何ニシテ包接サレ得ルカ 即チ斯カル *simulich* ナル物

カ包接サル、爲ニ可能ナル爲ニハ何等カ両者ニ關係
アル所或ハ両者ニ等シキ性質アル兩者ノ媒介者アル
者ナリ。之ニヨリテノミ *Kategorie* カ *simu-*
lich ナルモノ、上ニ應用シ得。然モ斯カル媒介者
ニ依リテノミ *simulich* ナル物カ *Kategorie* ト
ナリ。 *Kategorie* ナル物カ *simulich* ナル性質ヲ
持テ來リ兩者ノ結合起ル。故ニ此ノ媒介者ハ兩者ニ
對シテ外ニ立ツモノニハ非ス *Kategorie* ノ能カ
ト考ヘラル、物ト *auschannungen* ノ能カト考ヘ
ラル、物トノ中間ニ立ツモノニシテ然モ兩者ニ同等
價的性質ヲ有スルモノト見ルヘシ。蓋シ或対象カ概
念下ニ包接サル、爲ニハ *simulig* ナル物ト *Ka-*
tegorie テフ物カ *homogeneous* ナルモノトナ
ラサルヘカラス。然モ前ヨリ云ヘル如ク、慣性概念
ト直観トハ異ルカ故ニ上ノ向観カ起ル訳ナリ。

勿論コレカ可能ナル爲ニハ媒介者ノ *grund* ハ所
謂 *productive* ナル *Einbeidungs Kraft*
中ニ含まレ居テ、全体トシテハ *Transzendentale*
apperception ノ原理下ニ律セラルヘキナリ。

而シテ此ノ媒介ノ方法ヲ向フ事カ当面ノ向観トナ

ル。

此ノ媒介者ハ *Reine* ナルモノニシテ、一方 *Ka-*
tegorie = *Verwandtschaft* ヲ有シ。又一方
simuligkeit = *Verwandtschaft* ヲ有スルモ
ノナルヘキナリ。之ヲ *Kant* ハ *Schemata* ト名
ク。即チ我々ハ *Transzendentale* ; *Schemata*
ヲ求ムヘキナリ。

Kategorie ハ單ニ対象一般ノ概念ナリ。然モ
我々カ今認識セントスル物ハ対象一般ナラスシキ定
マリシ *Erfahrungs ding* ニ在リ。即チ我々ハ *Ka-*
tegorie ヲ以テ満足スルヲ得ス (*Kategorie* ハ
未タ認識ニ非ルカ故ナリ) 即チ單ナル慣性形式ト
考ヘラル、*Kategorie* ハ *simulichkeit* ト結合
スヘキナリ。カク單ナル慣性ノ *former* ト考ヘラ
レ居ル物カ *simuligkeit* ; *formere* = 結合サル
、事ニヨリテ物カ *simulig* ナル物トナル。故ニ我
々ノ要求ナル *Schemata* ハ其ノ *Kategorie* カ内
容ヲ得ル爲メ *Bedingungen* ヲナス物ナリ。即チ
慣性概念ノ適用カ其ノ中ニ制約サレ居ル *Reiner*
simulichkeit ; *formal Bedingungen* ;

下ニ包摂サレ高ラサルハカラス。而シテ此等ニBe-
dingungenヲ覓ルヲ要ス。斯カル要求ニ应スル
Simuligkeit / formale Bedingungenハ何
リヤ。即チZeitノソレナリ。如何トナレハ慣性ノ
Bedingungenハ多様ノ綜合ヲ包ム。Zeitハ
Innere Simuligkeit / formナリ。故ニ
ZeitハInnere Simuligkeitノ多様ヲ結合
スル制約ナリ。従ツテ現象一般ノ形式ナリ。即チ有
ラユル表象ヲ結合スル最終的Innere Simulic
ノformナリ。然モ時間ハapperceptionナル方則
性ニ於テSimuligkeit一般ノformナリ。表象ト
従ツテSimuligナル物ト同價ナリ。即チ概念トハ
時間規定ニヨリSimuligナル物トナル、事ヲ得。

即チ我々ハ次ノ如ク考フ。即チKategorieハ
ニ従ツテ個々ノ場合ヲ論グ。

(1) Quantität

慣性概念トシテQuantität / Reine Schemataハ数ナリ。数ト云フ事ハ或單位ニ單位ヲ加
フル事ナリ。同種ナルモノヲ連続的ニ加ヘ行ク
事ナリ。即チZahlハ同種的直観ノ各標一般ノ連続

的綜合的統一ナリ。然モコハ順次ニ行ハル。即チ
時間識別ノ内部ニ於テ行ハル。即チ慣性ノReine
form SchemataハQuantitätナリ。

(2) Qualität

realitätトハ要之感覺一般ニ应スルモノナリ。
即チ概念自身ノ時間中ニ存在シ居ル事ナリ。

Negationトハ其ノ時間中ニ於ケル非存在ヲ示
ス。即チ此ノ時間ノ中ニ於テ我々ノ感覺一般ニ對
應セサル事ナリ。然モ此ノ場合ニツノ別ハ同時向
ニ於ケルInhalt / 空虚 / 充實ノ別ナリ。即チ
時間内部ニ於ケル感覺ノ連続的 / 同種的Erzeu-
gungナリ。即チ此知ニ考ヘラル、事ハZeit In-
haltナリ。

(3) Relation

Substanz. 時間ニ於テ物ノ持續性カSub-
stanzナリ。實體カ在ルヲ事ハ变化的物ノ中
ニ於テ無变化的持續ノ表象ナリ。即チ時間其物ハ決
シテ消滅セス。消滅スルモノハ時間内ニ於ケル變
化者ノ變化ナリ。即チ其自身持續的不變不動ナル時
間中ニ於テ不變不動ナル物ハ實體ナリ。之ニ對シ

時間内部ニ於テ連続的ニ關係スルモノカ *accident* ナリ。

Consalität. 一定ノ法則ニ從ヒ或物カ時間的
前後ニ存スル事ナリ。

Gemeinschaft. 一方ノ物ノ *Bestimmungen*
...ト他ノ *Bestimmungen*トカ一定規則下
ニ時間的ニ共存シ居ル事ナリ。

即チ *Relation*トハ *zeit ordnung*ヲ時間
規定カ文ノ *Kategorien schemata* ナリ。

modalität. *möglichkeit* ハ何時カノ事ナ
リ。 *wirklichkeit*. *jetzt* 此ノ時間ニ於ケル
ナリ。

Notwendigkeit. 必ス常ニ。即チ只テ時間
ニ於ケル *Dasem* ナリ。即チ *modalität*ノ
*schemata*ハ時間一般ナリ。

要之此ノ *schemata*ハ或規則ニ從ヘル先天的時
間限定ナリ。コハ凡ソ可能ナル対象ニ關スル *zeit*
reihe. 内容順應綜合ニ關係ス。コノ事ニヨリテ
ノミ *Kategorie*ヲ *simulig dinge* 上ニ應用ス
ルコト即チ時間ニ於ケル先天的可能カ成立ス。

*Schemata*アリテ始メテ *Substanz*ト *acci-*
*dentia*ハ逆ニ考フル事ヲ得ス。即チ水ヲ *sub-*
*stanz*トシ。波ヲ *accidentia*ト理解セハ此ノ
逆ハ考ヘ得ス。即チ *relation*ノ *schemata*ヲ考
フレハコハ時間ノ *ordnung* ナリ。即チ水ハ時間
ノ内部ニ於テ連続シ居レルニ及シ波ハ連続セス。故
ニ此ノ *Kategorie*ヲ正当ニ使用スルヲ得ルナリ。

即チ此ノ *schemata*ニヨリ *innere sein*ノ
*Einheit*ニ持來ラサル。即チ *Kategorie*ハ量ニ
横性ノ概念ナリシニ及シ。此ノ *schemata*ヲ用フル
事ニヨリ嚴密ナル意味カ生シ來ル。即チ経験ハ通
用カ量ナル *denken*ヨリ *Erkenntnis*ヲ區別ス
然モ此ノ *schemata*ノ媒介ニヨリ。

カント哲学ノ受容レ

(1) カント哲学ノ賛成ト反對

カントノ哲学カ始メテ世ノ中ニ現ハレタトキニハ未ダ一般ノ人々ニ理解サレナイテ、尙遠ツタ批評筆力出テイタガ。同シ大学ニ出テ居タ *Johann Schulze* (1739 — 1805) カ解釈ノ本ヲ出シテ、此説カ決シテ宗教ニ對シテ危険ナモノテナイト云フコトヲ示シタノテ、マツト人々ノ間ニ廣ク詭マレルマウニナツタ。其ノ後 *Jena* テカント哲学ヲ研究シ、又普及スルタメノ雜誌ナドモ出来、殊ニ *K. L. Reinhold* カ "*Deutsche Merkur*" ト云フ雜誌ニ手帳ノ形テ解説ヲ書イタノテ益々世間ニ廣マルマウニナツタ。

更ニ又、第二、第三ノ批判書カ出テカラ、夫レ等ハ幾分カ解リ易イ氣モアルノテ、次第ニ色々ノ地方ニモ廣マルマウニナツタガ、之ト共ニ反對モ亦仲々盛メニナリ、大学テ此説ヲ讚美スルノヲ止メタトコロモアツタ。ソレカラノ反對ハ然シ、多クハ今迄ノ

哲学ヲ基トシテ論シタモノニ過キカツタガ、更ニ深ク此ノ説ヲ研究シ、其レノ値打ヲ認メテラ、而モソレテ満足出来ナイ人モアツタ。夫レ等ハカントニ反對スルモノノ中テ最も意味ノアルモノト云ツテヨイ。其ノ説ヲ引括メテ信仰哲学又ハ感情哲学 (*glaubens- oder gefühlphilosophie*) ト云フ。ソレノ主ト問題ハ (1) カントカ感性ト悟性トヲ分ケ過キタコト (2) 物ソレ自身ノ意味テアル。

Johann Georg Hamann (1730-1788) ハカントト同シク *Königsberg* ノ人テ、カントノ哲学ニ感心シテ居タガ。宗教的ノ傾向々其ノ外ノワケカラ、カントノ理論ヲ満足出来ズ 批判ノ批判ノマウニ意味デ。" 理性ノ純粹性ニ關スル起批判" (*metakritik über den Purismus der reinen Vernunft*, 1784) ヲ書キ言葉カ感性ト悟性トヲ詰ヒ付ケルモノテアルト説イタ。

Johann Gottfried Herder (1744 — 1803) モ亦嘗テ *Kant* ノ讚美ヲ聴イテ、後ニモソレヲ賞メテ居タガ。又張リ *Kant* ノニ

元論 = 能々反ラナクナリ。殊 = Kant が彼ノ歴史
哲学ヲ批評シテカラ、意見ガ合ハナクナツタ。

「悟性ト経験」(Verstand und Erfahrung,
eine metakritik zur Kritik der
reinen Vernunft, 1799)ハ即チ之レヲ
説イタモノテアル。

Friedrich Heinrich Jacobi (1743 — 1819) ハ更ニカノアル批評ヲ試
ミタ。其ノ頃名高カツタ Moses Mendelssohn
ニ英ハク手紙テ、すびのざノ説ヲ論シ。理論ノ上テ
ヨク整ツテキルガ、下凡人ヲ満足ナセナイノハ、即
チ悟性ノ外ノ働キヲ要スルコトヲ示スモノテアルト
説キ。(「über die Lehre des Spinoza
in Briefe an Moses Mendelssohn»,
1785)。結局悟性ヨリ上ニアル理性ノ信仰ニヨ
ルベキコトヲ明カニシ。Humeノ説ヲ取り入レタ。
(「David Hume über den Glauben,
oder Idealismus und Realismus»,
1789)。信仰哲学等ノ名ハ即チコノ点カラ出来
タモノテアル。此ノ立場カラ Kantノ Ding-an-

— sichノ説ヲ見ルト。始メニハ之レガ必要ヲア
ルガ。之レニ原因ト云フ Hantyuヲ應用スルコ
トハ出来ナイ。新様ニシテ世界ハ後世カラハ夢ノ兼
ニアラナケレバナラナイガ。ソレヲ感情。信仰カラ
ハ許セナイ。ソコニ觀念論ニ對スル實在論ノ趣味カ
アルト説イタ。

之等ノ人々ハ殺介カかんトノ哲学ノ意味ヲ明カニ
シタガ。然シ未ダ其ノ説ヲ進メルコトハ出来ナカツ
タ。コレニ對シテかんトノ哲学ヲ学ンデ。ソレノ困難
ナ点ヲ切り抜ケマウト試ミルモノガ出テ。哲学ノ歴
史ノ上テ意味ノアルモノガ現ハレタ。

(2) かんトノ哲学ノ改造

Karl Leonhard Reinhold (1758
— 1823) ハかんトノ哲学ヲ主ニ道德。宗教
ノ方面カラ説キ明サウト勉メタガ。然シ其ノ後ルト
ココノ本ハ第一ノ批評書ヲアツタ。此ノ本ハ深い真
理ヲ含ムニ拘ラズ。世間カラ誤解セラル、ノハ。中
心トナルハキ原理カナイカラテアル。改ニ之レヲ補
フノガ。かんトノ哲学ヲ奨メルコトニナルト思ツテ。

根本ノ哲字ヲ説イタ。

Reinholdノ考ヘニヨリテ、理性ノ衝キ、中心ハ *Hyōsyō-sayō* ニアル。ソシテ此ノ本用ノ根本ニアル事實ヲ原理トスレバヨイトイフ。其、事實及ヒ原理ハ凡テ *Hyōsyō* ニハ習慣、客観ノ意識カアツテ、所モ夫レ等ト區別セラレ、又關係セラレルト云フコトテアル。Reinholdハ斯クシテ、此ノ原理ニヨツテかんとノ形式ト質量トノ區別ヲ説クコトガ根源トシ、之レニヨツテかんとニ原論ヲ改メ、又 *ding-an-sich* ヲコノ *Hyōsyō*、客観ニ關スル衝キカラ説カウトシテ、斯クシテ *ding-an-sich* ハかんとニ於ケル如ク「知ラレナイガ、考ヘラレル」トケテアル。「考ヘラレネハ知ラナイ」トナリタ。

Reinholdノ説ハかんとノ觀念ヲウブナ實在論ニ返スモ、チアルカラ、此処ニ反對ヲ得イタ。

Gottlob Ernst Schulze (1761-1833) ハ言ノ懷疑論者ノ名ニ因リテ

Aenesidemus ト云フ本ヲ表ハシ。

Reinholdノ原理ハ考ヘタコトカラ直チニ事實

ヲ導クトスル独断哲学テアルト云ヒ、畢竟 *ding-an-sich* ナドヲ説カウトスルカラ斯様ノ間違ヒニ陥ル、デ、之レヲ説クヨリモ其ノ前ノ *Hume* ニ近ル方ガ良イト云ツタ。

Salomon Maimon (1754-1800) モ独断論ニ反對シタガ、積極的ニ論ヲ立テマウトシタ。*ding-an-sich* ト云フ概念ハ絕對的ニ矛盾ヲ含ムチキル。同故ナラハ意識カラ全ク独立ナ物ハ考ヘルコトモ出来ナシカラテアル。ソレ故ニ *ding-an-sich* ハ全ク意識ノ外ニアルノチハナク、ういぶにつつノ云ツタ微少知覚 (*petites perceptions*) ニ當ルマウナ意識ノ微分 (*Die Differentiale des Bewusstseins*) テ、ソレガ源泉^{ノ形式}ニ對シテ材料トナルモノテアル。カクテ *ding-an-sich* ハ意識ノ中ニアル點意識ノ産物テ、完全ナ意識ニ對スル境目ノ概念 (*grenz-begriff*) テアル。コレヲ数学ノタトヘテ云フトかんとマ、ういんほるビノ *ding-an-sich* ハ未知数ヌテハナク、虚数 $\sqrt{-1}$ テアルガ Maimonノハ不合理的数 $\sqrt{2}$ ノマウナモノテアル、カクシテ

Sing-an-sich を全ク意識ノ中テ説明シマウ
トシタノテアルカラ。意識ノ中ノ事ニ就イテノ字向
即チ数学ト考ヘ、形ニ關スル字向テアル先見哲学（*Transzendentalphilosophie*）ヲケハ或立ツ
カ外ノ事ニ就テノ字向。自然科学ハ成立タナシ。
之ヲ批評的ノ懐疑論（*kritischer Skeptizismus*）
ト云フ。

コノ説ニ一歩ヲ進メテ、意識ノ中ニ完全ナモノト
不完全ナモノトノ別ノ以テルヲケテ全ク意識ノ方カ
ラ説カウト試ミタ人カ出テ、かんヒ哲学ヲ新シイ方
面ニ向ケテ行ツタ。ソレハ *Fichte* テアル。

ソノ外 *Fichte* ト並ニシテ *Lieserlünd*
Beck ト云フ人カ稍々同シマウテ説ク述ヘタガ
Fichte ノ大ニ陰ニカクテテ了ツタ。

ロマンチックノ哲学

總説

ロマンチック派（*Romantik*）ト云フノハ狭イ
意味チハ古典派（*Klassizismus*）ニ對スル文

領ノ流派ノ名前チ、どいつニ於テハハチ一テ、しら一
弄ニ對シテ、しゆル一ザる兄弟、ち一ク、のうあり
す等ノ仲間ヲ云フ。英吉利、佛蘭西ニモ同シ頃似タ
運動カ起ツタ。總テ古來ノ形ヲ離レテ、自由ナ精神
ヲ算フモノテアルガ、コレヲ廣イ意味ニ用ヒレバ、
一般ノ思想、字向、社会等ニモ *Romantik* ノ精
神カ行ハレテキタ時ガアリ。十九世紀ノ初メニハ丁
度ヨ一ロツハカ一般ニソウ云フ有様テアツタト云ヘ
ル。

ソノ思想ハ先ツどいつニ起ツタモノテアルガ、丁
度コノ時ニどいつノ文学ハ哲学ト酷ヒ付イテ一種ノ
發達ヲシテキタ。かんヒノ哲学ハソレガ物（客觀）
ニ對シテ我（主觀）ヲ重シジタ點ニ於テ、殊ニ
Romantik ノ人々ニ善バレタ。カクシテかんヒ
哲学ヲ受ケ継イテ更ニどいつノ立派ナ哲学時代ヲ作
リ出シタ色々ノ組織ヲ引ツクルメテ、ろまんちつく
哲学ト名ツケル。ソレラノ哲学ノ中ニハ、然イ意味
ノろまんちつくト離レタモノモアルガ、思ヒ付キマ
想像ナドノ自由ナ所カ似通ツテキルト言ヘルノテア
ル。

之等ノ哲学說ハ一般ニ觀念論 (Idealismus)
 (1) カラ出現シテ、唯神論 (Spiritualismus)
 トナリテキルガ、又一方ニ實在論 (Realismus)
 モナリテハナリ、ソシテ多クノ說ハ理性ヲ本トシテ
 キルガ又理性ヨリモ上ノ物ヲ認メルモノモアル。
 (2) Idealismus ハ認識論ノ上テ觀念論ノ意味
 ニ使ハレル言葉ナルガ、又形而上学ノ上テ、唯
 神論ノ意味ニモ用ヒラレ、又理想主義ノ意味ニモ
 ナル、コノ時代ノ独逸哲学ハ大体之等ニツノ意味
 ニ於テ Idealismus = 属シテキクノナル。
 今其ノ主ナルモノヲ挙ケルト：—



倫理的ノ觀念論

(1) Johann Gottlieb Fichte.
 Fichte ハ 1762年 Rammenan in der
 Oberlausitz (Sachsen) テ生レタ。彼ノ祖
 先ハ Gustav Adolf ニ仕ヘタ下士官テアリタガ
 戦ヒテ負傷シテコ、ニ止マツタノナル。Fichte
 ノ父ハリボン織ノ仕事ヲシテキタガ、其ノ子テアリ
 ナガラ、非常ニ物覺ハキガヨイノテ、トウトウアル
 貴族ノ助ケニヨリテ学問ヲスルコトカ出来タ。17
 80年 Jena 大学テ神学ヲ修メ、後ニ Leipzig
 大学ニ移リタ。

1788年ニ、ちゆうリッヒテ家庭教師ヲシテ、
 ソコテ彼ニ夫人トナリタ Johanna Rahm ノ家
 ト知合トナリタ。1790年ニ又ライプツヒニ出
 テ仕事ヲ探ス間ニ、フト或ル学生ノ為メニカントノ
 「Kritik der reinen Vernunft」ヲ読メ
 ケ大イニ感心シ、ソレカラコノ哲学ヲ熱心ニ研究ス
 ル人トナリタ。

1791年ニ Königsberg へ行ツテカントヲ訪

オ、其ノ世語ヲ宗教論ノ本 („Versuch einer Kritik aller Offenbarung“)ヲ出版シタ
コノ本カ一時かんヒノ作ヲト思ハレタリテ、Fichte
ノ名ハ却テニハカニ高クナツタ。

1794年ニ Jena、Reinhold カ Kielニ
移ツタリテ、ソレノ後唯々ニ呼ハレタ。斯クテ

Jenaノ教授トシテ、かんヒ哲學ノ意味ヲ鮮キ明ス
ルニ知識學 (Wissenschaftslehre)ヲ講義シタ。
尚ホ別ニ一般ノ學生ノタメニ「學者ノ本分」(Besti-
mmung des gelehrten)ヲ説イタ。Fichteノ
評判カ急ニ高クナツタカ、之ヲ心ヨリ思ハナイ者モ
アツテ、色々ノ問題ヲ惹キ起シタカ、遂マノ799
年ニ Fichteカ編纂スル雜誌ニ掲ケタ Forberg
ノ宗教ニ関スル論文ノタメニ Fichte自身ニ辭職シ
ナケレハナラナイヤウニナツタ。之ヲ「無神論ノ争
ヒ」(Atheismusstreit)ト云フ。

斯クテ、800年カラ Fichteハベッリンニテ活
動シタ。初ハ Jenaヲ親シカツタウマンチツクノ文
士ノ家ニ宿シテキタ。後、此處ニ落チツク事ト
シ、Erlangenニ呼ハレタカ、矢張りベッリンニ止

マツテキタ。1806年ベッリンカ佛蘭西ニ白線セラ
レタ時ニハ、一時避難シテキタカ、1808年ニ帰ッ
テ來テ、名高イ「ドイツ國民ニ告グ」(Reden an
die deutsche Nation)ヲ講シタ。1809年ベッ
リンニ大學カ出來タ時、ソレノ教授トナリ、後逆ハ
レテ総長ニナツタ。1814年独逸カラ佛蘭西軍ヲ逐
ヒ出ス戰ノ時、大學テ若イ學生ヲ奨励シテキタカ
ソノ時特志看護婦トナツテキタ Fichte夫人ニ兵隊
カラ移ツタち、オカ、更ニ又 Fichteニ移ッテ
遂ニソノタメニ覽レルマウニナツタ。

Fichteノ著書ハ後其ノ子 Immanuel Fichte
ノ編纂シタ全集十一卷ニ集メテアルシ。其ノ外手紙
モアル。ソノ主トモノハ

1794年 "über den Begriff der Wissens-
schaftslehre" (知識學ノ概念ニ就テ)

" " Grundlage der gesamten Wissens-
schaftslehre" (知識學ノ基礎)

1796年 "Grundlage der Naturrechte nach
Prinzipien der Wissenschafts-
lehre" (法律論)

1798年 "system der sinnenlehre" (道徳論)
其外知識学ヲ色々ノ時代ニ説イタモノカ通俗的ナモノ
ノテハ時代ノ評論テアル。"grundzüge des gegen-
wärtigen Zeitalters" (現代ノ特長) ヲ其ノ外
傳記ノ中ニ掲ケタモノテアル。

(2) 知識学

(4) 知識学ノ立場

Fichteハ Reinholdト同シヤウナカんとノ説
ヲ一ツノ原理カラ裏釋シヤクトシタカ。其ノ爲ニ更
ニ高イ立場ヲ求メタ。カんとノ哲学ハ先見觀念論テ
アルカラ。"ding-an-sich" = 己ハレタ詳状ハ
決シテソレノ本當ノ精神ヲ示シタモノテハナイ。故
ニカんとノ哲学ヲ廢メルタメニ。此ノ觀念論ノ立場
ヲ明カニナス可キ土台ヲ立テナケレハナラナイ。夫
レハ先ツ其ツ其ノ説ヲ解ク學問或ハ知識カ必然的
ナ結合ヲシテキルモノトナラナケレハナラナイ。カ
んとノ所謂理性ハカレノモトテアツテ。之カラ Kant
Ty²ナトモ導カレテイルカ。其ノ間ノ連絡カ未ク明
カテナイ。夫レ故ニ Fichteノ知識学或ハ文章ノ通
リ云ヘハ "gaku-no-ron" ハカんとノ Kantian

ヲ一ツノ原理カラ導キ出ス手能キヲ示スモノニ外ナ
ラナイ。

然ラハ其原理ヲ何処ニ求メヨウカ? 知識ヲ分析
スルト習慣ト客觀トノ一ツノ深想カ見出サレシカ。
夫レノ一方ヲ基トスルト。觀念論ト實在論 (Fichte
ハ之ヲ独断論ト云フ) トナルカ。之等ハ共ニ筋道
正シク論スルコトカ出来ル。唯独断論即チ實在論テ
ハ意識ノ外ノモノカ必然的ニ生レ出テ補ヒ付クトシ
テイルカラ。自由トカ靈智トカ云フコトヲ説クコト
カ出来ナイ。即チ運命論、唯物論トナツテ了フ。之
ニ反シテ。觀念論ハ心ノ独立ト働キヲ説クコトカ出
來ル。之等ノ理論ハ共ニ正シイカラ。之ヲ送フノハ
智カノ外ノ意思ノ働キニヨラナケレハナラナイ。所
謂「如何ナル哲学ヲ送フカハ哲学者ノ如何ナル人テ
アルカニヨル」モノテ。自由ヲ欲スル人ハ何ウシテ
モ觀念論ノ立場ニヨラナケレハナラナイ。且ツ又觀
念論カラハ意識ト自在トノ両方カ説ケルカ。實在論
テハ意識カ説ケナイ。新様ニシテ Fichteハ意識即
我レノ働キヲ无トシテ。夫レカラ必然的ニ意識ノ内
容トナルモノヲ導キ出サウトシタ。之カ其説ノ我レ

ノ哲学又自我ノ哲学ト云ハレル訳テアル。

觀念論ノ立場カラハ智識ハ物ト我レトノ合一テハ
ナクテ、唯我レノ觀念大レ自ラノ間ニ必然的ニ結合
ヲスル処ニ生スレモノテアル。然シ之ヲ我レト云フ
モノノ必然的ニ働キト考ヘルトツマリ我レヲモノ
ニシテ了フコトニナルカラ、我レト働キトヲ引離シ
テ考ヘルコトカ抑々誤リテアル。我レハ即チ純粹ノ
働キテアル。其ノ働キ、活動ニハ我レモ物モ分レテ
居ナイ。働キテソウシテ其ノ結果テアル。一ツノ物
テアル事實テハナク、働キ即チ行ヒト夫レノ結果テ
アル仕事トノ一ツニナツタモノテアル。之ヲ"Zipō"
ト云フ。所謂「我レ」「自我」ハ其ノ意味テアル。
知識学ハ此我レニ如何ナル根本ノ原理カアルカ。之
カラ如何ニシテ色々ノコトヲ導キ出スカヲ論スルモ
ノテアル。

(4) 知識学ノ原理

總テ知識学カーツノ學問トナルタメニハ、夫レカ
必然的ニ体系トナラナケレハナラナイ。ソシテ其論
ニハ夫レノギンルテノ余蘊カーツノ原理カラ導キ出
サレナケレハナラナイ。余蘊ヲ体ル要素ニハ夫レ

ノ材料即チ内容ト夫レノ結ヒ付キ方 即チ形式トノ
ニツカアルカ、夫レカ両方トモ外カラ導キ出サレナ
イナラハ、絶対的ニ原理テアル。ソシテ其ノ類レカ
一方ノミカ自カラ決定スルモノテアルハ、之ヲ相對
的ノ原理ト云フ。斯クシテ一ツノ絶対的ニ、ニツノ
相對的ニ、都合ニツノ原理カ出來ル。

ノ、自分ノ意識ヲ省ルト、夫レノ内ニ明カテ疑フ
コトノ出來ナイモノヲ見出ス。夫レハ $A=A$ ト云フ
原理テアル。之ハ「Aカアル」ト云フコトテハナイ。
「若シAカアルトスレハ」テ差問ヘナイ。其処テ此
 $A=A$ ノ關係ノ元ハAノ中テハナク、Aヲ「立テル」
「停止スル」モノノ中ニアル。夫レハ「我レ」テア
ル。夫レ故 $A=A$ ハ $Jch=Jch$ ニヨツテ成立ツカ。
此ノ $Jch=Jch$ ハ又"Jch"ニヨツテ「停止」セラレ
ルモノテアルカラ。ツマリ此ノ"Jch"ノ存在ハ此処
ニ復カサレナケレハナラナイ。「我レカアル」(Ich-
bin)ハ凡テノ基礎テアル。然シソレハ唯「我レト
云フ働キカアル」ト云フ意味テアル。之ヲ云ヒ現ハ
スト

「自我ハ根本的ニ絶対的ニ夫レ自身ノ實在ヲ停止

スル此ノ原理ヲ論理的ニ云ヘハ同一原理トナリ、之ヲ
形而上学的ニ云ヘハ實在ノ "Hantyn" トナル。即チ
かんヒノ *Qualität* / *Kategorie* カ解釈セラレタ
テアル

2 A = A = 次イテ最も明カノ原理ハ「A テナイモ
ノカA テナイ」ト云フコトアル。之ハ前ノ停止ニ對
シテ反停止テアル。斯クシテA テナイモノハAヲ停
止スル "Ich" テナイモノニヨツテ立テラレル。斯ク
シテ

「自我ニ對シテ絶對的ニ非我カ反停止スル」
論理的ニ云ヘハ、矛盾ノ原理、形而上学的ニ云ヘ無
ノ "Hantyn" = 當ル。

3 (1)ト(2)トノ二ツノ命題ハ矛盾シテイルカラ、
之ヲ合セルモノカナケレハナラナイ。非我ハ自我ノ
内ニ停止セラレルノテアルカラ、非我ニヨツテホタ
自我ハ全ク除キ去ラレテハ居ナイ。其処ヲ *Nicht-*
A = A トナル。此ノ矛盾ヲ解フ爲メニハ、即チ *Hi-*A
トAトハ意識ノ中テ兩立サセルニハ、兩方ヲ制限ス
レハ良イ。即チAト *Hi-*Aトヲ一部分ツツ禁シト
スルノテアル。斯クシテ

「自我ノ内ニ於テ分括サレル非我ヲ分括サレル自
我ニ對シテ反停止スル」
論理的ニハ兩方ノ原理、形而上学的ニハ限定ノ *Han-*
tyl = 當ル。

(c) 自我ノ演釈

上ノ三ツノ命題ノ内テ第一ノハAヲ自ラ定メラレ
ルモノテ、絶對的ニアルガ、第二ノハ内容カ第一ノ
反對ト云フコトヲ決定シ、第三ノハ命題ノ祖立テ格
ヘガ決定セラレル。夫レ故ニ後ノ二ツハ相對的ト云
ハレルノテアル。根本ノ原理ハ之レ等々ケテ、後ハ
之レカラ導カレル。ソシテ關係ハ第一ヲ第二カ否定
シテ、ツレヲ第三カ結合スルト云フコトニナツテキ
ルカラ及テノ命題モ皆其ノ關係ニナツテキル。之ニ
ニツノ區別カアル。

- (1) 自我ハ自我ニヨツテ限定セラレタモノトシ
テ非我ヲ停止スル
- (2) 自我ハ非我ニヨツテ限定セラレタモノトシ
テ自分ヲ停止スル。

(1)ハ我カ物ヲ知ル働カ (2)ハ我レノ行テアツテ、
即チ(1)ヲ理論的ノ自我、(2)ヲ実行の(實踐的
ノ)自我ト云フ。斯クシテ知識学ノ向題ハ是等ノ働
キヲ我レト我レニ對スル物トノ對立トシテ説明スル
ノテアル。其ノ働キヲ夫レ夫レ *Hantyn* フネス
モノテアルカラ、此処ニ *Fichte* カかんヒノ哲学

Hantýûron を略して付ケル目的ヲ述ケタト云ヘ
ル。

第三ノ原理ニ於テハ、自我カ非我ニ限ラレル点ニ
於テ受ケ身テアルガ、非我ヲ限ル点ニ於テハ働カ
ケテアル。斯クテ其ノニツカ等レクナツテキレバ、
交互作用、非我ノ働カヲ主ニ觀レバ、因果關係、非
我ヲ自我ノ一部ト觀レバ、本体ト屬性トノ關係テ、
即チかんとノ關係ニ關スルニツノ *Hantýû* ヲ必
然的ニ説イタモノテアル。ソシテコノ因果關係ニ重
ク置ケハ實在論トナリ、本体關係カラ觀レバ觀念
論トナリ、交互作用カラ觀レバ 批評的ノ觀念論ト
ナルト巧クミニ説イテキル。

兎ニ角、物即チ非我ハ自我カラ説クヘキモノテアル
ガ、ソレハ自我ノ働カガ、思ヒ掛ケナクテ受
ケタトクニ意識セラレルモノテアル、之レカ感覺ノ
起リテアル。最早かんとノマウニ意識ノ外ニ感覺ノ
原因トナル物ヲ説ク必要カナクナツタノテアル、此
ノ感覺、知覚、判断ナド色々ノ働カヲ生シ、遂ニ理
性ニ至ツテ、自我カ自分ヲ認識ノ對象トスルマウニ
ナル。

自我カ非我ヲ離レテ自我ニ歸ルマウニナルト共ニ、
理論的ノ自我カ実行的ノ自我ノ領分ニ違入ル。其ノ
働カハ先ツ簡單ノ衝動トシテ現ハレルガ、夫レカ物
(非我)ニ捕ハレズ、常ニ之レヲ打破ツテ進ムトコ
ロニ自我ノ優レタ働カ現ハル。道德ニ外ナラナ
イ、斯クシテ物、自然、非我ハ自我ノ障害トナツテ
之レニ倒サレハ之レニヨツテ自我ノカラホス手段ト
シテ存在スルモノニ外ナラナイコトニナル。從ツテ
Fichte ニトツテハ自然ニ關スル學向ハ大切テハ
ナク、唯人ノ行ヒカラ生スル道德、法律ナドガ、知
識學ヲ應用シテ研究セラルヘキモノトナツタ。

(3) 道德、法律、歴史、宗教ノ論

a) *Jena* 時代

斯クテ *Fichte* ハ *Jena* ニ居タ時、知識學ノ
外ニ道德、法律ト、哲學ニ就テ 書物ヲ著イタ、何
レモ知識學ノ実行的ノ自我ノ論カラ導カレタモノテ
アツテ其ノ道德ノ説ハ大体かんとニヨツテキル。唯
かんとハ法律ヲ経験的ノコト、シテ置イタノニ。
Fichte ハ之レヲモ道德ト同クマウニ哲學的ニ基

礎付ケマツトシタ。

6) べるりん 時代

べるりんニ移ツテカラ、歴史マ宗教ニツイテ論スルマウニナツタ。其ノ根本テアル自我カ *Jena* 時代ニモ勿論經驗的、相對的テハナカツタガ、然レ自我テアル意ニ於テ個人ノ我レト酷ヒ付ケテオタガ、べるりんニ行ツテカラ自我ノ絶對性ニ重キヲ置クマウニナツタ。ソレテ同シク知識学ヲ説イテモ其ノ調子カ大分違ツテ來タ。之レハ其ノ頃 *Schelling*、*Schleiermacher* ナドカ其ノ方面ヲ説イタノニ知ラス識ラス影響セラレタト見ルヘキテアル。*Fichte*、哲学史ノ上テ最モ意味ノアルトコロハ其ノ *Jena* 時代ノ説ニアツタト云ツテ良イ。

3 藝術的ノ觀念論

(1) *Friedrich Wilhelm Joseph von Schelling*

Schelling ハ 1775年 *Wurtemberg* *Leonberg* ニ生レタ。父ハ東洋語学ニ達シテオタ宗教家テアツタ。*Schelling* ハ其ノ血筋ヲ受

ケタカ、早クカラ学問ヲ修メテ 1790年十五オテ *Jübingen* 大学ノ神学部ニ進入リ。其処テ詩人 *Holderlin* マ、五オ上ノ哲学者 *Hegel* ナドノ友連ニナツタ。1796年カラ1797年マデ、

Leipzig 大学テ自然科学マ、数学ヲ学ビ、1798年 *Jena* ノ助教授トナツタ。*Jena* ニハ *Fichte* カ先輩ノ教授テアリ、又カ一まん派ノ文士カ居タガ *Schelling* ハ之レ等ノ人連ト交リ、殊ニカ一まん派ノ文士ノ頭タル *A.W. Schlegel* ノ婦人テ有名ナオ嬢テアツタ *Caroline* ニ嫁サレタ。1799年 *Fichte* カ *Jena* ヲ去ツタ後テ夫レノ後任トナリ、親友タル *Hegel* ノ講師ニ招ンテ、其ニ雜誌ナドヲ出シテ学問ノ為メニ働イテ居タ。1803年 *Caroline* ト結婚シ

Jena ヲ去ツテ *Würzburg* 大学ノ教授トナリ、後1806年 *München* ニ移ツテ、其処ノ学士院ノ会員及ヒ幹事トナリ、1807年其処ニ大学カ出來タトメニ教授ニナツタ。其ノ頃 *Hegel* ハべるりん大学テ評判カ高クナツテオタガ、

Schelling ハ *Jena* ヲ去ツテカラ尙モナク、

Hegel / 本ノコトヲ伸カ悪クナツテ居タ。然レ
ニ1831年 Hegel カ死ンタノテ。1841年
ぶろしや王 Friedrich Wilhelm IVハ
Schellingヲベネリ人ニ呼ブコトニシタ。斯ク
シテ1854年ニ死ヌマテ Schellingハ其処ノ
教授トナツテキタ。

Schelling / 著書ハ十四卷ノ全集トシテ出テ
キルガ。其ノ説ハ次第ニ茶運發達ヲシテイルカラ。
大体之レヲ三ツニ分ケルコトカ出来ル。

(1) 1797年—1800年 { 1) 自然哲学
2) 先見哲学

(2) 独逸哲学 (a) " Darstellung
meines System der
philosophie "

(b) " Bruno "

(3) 1804年 { 1) 宗教哲学
2) 肯定ノ哲学

(2) 第一ノ時期

a) 自然哲学

Schellingハ初メ Fichteノ哲学ニ従ツ

テ「自我ニ付テ」ト云フ論文ヲ著イタ程ヲアルガ。
元來コノニ人ノ性質ハ全ク違フカラ。次第ニ學說モ
違ツテ來タ。殊ニ先ツ違ツタ點ハ自然ニ對スル見方
ヲアル。

Fichteニアツテハ。自然ハ。唯々自我ノ道德活
動ヲ實現スルタメノ手段ニ過キナイ。かんとテハ自
然ハ道德ト全ク離レテ。必然拘束ニ支配サレルモノ
トナツテキタ。

Schellingハ天レノ何レトモ遠キ。自然ハ独
立ノ自分ノ目的ヲ持ツテキルモノト考ヘタ。此ノ點
カ唯々自我ノミヲ説ク Fichteヨリモ。藝術的
ナトコロヲ示シテ。ろ一まんちつく文士ニ歡迎セラ
レルマウニナツタ訳ヲアル。即チ自然ハ自我ト同シ
ク靈智ノ現ハレテアルガ。自我ニ於テ意識的トナ
ルマテノ見方ヲ示ストコロノ無意識ノ動キニ過キナ
イ。

其レ故ニ物質カラ。精神ニ至ル迄ノ凡ソル自然ハ
一ツノ大キナ有機體。即チ生命ナルモノヲアル。

此ノ自然生物ヲ支配スル原理ハ結局此ノ生命ヲアツテ、之レカ築造スル為メニ常ニニツノ反對ノ働キカ現ハレル。其ノ頃盛ニ研究セラレタ電氣磁石ノ性質カラシテ、積極ト消極トノ兩極性、凡ベテニツノ力ノ對立ヲ示スニ元性ト云フコトカ。其ノ自然全体ヲ支配スル根本ノ形式テアル。之レヲ一般的ニ云ハバ物質ニ相当スル重力ト法律ニ働ク光ト。之等ヲ能ヒ付ケル生命ノ三ツカ根本ノ形テアツテ、之レヲ又更ラニ、無生物、生物ニ小分ケシテ、夫レ等ノ特性ヲ示スコトカ出來ル。然シ要スルニ其ノ頃、自然科学ノ結果ヲ空想テ擴ケタモノヲ學問的ノ意味ハ少ナイ。唯々自然ヲ全体トシテ見ル見方ヲ示シタ点大ケカ真ノ哲学トシテ認メラレルハキトコロテ、ソシテ其ノ為メニ、智的直覺ト云フ働キヲ認メタノカ注意スヘキトコロテアル。

(4) 先見哲学

斯様ニ自然(物)カラ靈智(心)ニ達スル道ヲ開イダカラ、次ニ其ノ靈智ソノモノノ領域ヲ説カナケレバナラナイ。即チ自我ノ働キヲ又全体トシテ知的直覺ヲ觀察シタ。其ノ説ハ大抵知識学ヲ受ケ繼イダモノテ

アルガ。唯 *Fichte* カ自我ノ理論ト道德的トノニツノ方面ヲ説イタノニ對シテ、美的ヲ加ヘ、之ニヨリテ前ノニツヲ調和スルモノトシテアル。此處ニ *Schelling* ノ特色カアルガ。ソシテ之レハ又かんと、第三批判ノ主意ニ適ツタモノト云フテモ良イ。即チ自我(心)ハ目的ヲ持テ之ニ従タ行ヒヲスルガ自然ハ意識的ニ目的ヲ持タスニ、而モ目的ニ適ツテアル。此目的觀ニ違入ル自然ヲ自我ノ働キノ内ニ見出シタモノガ即チ藝術テアル。藝術ニ對スル美的直覺ニヨリテ意識ト無意識トク本當ニ調和ヲ得ルメウニナル。此ノ藝術ヲ創作スル天才ハ自我即靈智テアツテ自然ヲ自外ノ内ニ含ムモノト云リテ良イ。斯クシテ藝術美ニ於テ美カ完全ニ現ハレ。自然ノ真ノ意味カ明カニサレルト云フテ良イ。之ヲ説イタ *Schelling* ノ説ガ心ヲ中心トシテ之ヲ美的ノ方面カラ説カウトシタト云フ点ニ於テ美的ノ觀念論又藝術的ノ觀念論ト呼ハレ得ル訳カアルノテアル。

(5) 第二ノ時期

第二ノ時期、自然哲学ハツマリ *Fichte* ノ説ヲ補フ形ニナツテアルガ。既ニ靈智ノ前ニ自然カアル

ト説ク上ハ之ヲ一ツニ合セテ説クマウニナルコト
ハ極メテ自然的ナコトテアラウ。斯クシテ自然ト自
我トノ一致。合一ヲ力強ク説クト共ニ、第二ノ時期
ニ進入ウテ來タ。

同一ノ基礎ハ「絕對」テアツテ、夫レハ智的ノ直
感ニヨリテ知ラレルモノテアル。絕對ニ於テハ物ト
我レ、客觀ト主觀トノ差別ハ全ク無ク、即チ是差別
テアル。ソシテ自然ト靈智トハ此ノ絕對ノニツノ方
面ニ過キナイ。斯クシテ凡テハ心ノ側ト物ノ側トニ
分ケラレテ、其ノ全ク平等無差別ニナツタトコロガ
丁度磁石ノ中央ノマウナモノニナルテアル。其ノ
西側ノ一々ノ説明ハ天啓リ前ノ自然哲學マ、先見哲
學ノ説クオヲ基トシテイル。

(4) 第三ノ時期

「絕對」ニヨリテ凡テガ一ツニナツテマフガ、更
ニコノ一ツノ絕對カラ何故又如何ニシテ色々ノ物カ
現ハレタカト云フコトヲ説カナケレバナラナイ。之
レカ宗教問題ニ移ル謂ハレテアル。何故ナラバ、絶
對ハ即チ神テアツテ、此ノ問題ハ、神カラ如何ニシ

テ世界カ出タカト云フコトテアルカラテアル。而ル
ニ絕對即チ神カ總體的ナ世界トナルコトハ其モノ
、本質カラハ説明ノ出來ナイコトテアル。即チ之レ
ハ唯事實テアツテ、而モ不合理的ダト云ハナケレバ
ナラナイ。言葉ヲ換ヘレバ世界ノ成リ立チハ必然法
則ニヨラナイ自由ニ基クトシナケレバナラナイ。斯
クシテ、1809年「人ノ自由ノ本質ニ關スル哲學
的研究」ニ於テ、自由トハ、夫ト共ニ感ヲ為シ得ル
能カテアルト説イテ、更ニ此ノ惡カ神ノ本質ノ間ニ
存スルコトヲ説イタ。

神ハ善テアルト共ニ、惡テアリ、靈智、後世ノ托
リニ對スル位意思ノ働キカアリ、之レニ答メ斷カサ
レテ世界ニアラハレル。斯様ニ世界ノ根柢ニ理性ニ
反對ニカヲ認メルコトニヨリテ Schellingノ説
ハ非理性主義的ダト云ハレル。

此ノ非理性主義ノ色ハ段々濃クナツテ、神、宗教
ノ本質ヲ説ク説ハ全ク今迄ノ哲學ト立場ヲ換ヘルノ
ミナラス普通ノ宗教説トモ態度ヲ變ヘテ理性知識ニ
能ヒ付イタモノハ、消極的、否定的テアルガ、自分
ノ立場ハ積極的、肯定的ダト云フマウニナツテ、神

衆的ニナツテ來タ。

Schellingノ説ニ影響セラレタモノハ色々ナル。

1. 自然哲学——地質学ノ Steffens, 生物学ノ Aken, 心理学ノ Carus 等。
2. 独逸哲学——Hegel, Wagner, Troxler, Krause (1781-1832. 凡ハテ神ノ内ニアリトスル説)
3. 宗教哲学——Baader (1765-1841 神ニ接スルコト、即チ "Theosophie" ヲ説ク)。必スシモ Schellingノ説ヲ傳ヘタノテハナイガ。Schleiermacher (1768-1834)ノ宗教論モ幾分カ關係カアルモノト見ラレル。

4 論理的ノ觀念論

(1) George Wilhelm Friedrich Hegel
Hegelハ一七七〇年 Stuttgartニ生レタ。父ハ其ノ土地ノ財務官ヲアツタ。初メ Tubingen 大学テ神学、聖学、哲学ヲ学ビ。Schelling Holderlinト親シクシテ居タ。一七九三年カフ一七九六年迄 Bernニ家庭教師ヲシテ居タ。夫レカフ一八〇〇年迄フランクフルトニ居タ。其頃ハ全ク Schellingノ説ニ従ツテ居タ。一八〇一年 Schellingノ教授トナツテ居タ Jena 大学ニ講師トナリ Schellingト共ニ雜誌ヲ出シテ居タ。一八〇七年「精神ノ現象学」ヲ作ツテ、夫レノ序文ニ其頃ノ學說ヲ批評シ暗ニ Schellingノ絶対説トヲ非難シタノテ、Schellingハ非常ニ憤ツテ、其後絶交ノ有様ニナツタ。丁度其ノ頃ニボレオンガ Jenaヲ攻撃シタノテ Hegelハ其間此ノ本ノ原稿ヲ持ツテ包圍サレタ町ノ中ニ居タ。

戰ノ後、一時 Bambergニ新聞記者トナリ、一八〇八年カフ一八〇六年迄 Nurnbergノ Gymnasium